

平成26年度

岩手県農業研究センター 年報

平成27年6月

目 次

I 農業研究センターの概要

1 組織機構・職員数	I - 1
2 会議、委員会、部会等の運営	I - 2
(1) 農業試験研究推進会議等の開催	I - 2
ア 新規試験研究課題の評価と選定	
イ 試験研究成果の採択	
ウ 試験研究課題の年度評価及び事後評価	
エ 岩手県農業技術開発会議	
オ 試験研究推進アドバイザー	
(2) 機関評価委員会	I - 6
(3) 企画運営会議、全体会議	I - 6
(4) 委員会等の運営	I - 9
ア ほ場管理委員会	
イ 研究報告等企画編集委員会	
ウ 参観デー等企画運営委員会	
エ 特許審査委員会	
オ 岩手県立農業ふれあい公園管理運営委員会	
カ 環境美化委員会	
キ 職員衛生委員会	
ク 原種等生産管理委員会	
ケ その他	
(5) その他会議	I - 12
ア 全国農業関係試験研究場所長会議	
イ 東北地域農業関係試験研究場所長会議	
ウ 全国畜産関係試験研究場所長会議	
エ 全国畜産関係場所長会北海道・東北ブロック会議	
オ 岩手県農作物病害虫・雑草防除指針検討会議	
カ 東北農業試験研究推進会議	
キ 東北地域研究・普及連絡会議	
ク 県内で開催された関係学会	
ケ 北東北3県農業試験研究センター企画室長等会議	

II 試験研究の推進

1 研究活動の概要	II - 1
2 トピックス	II - 2
(1) 特許・品種登録出願状況	II - 2
(2) 表彰等受賞状況	II - 2
(3) 特定課題調査検討チームによる検討及び連携プロジェクトによる研究推進	II - 2
3 研究室・課の動き	II - 4
(1) プロジェクト推進室	II - 4
(2) 企画管理部	II - 4
(3) 技術部	II - 5
(4) 環境部	II - 8
(5) 病害虫防除部	II - 9
(6) 畜産研究所	II - 10
(7) 県北農業研究所	II - 11

4 平成26年度試験研究課題	II- 13
(1) 細目課題分類	II- 13
(2) 試験研究課題一覧	II- 14
(3) 平成27年度試験研究を要望された課題とその措置一覧	II- 23
5 共同研究等の推進	II- 25
(1) 食料生産地域再生のための先端技術展開事業	II- 25
(2) 農林水産省委託プロジェクト研究事業	II- 25
(3) 農林水産業・食品産業科学技術研究推進事業委託事業	II- 26
(4) 研究成果最適展開支援事業	II- 26
(5) その他独法等からの委託	II- 27
(6) 民間委託試験	II- 27
(7) (公財)岩手生物工学研究センターとの共同研究	II- 27
(8) 他の公設試との共同研究	II- 27
(9) AFR(岩手農林研究協議会)研究会	II- 28
(10) その他共同研究	II- 28
(11) 産学官連携	II- 29
6 現地試験の実施	II- 30
III 試験研究の成果	
1 試験研究成果	III- 1
(1) 平成26年度成果数	III- 1
(2) 平成26年度成果名一覧	III- 2
2 追跡評価	III- 5
(1) 評価視点	III- 5
(2) 追跡評価の調査方法	III- 5
3 東北農業試験研究成果	III- 8
(1) 研究成果数	III- 8
(2) 研究成果名	III- 8
IV 試験研究成果の発表	
1 試験成績書等刊行物	IV- 1
2 研究レポート	IV- 2
3 岩手県農業研究センター研究報告	IV- 4
4 学会等研究報告	IV- 5
(1) 学術論文	IV- 5
(2) 学会発表	IV- 6
5 雑誌等掲載	IV- 10
(1) 専門雑誌等	IV- 10
(2) 月刊農業普及	IV- 10
(3) 岩手の畜産	IV- 11
(4) 岩手りんごタイムス	IV- 11
(5) その他の雑誌等	IV- 12
6 新聞等掲載	IV- 14
7 テレビ・ラジオ放送	IV- 17
(1) テレビ	IV- 17
(2) ラジオ	IV- 17
8 指導資料等掲載	IV- 18
9 図書資料収集・提供	IV- 20
10 ホームページ	IV- 20

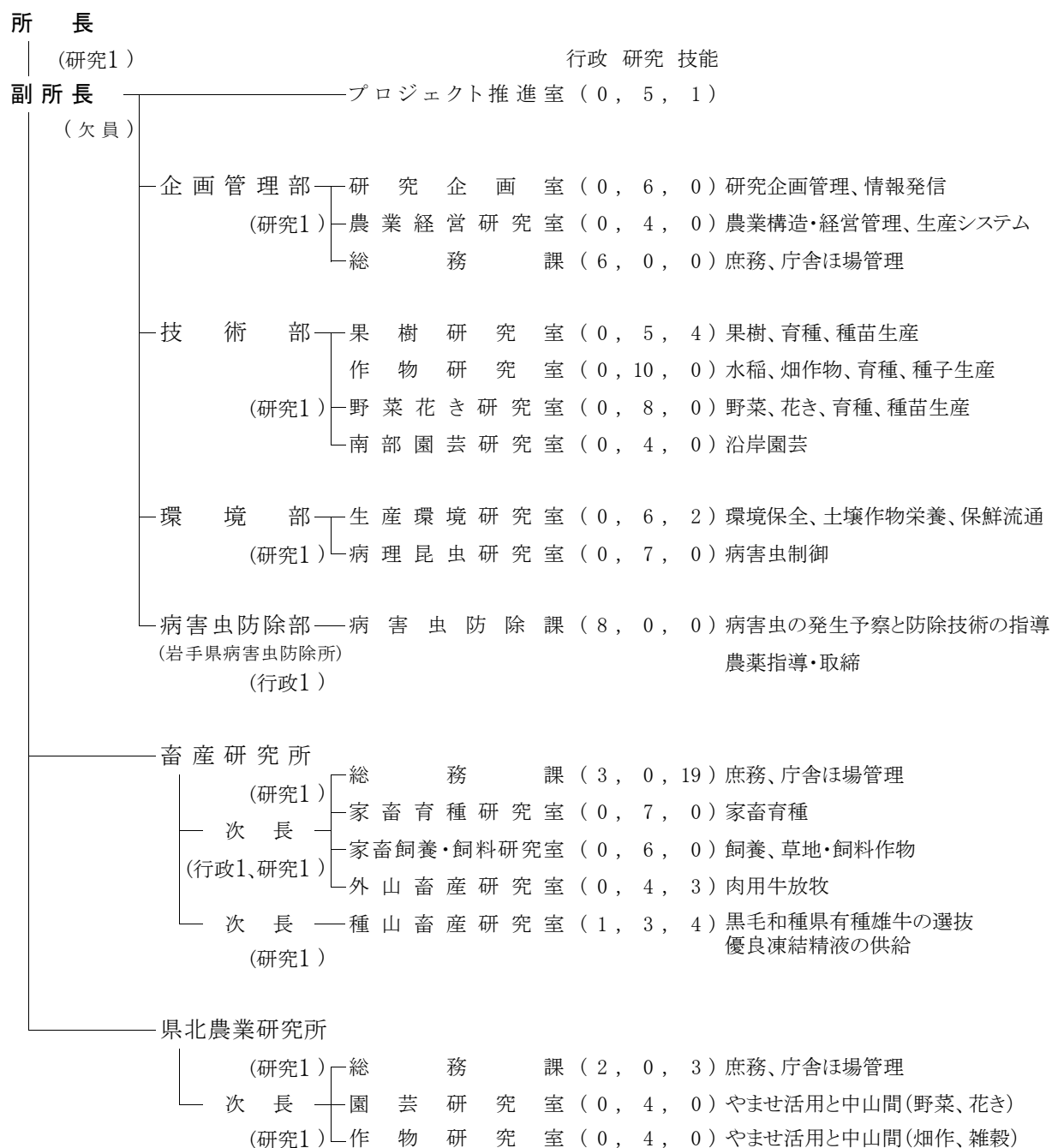
V 指導・啓発活動	
1 技術伝達研修等への対応	V- 1
2 現地指導・研修会等への講師派遣	V- 4
3 視察者、見学者の受け入れ状況	V- 15
4 春季一般公開及び参観デー	V- 15
5 技術セミナー等の開催	V- 15
6 一日子供農業研究員	V- 15
7 農業科学博物館、農業ふれあい公園、加工工房(加工体験)の利用者	V- 16
8 研修生の受け入れ	V- 17
(1) 海外研修	V- 17
(2) 北東北3県連携にかかる人事交流(研修)	V- 17
(3) 短期研修生	V- 17
(4) 体験学習の受け入れ	V- 17
ア 小中学校の「総合的な学習の時間」等に対応したもの	
イ 高等学校、大学の「職場体験研修」「視察」等に対応したもの	
ウ インターンシップ等に対応したもの	
9 協議会、委員会等委員	V- 20
VI 職員研修	
1 大学院派遣	VI- 1
2 海外派遣・研修	VI- 1
3 国内研修への派遣	VI- 1
(1) 依頼研究員	VI- 1
(2) 北東北3県研究職員交流(職員派遣)	VI- 1
(3) 農林水産関係研究リーダー研修	VI- 1
(4) 独立行政法人農業・食品産業技術総合研究機構 短期集合研修	VI- 1
(5) 農林水産関係研究者研修	VI- 2
(6) その他	VI- 2
4 所内研修等	VI- 10
(1) 岩手県総務部人事課主催研修	VI- 10
(2) 岩手県農林水産部主催研修	VI- 12
(3) 所内研修	VI- 12
5 所内セミナー等	VI- 13
VII 試験研究以外の業務概要	
1 作物の原々種の採種	VII- 1
(1) 主要農作物種子法に基づく原々種種子の生産	VII- 1
(2) その他原々種種子の生産	VII- 1
2 作物の原種の採種	VII- 2
(1) 主要農作物種子法に基づく原種種子の生産	VII- 2
(2) その他原種種子の生産	VII- 2
3 種苗等の配布	VII- 3
(1) 主要農作物種子法に基づく種苗の配布	VII- 3
(2) その他種苗の配布	VII- 4
4 県有種雄牛の精液の供給	VII- 5
(1) 黒毛和種	VII- 5
(2) 日本短角種	VII- 5
5 種豚、種鶏等の配布	VII- 6
(1) 種豚の配布	VII- 6
(2) 銘柄鶏の配布	VII- 6
6 寄託放牧	VII- 6
(1) 牛	VII- 6
(2) 馬	VII- 6

VIII 人事、予算、財産		
1 岩手県農業研究センター予算	VIII- 1
2 建物、用地の面積及び飼養家畜数	VIII- 2
(1) 建物・用地の面積	VIII- 2
(2) 飼養家畜頭数	VIII- 2
3 種苗登録、特許等	VIII- 3
(1) 種苗登録	VIII- 3
(2) 特許、実用新案	VIII- 5
(3) 一般に公開しているプログラム等	VIII- 5
4 表彰	VIII- 6
5 職員名簿	VIII- 9
IX 東日本大震災津波への対応		
1 農業研究センター復興加速プロジェクトチームの活動	IX- 1
(1) チーム会議の開催	IX- 1
(2) 研修会、セミナーの開催	IX- 1
(3) 復興支援業務の実施	IX- 1
2 放射性物質に係る農業技術対策検討チームの活動	IX- 1
3 農畜産物の放射性物質測定に係る活動	IX- 2
X 沿革	X- 1

I 農業研究センターの概要

I 農業研究センターの概要

1 組織機構・職員数 ※実数



〈職員数〉 ※定数

	本 部		畜産研究所			県北農業研究所	合 計
	(北上市)	南部園芸研究室 (陸前高田市)	(滝沢村)	外山畜産研究室 (盛岡市玉山区)	種山畜産研究室 (住田町)	(軽米町)	
行政	15	0	4	0	1	2	22
研究	57	4	15	4	4	11	95
技能	7	0	19	3	4	3	36
合計	79	4	38	7	9	16	153

※1 欠員3名(副所長1、技術部1、県北研究所1)

※2 任期付き研究員2名を総務部管理定数として配置(定数に含む。技術部作物研究室1、同南部園芸研究室1)

2 会議、委員会、部会等の運営

(1) 農業試験研究推進会議等の開催

ア 新規試験研究課題の評価と選定

(ア) 第1回内部検討会議

a 開催日及び参集範囲

部会名等		畜産部会	園芸部会	農産部会
開催日		H26.8.4(月)	H26.8.5(火)	H26.8.6(水)
参集 範囲	(公財)岩手生物工学研究センター	-	○	○
	農林水産部農政関係各室課	○	○	○
	各広域振興局農政担当部及び農林振興センター	○	○	○
	各家畜保健衛生所	○	-	-
	農業大学校	○	-	-
	各農業改良普及センター	○	○	○

b 協議事項

(a) 平成27年度試験研究を要望された課題とその措置案について

(b) 平成27年度新規試験研究課題案について

(イ) 第1回外部検討会議

a 開催日及び出席要請機関

部会名等		畜産部会	農産部会	園芸部会
開催日		H26.9.12(金)	H26.9.16(火)	H26.9.17(水)
参集 範囲	試験研究推進アドバイザー	○	○	○
	東北農政局盛岡地域センター	○	○	○
	全国農業協同組合連合会岩手県本部	○	○	○
	岩手県農業共済組合連合会	○	○	○
	岩手県農産物改良種苗センター	○	○	○
	岩手県植物防疫協会	○	○	○
	岩手家農薬卸商業協同組合	○	○	○
	岩手県農業公社	○	○	○
	岩手県農業機械協会	○	○	○
	岩手県畜産協会	○	○	○

注) 農産部会には新岩手農業協同組合北部管農経済センターの出席を要請した。

b 協議事項等

(a) 平成27年度新規試験研究課題案について

(ウ) 第1回評価調整会議

- a 開催日 平成26年9月29日(月) 13:00～
- b 協議事項等
 - (a) 平成27年度試験研究を要望された課題とその措置案について
 - (b) 平成27年度新規試験研究課題案について
- c 参集範囲
 - 農業研究センター所長、各部長、各研究所長、プロジェクト推進室長

イ 試験研究成果の採択

(ア) 第2回内部検討会議

- a 開催日及び出席要請機関

部会名等	畜産	農産	園芸		
			(野菜花き)	(果樹)	
開催日	H26.12.8(月)	H26.12.9(火)	H26.12.10(水)	H26.12.11(木)	
参集範囲	(公財)岩手生物工学研究センター	-	○	—	
	農林水産部農政関係各室課	○	○	○	
	各広域振興局農政担当部及び農林振興センター	○	—	○	—
	各家畜保健衛生所	○	—	—	—
	農業大学校	○	—	○	—
	各農業改良普及センター	○	○	○	○

- b 協議事項
 - (a) 平成26年度試験研究成果案について
 - (b) 平成27年度新規試験研究課題案について(園芸部会(果樹)のみ)
 - (c) その他

(イ) 第2回外部検討会議

- a 開催日及び出席要請機関

部会名等	畜産	農産	園芸		
			(野菜花き)	(果樹)	
開催日	H27.1.9(金)	H27.1.7(水)	H27.1.8(木)	H27.1.13(火)	
参集範囲	試験研究推進アドバイザー	○	○	○	○
	東北農政局盛岡地域センター	○	○	○	○
	全国農業協同組合連合会岩手県本部	○	○	○	○
	岩手県農業共済組合連合会	○	○	○	○
	岩手県農産物改良種苗センター	○	○	○	○
	岩手県植物防疫協会	○	○	○	○
	岩手県農薬卸商業協同組合	○	○	○	○
	岩手県農業公社	○	○	○	○
	岩手県農業機械協会	○	○	○	○
	岩手県果樹協会	○	○	○	○
岩手県畜産協会	○	○	○	○	

注1) 農産部会には、新岩手農業協同組合北部営農センターの出席を要請した。

注2) 園芸部会(野菜花き)には、花巻農業協同組合の出席を要請した。

- b 協議事項
 - (a) 平成26年度試験研究成果案について

(ウ) 第2回評価調整会議

- a 開催日 平成27年1月26日(月) 13:00～
- b 協議事項
 - (a)平成26年度試験研究成果案について
 - (b)主要成果について
 - (c)平成26年度試験研究成果の公表範囲について
- c 参集範囲
農業研究センター所長、各部長、各研究所長、プロジェクト推進室長

ウ 試験研究課題の年度評価及び事後評価

(ア) 第3回内部検討会議

- a 開催日及び出席要請機関

部会名等	農産	園芸	畜産	県北	園芸	
		(野菜花き)			(果樹)	
開催日	H27.2.23(月)	H27.2.24(火)	H27.2.25(水)	H27.2.26(木)	H27.2.27(金)	
参集範囲	(公財)岩手生物工学研究センター	○	○	—	○	—
	農林水産部農政関係各室課	○	○	○	○	○
	各広域振興局農政担当部及び農林振興センター	○	○	○	○	○
	各家畜保健衛生所	—	—	○	—	—
	農業大学校	—	—	○	—	—
	各農業改良普及センター	○	○	○	○	○

- b 協議事項
 - (a)平成27年度試験研究課題の試験設計について
 - (b)平成26年度終了課題の報告について

(イ) 第3回評価調整会議

- a 開催日 平成27年3月16日(月) 13:00～
- b 協議事項
 - (a)年度評価について
 - (b)事後評価について
 - (c)試験研究推進計画の改訂について
 - (d)平成26年度追跡調査の結果について
 - (e)その他
- c 参集範囲
農業研究センター所長、各部長、各研究所長、プロジェクト推進室長

エ 岩手県農業技術開発会議

- a 開催日 平成27年2月10日(火) 15:00～
- b 報告・協議事項
 - (a)農業研究センターにおける技術開発について
 - (b)生物工学研究センターにおける技術開発について
 - (c)農業研究センターにおける試験研究推進計画の進捗状況について
 - (d)その他
- c 参集範囲
(公財)岩手生物工学研究センター
農政担当技監、農政関係各室課、生物工学研究所、農業大学校、中央農業改良普及センター
農業研究センター所長、各部長、各研究所長、各研究所次長、プロジェクト推進室長

オ 試験研究推進アドバイザー

所属部会	氏名	役職名	出席	
			第1回	第2回
農産 (水稲)	新田 義修	岩手県立大学総合政策学部・准教授	○	○
	高橋 信	岩手県農業農村指導士 (有)高橋農産・代表取締役	○	○
	大谷 隆二	東北農業研究センター生産基盤研究領域農業機械グループ・上席研究員	○	
	菅原 久耕	有限会社ファーム菅久・代表		
農産 (畑作)	千葉 丈	全農岩手県本部営農対策部・部長	○	○
	片山 勝之	東北農業研究センター 水田作研究領域(大仙研究拠点)・上席研究員	○	
	熊谷 匡章	有限会社下館農産・代表取締役	○	
園芸 (果樹)	小森 貞男	岩手大学農学部農学生命課程・准教授	/	○
	阿部 和幸	果樹研究所 リンゴ研究領域 上席研究員	/	
	小岩 克宏	岩手県果樹協会・副会長岩手県農業農村指導士	/	○
	富山 司	岩手県農業農村指導士	/	
	高野 寛子	岩手県農業農村指導士	/	○
園芸 (野菜)	由比 進	東北農業研究センター畑作園芸研究領域・上席研究員		○
	門田 育生	東北農業研究センター生産環境研究領域・上席研究員	○	
	三浦 正美	岩手県農業農村指導士		○
	橋本 正成	株式会社銀河農園・代表取締役		○
	高橋 泰	全農岩手県本部園芸部・監理役	○	○
園芸 (花き)	稲本 勝彦	東北農業研究センター畑作園芸研究領域野菜・主任研究員	○	○
	高橋 俊一	株式会社T&Gバイオナーサリー・代表取締役	○	○
	遠藤 満	八幡平市花き研究開発センター・主任技師	○	○
	南川 信一	元岩手県農業農村指導士		○
畜産	押部 明德	東北農業研究センター・畜産飼料作研究領域 領域長	○	○
	吉田 勝栄	一般社団法人岩手県畜産協会 経営支援部次長		○
	築城 幹典	岩手大学農学部農学生命課程・教授	○	○
	小原 克也	全農岩手県本部畜産酪農部・次長		○
	高橋 先雄	岩手県農業農村指導士		
	田村 正仁	岩手県農業農村指導士	○	
	分部 喜久男	独立行政法人家畜改良センター岩手牧場・場長		○
			14 名	19 名

(2) 機関評価委員会

- ア 開催日・場所 平成26年10月23日(木) 岩手県農業研究センター 南部園芸研究室(陸前高田市)
- イ 議題 (ア) 視察調査(「食料生産地域再生のための先端技術展開事業」現地実証研究圃場)
 (イ) 機関運営等概要説明、質疑応答
 (ウ) 委員講評
- ウ 機関評価委員
 (ア) 外部評価(5人) 大黒 正道 氏(東北農業研究センター企画管理部長)
 高畑 義人 氏(岩手大学農学部教授)
 新田 義修 氏(岩手県立大学地域連携本部副本部長)
 菊池 勝 氏(全農県本部副本部長)
 高橋 明 氏(県農業農村指導士協会会長)
 (イ) 所員 所長、各部長、各研究所長、事務局等

(3) 企画運営会議、全体会議

開催月日	場 所	内 容(協議事項等)
26.4.7(月)	特別会議室	(第1回企画運営会議) 1 協議事項 (1)平成26年度業務方針(案)について (2)機関評価への対応について 2 連絡・報告事項 (1)平成26年度当初予算(試験研究費)について (2)試験研究推進計画(後期計画)について(編集作業状況報告) (3)平成26年度競争的研究資金応募課題等について (4)特定課題検討チーム、連携プロジェクトチームについて (5)平成26年度依頼研究員の派遣について (6)農業研究センター全体会議について (7)平成26年度広報計画について (8)各部長・研究所長からの情報提供 等 (9)年間及び4, 5月の行事予定
26.4.11(金)	大会議室	(全体会議) ○第1部 センター本部職員(室課長、チーム長、転入者、新採用職員+研究所次長・室課長) (1) 試験研究推進に係る諸規程等について (2) 適正経理の実施について (3) 情報セキュリティの徹底について (4) 苦情処理マニュアルについて (5) 労働安全等予防システム (6) その他 ○第2部 所長、各部長・研究所長・次長、センター本部全職員 (1) 機関評価(外部)の主な意見と対応経過及び今後の対応方針 (2) 研究推進計画(後期:H26-30)について (3) 平成26年度業務方針について ア 組織のプロフィール、基本方針、職員の資質向上、組織運営課題 イ 各部・研究所の取り組み基本方針及び重点事項について (ア) 企画管理部 (イ) 技術部 (ウ) 環境部 (エ) 病害虫防除部 (オ) 畜産研究所 (カ) 県北農業研究所 (キ) プロジェクト推進室 (4) 東日本大震災津波に係る取り組みについて (ア) 食料生産地域再生のための先端技術展開事業 (イ) 牧草地の効果的な除染対策の確立に係る研究 (5) その他

開催月日	場 所	内 容(協議事項等)
26.5.26(月)	特別会議室	(第2回企画運営会議) 1 協議事項 (1)平成26年度機関評価の進め方について (2)全体会議開催方法の見直しについて (3)試験研究推進計画(様式1)の変更について(野菜花き研究室) 2 連絡・報告事項 (1)平成26年度競争的研究資金応募課題採否状況等について (2)「第57回東北農業試験研究発表会」発表課題応募状況について (3)試験研究推進計画(後期:H26-30)の策定について (4)広報(らぼ・れたあ、プレスリリース等)計画・実績について (5)各部長・研究所長からの情報提供 等 (6)先端プロ実施状況について (7)6月の行事予定
26.7.28(月)	特別会議室	(第3回企画運営会議) 1 協議事項 (1)機関評価(内部①)の実施について (2)追跡評価の実施について (3)毒劇物等の管理及び事故等対策要領の一部改正について (4)職員表彰(事績顕著者)候補の選定について 2 連絡・報告事項 (1)第1回内部検討会議について (2)競争的研究資金応募課題採否状況等について (3)包括的外部監査について (4)広報(らぼ・れたあ、プレスリリース等)計画・実績について (5)各部長・研究所長からの情報提供 等 (6)先端プロ実施状況について (7)8-9月の行事予定
26.9.29(月)	特別会議室	(第4回企画運営会議) 1 協議事項 (1)機関評価(内部評価①)の結果及び外部評価の実施について (2)鳥獣害対策検討チームの設置について (3)職務発明案(個人)の取扱いについて(追加) 2 連絡・報告事項 (1)平成27年度当初予算要求(研究費)について (2)広報(らぼ・れたあ、プレスリリース等)計画・実績について (3)各部長・研究所長からの情報提供 等 (4)先端プロ実施状況について (5)10月の行事予定

開催月日	場 所	内 容(協議事項等)
26.11.14(金)	特別会議室	(第5回企画運営会議) 1 協議事項 (1)機関評価結果(内部①及び外部評価)への対応について (2)平成26年度職員意識調査の実施について (3)毒劇物等の管理及び事故等対策要領の一部改正について (4)競争的研究資金への応募について(技術部作物研究室) 2 連絡・報告事項 (1)平成27年度当初予算要求の概要について (2)第2回内部検討会議の開催について (3)平成27年度依頼研究員の派遣について (4)農林水産部主要課題(重点推進項)の進行管理(第2回)について (5)広報(らぼ・れたあ、プレスリリース等)計画・実績について (6)各部長・研究所長からの情報提供 等 (7)先端プロ実施状況について (8)11-1月の行事予定
27.1.26(月)	特別会議室	(第6回企画運営会議) 1 協議事項 (1)機関評価内部②(所長総括)について (2)農業技術開発会議(2/10)への対応について (3)試験研究成果の区分について (4)競争的研究資金への応募について(県北農業研究所) 2 連絡・報告事項 (1)競争的研究資金への応募状況について (2)第3回内部検討会議(設計)の開催について (3)平成26年度年報の作成について (4)広報(らぼ・れたあ、プレスリリース等)計画・実績について (5)各部長・研究所長からの情報提供 等 (6)先端プロ実施状況について (7)2月の行事予定
27.3.16(月)	特別会議室	(第7回企画運営会議) 1 協議事項 (1)平成27年度業務方針(案)について 2 連絡・報告事項 (1)平成27年度競争的研究資金への応募状況等について (2)平成27年度依頼研究員の派遣について (3)平成27年度農業研究センター全体会議の開催について (4)広報(らぼ・れたあ、プレスリリース等)計画・実績について (5)各部長・研究所長からの情報提供 等 (6)3~4月の行事予定

(4) 委員会等の運営

ア ほ場管理委員会

開催月日	活動事項	内 容
26.4.10	作業部会打合せ	○当面する作業予定について(調整) ○その他技術部に関わる圃場の管理について
26.4.30	技術部圃場管理打合せ	○当面する作業予定について(調整) ○その他技術部に関わる圃場の管理について
26.6.25	技術部圃場管理打合せ	○当面する作業予定について(調整) ○その他技術部に関わる圃場の管理について
26.7.26	技術部圃場管理打合せ	○当面する作業予定について(調整) ○その他技術部に関わる圃場の管理について
26.8.27	技術部圃場管理打合せ	○当面する作業予定について(調整) ○その他技術部に関わる圃場の管理について
26.10.2	技術部圃場管理打合せ	○当面する作業予定について(調整) ○その他技術部に関わる圃場の管理について
26.10.29	技術部圃場管理打合せ	○当面する作業予定について(調整) ○その他技術部に関わる圃場の管理について
26.4.10～20	野鼠防除	○野鼠防除

イ 研究報告等企画編集委員会

(ア) 委員会

開催月日	場所	内 容
(開催なし)		

(イ) 幹事会

開催月日	場所	内 容
(開催なし)		

ウ 参観デー等企画運営委員会

(ア) 委員会

開催月日	場所	内 容
26.4.25	本部特別会議室	平成26年度参観デーの開催方針について
26.12.5	本部所長室	平成26年度参観デーの開催実績について(本部分)

(イ) 幹事会等

(本部関係)

開催月日	場所	内 容
26.6.3	本部2階小会議室	(1) 平成26年度岩手県農業研究センター本部及び中央農業改良普及センター 合同参観デー開催計画について ア 平成25年度の反省点について イ 平成26年度の参観デー開催計画について ウ 今後のスケジュール(予定)について (2) 生物工学研究センター公開デーについて (3) その他
26.7.4	本部2階小会議室	(1) 平成26年度岩手県農業研究センター本部及び中央農業改良普及センター 合同参観デー開催計画について ア 農業者向けセミナー等の開催について イ イベント実施計画書について ウ 広報について エ 今後のスケジュールについて (2) 生物工学研究センター公開デーについて (3) その他

開催月日	場所	内 容
26.7.28	本部2階小会議室	(1) 平成26年度岩手県農業研究センター本部及び中央農業改良普及センター合同参観デー開催計画について ア 技術セミナーの開催について イ イベント実施計画について ウ 協賛会について エ 動員について オ 広報について カ 今後のスケジュールについて (2) 生物工学研究センター公開デーについて (3) その他
26.8.27	本部1階中会議室	(1) 平成26年度岩手県農業研究センター本部及び中央農業改良普及センター合同参観デー開催計画(マニュアル等)について (2) 生物工学研究センター公開デーについて (3) その他
26.10.14	本部1階中会議室	(1) 平成26年度岩手県農業研究センター本部及び中央農業改良普及センター合同参観デー開催実績について (2) 生物工学研究センター公開デーの開催結果について (3) 平成27年度の開催について (4) その他

(畜産研究所関係)

開催月日	場所	内 容
26.7.23	セミナー室	岩手県全国農業機械実演展示会に併せて開催 (1) 展示内容について (2) 準備、当日の対応者について

(県北農業研究所関係)

開催月日	場所	内 容
26.6.27	ミーティング室	(1) 実行委員会の設置について (2) 準備状況について (3) 今後の進め方及びスケジュールについて
26.8.26	ミーティング室	(1) 実施計画の確認(確定)について(全体説明会) (2) 準備役割分担の最終確認について (3) 今後の準備作業の最終確認について

エ 特許審査委員会

開催月日	場所	内 容
26.5.26	本部2階特別会議室	(1) キビ品種「キビ岩手糯1号」の勤務発明審査について
26.7.28	本部2階特別会議室	(1) 勤務発明「植物育苗容器及び栽培方法」の審査について

オ 岩手県立農業ふれあい公園管理運営委員会

開催月日	場 所	内 容
26.5.27	農業科学博物館	(1) 管理運営報告及び事業計画について

カ 環境美化委員会

開催月日	場 所	内 容
26.4.7	1階小会議室	(1)平成25年度環境美化委員会活動実績について (2)平成26年度環境美化委員会活動計画について

キ 職員衛生委員会

開催月日	場 所	内 容
26.7.9	特別会議室	(1)平成25年度事業実績について (2)平成26年度事業計画(案)について (3)その他(農業研究センター労働安全等予防システム運用について)
27.3.10	特別会議室	(1)平成26年度定期健康診断の結果について (2)定期健康診断結果の概要 (3)職場安全点検結果について (4)事業実施状況について

ク 原種等生産管理委員会

開催月日	活動事項	内 容
26.7.24～25	福島県郡山市 (福島県農業総合センター)	平成26年度東北六県主要農作物原種・原々種生産に係わる情報交換会(福島県)参加(1名) (1)各県生産状況・意見交換 (2)現地視察
26.7.31, 26.8.7～8, 26.8.13	E地区水田圃場 及び紫波町	第1回外部審査 (1)水稲原種・原々種外部審査(出穂期)
26.8.20, 26.9.1, 26.9.9, 26.9.11, 26.9.17～18, 26.9.24	E地区水田圃場 及び紫波町	第2回外部審査 (1)水稲原種・原々種外部審査(糊熟期)
27.2.12	水田作実験室ほか	第3回外部審査 (1)水稲および大豆原種・原々種外部審査(生産物)
27.3.16	特別会議室	(1)26年度の実績について (2)27年度の計画について

(5) その他会議

ア 全国農業関係試験研究場所長会議

開催月日	場 所	内 容
26.6.27	東京都港区 (三会堂ビル 9階 石垣記念ホール)	全国農業関係試験研究場所長会総会 1 平成26年度全国農業関係試験研究場所長会通常総会 2 平成26年度研究功労者表彰式

イ 東北地域農業関係試験研究場所長会議

開催月日	場 所	内 容
26.9.18 ～19	福島県郡山市・川俣町 (福島県農業総合 センター)	1 協議・検討事項 (1) 研究管理の手法について (2) 研究財源の状況と競争的資金への対応について (3) 鳥獣害対策に係る今後の試験研究機関としての対応について (4) 今後の委託プロジェクト研究の取組について 2 現地調査(川俣町山木屋地区) (1) エネルギー・資源循環型営農技術の実証研究ほ場(先端プロ) (2) 汚染物の減容化試験 (3) 放射性物質対策に関する試験研究

ウ 全国畜産関係試験研究場所長会議

開催月日	場 所	内 容
26.6.16	東京都文京区 (全国家電会館)	1 協議 (1)平成25年度事業報告及び収支決算について (2)平成26年度事業計画及び収支予算について (3)平成26年度会費の額及び徴収方法について (4)平成25、26年度役員に関する件 2 畜産研究功労者表彰

エ 全国畜産関係場所長会北海道・東北ブロック会議

開催月日	場 所	内 容
26.9.17～18	岩手県盛岡市「愛真館」	1 重点研究課題について
		2 共同研究課題について
		3 国・独立行政法人に対する要望、意見について
		4 畜産研究功労者表彰候補者の推薦について
		5 優秀畜産技術者表彰候補者の推薦について
		6 意見交換会の内容についての企画案について
		7 新品種・新技術コーディネーター活動支援事業について
		8 その他(役員改選・次期開催地等)

オ 岩手県農作物病害虫・雑草防除指針検討会議

開催月日	場 所	内 容
26.9.18	盛岡市 (エスポワールいわて)	防除指針作成会議(農業普及技術課主催): 作成に係る基本方針の周知等
26.11.11～12	北上市 (農業研究センター)	分科会(農業普及技術課主催): 防除機指針の原案及び要望事項の検討
26.12.17～18	北上市 (農業研究センター)	平成26年度県防除指針の改正内容について(病害虫防除所主催): チェック結果の妥当性の検討
27.2.10	盛岡市 (エスポワールいわて)	防除指針作成会議(農業普及技術課主催): 防除指針(案)の決定

カ 東北農業試験研究推進会議

開催月日	場 所	内 容
【稲推進部会】		
26.9.4～5	秋田県秋田市ほか (秋田県農業試験場)	○水稲品種立毛検討会
26.8.28～29	現地調査 青森市、五所川原市 検討会議 青森市	○直播研究会並びに水稲直播等低コスト技術現地検討会 1 東北農政局より情報提供 2 各県における水稲直播栽培等の導入状況と推進方向 3 総合討議 「青森県における水稲直播栽培の普及状況と直播研究の取組について」 「疎植による水稲の省力・低コスト生産技術について」 「革新的技術緊急展開事業等の直播栽培に関する最新技術について」 「水稲直播栽培技術の経営評価」
27.1.28～29	盛岡市 (サンセール盛岡)	○稲栽培研究会 1 研究会『『Google Mapによる気象予測データを利用した農作物警戒情報』等の利用拡大』 2 研究成果情報候補課題の検討
27.1.28～29	盛岡市 (サンセール盛岡)	○稲品種検討会 1 新品種候補系統の概要 2 品種の作付動向と要望される品種 3 奨励品種決定基本調査関係の検討 4 品種・育種関係研究成果情報の検討 5 育種関係情報交換 6 植物防疫に関する説明・情報交換 7 特性比較試験・高温耐性品種育成に向けての特性基準の検討
27.1.29	盛岡市 (サンセール盛岡)	○直播研究会 1 新たな直播栽培マニュアルの検討 2 企業の直播栽培への取り組み 3 稲1葉期予測 4 総合討論
27.1.29	盛岡市 (サンセール盛岡)	○稲課題検討会
27.1.30	盛岡市 (サンセール盛岡)	○稲推進部会 本会議 1 技術的課題の検討 2 次年度重点検討事項の検討 3 共同研究課題の提案 4 重点検討事項「米価低落下における技術適課題と研究の推進」 5 検討会・研究会報告 6 農業新技術200X候補、1.5年プロ候補の選定 7 今後の会議の運営
【畑作物推進部会】		
26.8.21～22	福島県会津若松市	○畑作物栽培研究会
26.9.3	盛岡市 (東北農業研究センター)	○東北地域麦・なたね品種・系統検討会 1 各県の麦・なたね作概況 2 各県における品種の改廃ほか
26.6.25	秋田県羽後町 (羽後町多目的研修施設(活性化センター)ほか)	○東北ソバ研究会 26年産東北産ソバの情勢報告ほか

開催月日	場 所	内 容
27.1.29	盛岡市 (サンセール盛岡)	○畑作物栽培研究会 1 検討会「大豆の低収克服に向けた解析と栽培技術の検討」 2 研究成果情報候補課題の検討
27.1.29	盛岡市 (サンセール盛岡)	○畑作物品種検討会 1 研究成果情報(畑作物品種関係)の検討 2 夏畑作物の有望品種・系統の成績及び次年度配布計画の検討 (1)奨励品種改廃・採用予定及び有望品種・系統(各県) (2)大豆の有望品種・系統(育成地) (3)特産作物(ソバ、ハトムギ、雑穀等)の有望品種・系統(育成地、各県)
27.1.30	盛岡市 (サンセール盛岡)	○畑作物課題検討会
27.1.30	盛岡市 (サンセール盛岡)	○畑作物推進部会 本会議 1 検討会・研究会報告 2 重点検討事項「畑作物のブランド力を高めるための銘柄統一と広域品種の対応」 3 現場段階での重要な技術的課題の検討 4 共同研究課題の提案 5 次年度重点検討事項の検討 6 農業新技術200X候補の選定 7 その他
27.2.25	仙台市 (仙台合庁)	○東北ソバ研究会 1 最近のそばを巡る状況と対策 2 耕作放棄地の再生とその活用方法～そばの里づくりを目指して～ 3 「わたりそばプロジェクト」の取組及び東北産そばに望む 4 「日本そばサミットin上田」の報告と次のステップに向けて 5 東北ソバ研究会における「東北ソバフォーラム」の報告と平成26年産ソバの品質評価 6 食味評価(26年東北産ソバの試食)ほか
【農業生産基盤推進部会】		
26.7.28	盛岡市 (東北農業研究センター)	○東北地域農業経営研究会(夏期) これからの東北水田作における大規模経営と生産組織の働きと関係性
26.8.21～22	山形県 (検討会:米沢市置賜農業共済) (現地:川西町、米沢市)	○作業技術研究会 1 シンポジウム「水田農業における安定多収技術」 2 現地見学会(FOEAS、小畦立深層施肥播種、簡易暗渠) 農作業安全への取組と課題
27.2.4～5	盛岡市 (東北農業研究センター)	○作業技術研究会 1 重点検討事項「東北地域の水田農業におけるスマート農業の可能性と実現に向けた課題」 2 成果情報の検討・確認 3 「農業新技術200X」候補課題の選定 4 現場段階での重要な技術的課題の提案と検討 5 平成26年度作業技術研究会(夏期)についての意見交換
27.2.4～5	盛岡市 (東北農業研究センター)	○農業経営研究会 1 平成26年度研究成果情報の検討 2 「農業新技術200X」候補の選定 3 現段階での重要な技術的課題 4 各県の主要研究課題の検討 5 重点検討事項「東北地域の水田農業における経営的課題と研究の推進」 6 夏期研究会の次年度開催計画

開催月日	場 所	内 容
27.2.4	盛岡市 (東北農業研究センター)	○流通加工部会 1 情勢報告 2 重点検討事項の検討「米の消費拡大、6次産業化と米の品質・テクスチャー」 3 試験研究「研究成果情報」の検討ほか
27.2.5	盛岡市 (東北農業研究センター)	○農業生産基盤推進部会 本会議 1 平成26年度研究成果情報及び農業新技術200Xの検討・評価 2 重点検討事項:「東北地域の水田農業における技術・経営的課題と研究の推進—米価下落時に求められる研究対応—」 3 現場段階での重要な技術的課題の検討 4 次年度重点検討事項候補課題の検討
【生産環境推進部会】		
26.7.8～9	宮城県仙台市 (TKPガーデンシティ仙台)	○土壌肥料研究会(夏期) 1 田畑輪換に伴う地力低下に対応した試験研究の現状と課題 2 東日本大震災に対応した試験研究の現状と課題
26.9.1～2	福島県郡山市 (福島県農業総合センター)	○病害虫研究会(夏期) 1 震災復興に向けた病害虫防除の取り組み 2 現地検討会
27.1.29～30	盛岡市 (東北農業研究センター)	○土壌肥料研究会 1 研究成果情報の検討 2 農食事業提案課題の検討 「トルオーグ法抽出液による交換性カリ・ナトリウムと可給態リン酸の簡易分析法の開発」 3 検討事項特別講演「東北大学大学院農学研究課の震災復興支援の取り組み」 「東日本大震災に対応した試験研究の現状と課題」 「温暖化傾向に対応した試験研究の現状と課題」
27.1.29～30	盛岡市 (アイーナ)	○病害虫分科会 病害研究会 1 研究成果情報の検討 2 平成26年度試験研究成績の検討 ○病害虫分科会 虫害研究会 1 研究成果情報の検討 2 平成26年度試験研究成績の検討
27.1.30	盛岡市 (東北農業研究センター)	○農業気象研究会 1 研究成果情報の検討 2 検討事項「水田農業における農業気象分々の課題と方向」ほか
27.1.30	盛岡市 (東北農業研究センター)	○生産環境推進部会 本会議 1 研究成果情報の検討 2 現場段階での重要な技術的課題の検討 3 重検討事項 「東北地方の水田農業における生産環境分野の課題と今後の方向」 4 各県からの研究情勢報告

開催月日	場 所	内 容
【畜産飼料作推進部会】		
26.9.10～11	福島市 (コラッセふくしま)	○夏期研究会 1 分科会 大家畜： ①新たな肉用牛育種の指標 ②その他情報交換 飼料作： ①自給飼料生産拡大に向けたコントラクターおよびTMRセンターの育成と展開 ②その他情報交換 2 全体会議 ①分科会の報告 ②共同連携方策、競争的資金および共同研究課題について ③その他 3 シンポジウム 「困難に打ち克つために東北畜産はどうあるべきか」
27.1.29～30	盛岡市 (アイーナ会議室) 盛岡市玉山区 (外山畜産研究室)	畜産飼料作推進部会 本会議 1 重点検討事項 東北地域の水田農業に関する畜産・飼料作の技術的課題と研究の推進 2 現場段階での重要な技術的課題の提案と検討 3 主要成果の紹介および農業新技術200X候補の選定 4 技術的課題(現場ニーズ)の提案と検討 5 総合討論および講評 現地検討会 「冬期屋外飼育」
27.1.30	盛岡市 (アイーナ会議室)	○牧草飼料作物優良品種選定ネットワーク推進会議 1 飼料用トウモロコシ品種選定試験 2 話題提供 水田の高度利用を目的とした飼料用イネ-麦二毛作の検討 3 東北地域 飼料分析コンペ
【野菜花き推進部会】		
26.7.15～16	福島県郡山市他	○野菜研究会(夏期) 1 野菜の安全とリスク管理
26.10.8～9	山形県米沢市	○花き研究会(夏期) 1 高品質花きの安定生産流通に向けた技術開発
27.2.2～3	盛岡市 (東北農業研究センター)	○野菜花き推進部会 本会議 1 重点検討事項「水田を利用する露地野菜花き栽培の技術的課題」 2 研究成果情報候補課題の検討・採択 3 現場段階での重要な技術的課題の検討
【果樹推進部会】		
26.8.21～22	宮城県仙台市、山元町	○果樹研究会(夏期) 1 「食料生産地域再生のための先端技術展開事業」に係る取り組み状況 2 研究戦略に係わる総合討議
27.1.26～27	盛岡市 (サンセール盛岡)	○果樹推進部会 1 重点検討事項:東北地域における果樹の栽培適地の移動予測と樹種複合を考える 2 平成26年度成果情報 3 現場段階での重要な技術的課題 4 主要新規試験研究計画の概要 5 今後の会議の運営

開催月日	場 所	内 容
27.2.3～4	つくば市	○落葉果樹研究会 1 全体会議 1) 果樹園におけるスマート農業の展望 2) 海外における果樹用機械のトレンドと今後開発すべき機械 3) 樹形の共通化がもたらす大規模化・省力化栽培の可能性 2 樹種別分科会 ナシ、カキ、クリ、核果類、ブドウ、土壌肥料、流通利用
27.2.5～6	盛岡市 (サンセール盛岡)	寒冷地果樹研究会 1 全体会議 リンゴの機能性成分とその作用に着目した商品開発 2 分科会 栽培)リンゴ果実の着色を巡る話題 ～新品種・新技術～ 病害)減農薬防除に向けた取り組みの現状と問題点 虫害)寒冷地果樹におけるハダニ類の発生状況と天敵利用による防除 土壌・肥料)寒冷地果樹における近年の土壌肥料的課題 ～リンゴ以外の樹種を中心として～
【研究戦略会議】		
26.10.15	盛岡市 (東北農業研究センター)	1 実証研究の情報共有と分野間・地域間の連携 (戦略目標「現地実証研究を地域農業の振興に結びつけるための連携」) 2 東北地域研究・普及連絡会議への提案事項の検討 (農業新技術200X、国の施策で対応すべき技術的課題候補)
【本会議】		
27.2.18	盛岡市 (東北農業研究センター)	1 推進部会報告 2 重点検討事項の検討 テーマ:東北地域の水田農業における技術・経営的課題と研究の推進 3 その他

キ 東北地域研究・普及連絡会議

開催月日	場 所	内 容
26.10.29～30	福島県郡山市(福島県農業総合センター)他	出席者:所長 1 連絡会議 ・「国の施策で対応すべき技術的課題」候補の選定について ・「農業新技術2015」候補の選定について 他 2 現地検討会(先端プロ実証圃場視察:いわき市、川俣町)

ク 県内で開催された関係学会

開催月日	場 所	学 会 名 ・ 内 容
26.6.9～10	盛岡市(東北農業研究センター)、花巻市及び一関市	平成26年度東日本麦類育成系統立毛検討会 ・麦類育成地概要及び有望系統の概要 ・国産麦の需要動向と実需者からの要望事項 ほか
26.8.21～22	盛岡市 (岩手県民情報交流センターアイーナ)	第32回日本植物細胞分子生物学会(盛岡)大会・シンポジウム
26.8.22～23	岩手大学	第50回東北農業経済学会岩手大会
26.10.18～19	盛岡市(アイーナ;いわて県情報交流センター)	第23回日本ダニ学会

ケ 北東北3県農業試験研究センター企画室長等会議

開催月日	場 所	内 容
26.11.7	盛岡市 (アイーナ)	1 研究職員交流の取組みについて 2 試験研究連携の取組みについて 3 北東北3県研究職員交流に関する覚書の取扱いについて 4 その他(水稻関係)

Ⅱ 試験研究の推進

II 試験研究の推進

1 研究活動の概要

岩手県では、平成 21 年度から平成 30 年度までの 10 年間の計画となる「いわて県民計画」を平成 21 年 12 月に策定した。この「いわて県民計画」に基づき、農林水産部では、農林水産分野の長期的な技術開発の方針として『農林水産技術立県いわて』技術開発基本方針（以下「技術開発基本方針」という。）を策定した（平成 22 年 3 月）。

技術開発基本方針に基づき、農業研究センターでは平成 26 年度までに取り組む具体的なアクションプラン「岩手県農業研究センター試験研究推進計画」を策定した（平成 22 年 3 月、平成 24 年 3 月研究期間を 30 年度まで延長し改訂）。

技術開発基本方針の 6 つの農業技術開発の方向に即し、17 分野 50 の取組により、安全・安心で高品質な農畜産物を効率的・安定的に生産するための高度な技術の開発を進め、「農林水産技術立県いわて」の確立に取り組んでいる。

平成 26 年度の試験研究にあたっては、以下の 3 つの基本方針に沿って、新規 17、継続 108、合計 125（小課題数ベースで、分野を重複する小課題はカウントしている）の研究課題に取り組んだ。

1 顧客の視点に立った試験研究等業務の着実な推進

- ・所得向上につながる普及性の高い技術開発
- ・産地づくりをリードする革新的な技術開発など

2 プロジェクト研究の推進によるスピーディーな課題解決

- ・課題設定から普及定着まで、研究、行政、普及、地域が一体的に推進
- ・連携軸強化による効率的・効果的かつ戦略的な技術開発

3 情報発信の強化による県民への業務の「見える化」の推進

- ・知的財産の実用化促進
- ・研究成果活用・PR 強化

平成 23 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災等への対応として設置した「震災復旧・復興支援プロジェクトチーム」を「震災復興加速プロジェクトチーム」に改組し（平成 25 年 7 月 1 日）、沿岸地域における復興に向けた技術的、経営的ニーズへの積極的対応、実証試験を通じた技術の導入・開発に取り組んだ。

また、「放射性物質に係る農業技術対策調査検討チーム」では、「県産農林水産物の放射性物質濃度の検査計画」に基づく検査及び市町村等からの依頼による検査を行うとともに、放射性セシウム除染効果の検証を行った。

県独自予算の研究に加え、競争的資金等の活用や産学官連携による共同研究を推進し、農産部門で 25 課題（うち新規 4 課題）、畜産部門で 5 課題（うち新規 1 課題）、合計 30 課題の共同研究に取り組んだ。中でも、農林水産技術会議の「食料生産地域再生のための先端技術展開事業」の「中山間地域における施設園芸技術の実証研究」並びに「ブランド化を促進する農産物の生産・加工技術の実証研究」の「果樹類」及び「野菜類」の 3 課題については代表機関として、また、共同研究機関として「中小区画土地利用型営農技術の実証研究」に取り組んだ。

産学官連携では、水稻、小麦及び大豆で実需者や加工業者等との情報交換会を開催するとともに、いわて産学官連携フォーラム等に出展して研究成果を積極的に PR し、新たなニーズの掘り起こしを行った。

知的財産では、「キビ岩手糯 1 号」を品種登録出願した。

新たな黒毛和種基幹種雄牛として「緑乃大地」（みどりのだいち）、「山根雲」（やまねぐも）の 2 頭を指定した。

本年度の試験研究から得られた成果は、内部及び外部（試験研究推進アドバイザー・生産者等）の評価を経て、60 の研究成果（普及区分 12、指導区分 33、行政区分 11、研究区分 4）にとりまとめ公表した。

平成 24 年度に設置した機関評価委員会を、10 月 23 日に陸前高田市の南部園芸研究室を会場として開催し、昨年度の評価意見に対応した本年度の取組状況や試験研究の進捗状況等を報告するとともに、試験研究全般に関し意見交換を行った。

2 トピックス

(1) 特許・品種登録出願状況

区分	出願・登録内容	担当
特許	(該当なし)	—
種苗 登録	水稻 岩手 117 号【出願番号 30039、登録出願 2015/3/26】 ・極良食味かつ低コスト栽培が可能な主食用品種の育成母本	技術部 作物研究室
	りんどう いわて LB-3 号【出願番号 29679、登録出願 2014/10/29】 ・9 月上旬咲きの切り花用青色品種	技術部 野菜花き研究室
	同 いわて LB-4 号【出願番号 29680、登録出願 2014/10/29】 ・9 月上～中旬咲きの切り花用青色品種	

(2) 表彰等受賞状況

ア 植物調節剤功労者表彰

環境部 多田勝郎環境部長が岩手県における水稻の除草剤および植物調節剤研究の実施並びに指導に当たり、除草剤の適正利用に貢献したとして、公益社団法人日本植物調節剤研究会より表彰を受けた(平成 26 年 12 月 12 日)。

当表彰は植物調節剤に関する検査・検定、研究開発及び普及啓発に長年にわたり顕著な功績を挙げた者に贈られるものである。

イ 第 7 回北日本病害虫研究会賞 研究論文部門 病害分野

病理昆虫研究室 岩館康哉主任専門研究員(現農業普及技術課)の論文「キュウリホモプシス根腐病に対するクロルピクリンくん蒸剤を用いた深層土壌くん蒸処理の防除効果」が、優れた論文として評価され、第 7 回北日本病害虫研究会賞 研究論文部門 病害分野を受賞した(平成 27 年 2 月 19 日)。

なお、本研究会は、病害虫防除並びに農業に関する知識の向上および普及を図り北日本の農業の発達に寄与することを目的とし、北海道および東北 6 県の研究者等からなる組織であり、当表彰は、会員を対象として、毎年、優れた論文の執筆者等に贈られるものである。

ウ 平成 26 年度事績顕著者表彰

県北農業研究所の日山千代司運転技士兼技能員は、昭和 50 年 4 月 1 日に岩手県立農業試験場県北分場に技能員として採用されて以来、39 年間にわたり研鑽を重ね、農作業技術に精通し、試験研究の推進を通じて本県農業の振興に大いに寄与するとともに、熱心に若手職員の指導・育成に努めてきた。その功績により、平成 26 年 10 月 29 日に事績顕著者として表彰を受けた。

エ 植物調節剤功労者表彰

及川一也県北農業研究所長は、昭和 59 年に岩手県立農業試験場県北分場勤務時に水稻成長調整剤適用性試験担当となり、以来、二十数年にわたり植物調整剤に関する検査・検定、研究開発及び普及啓発に取り組んできた。その功績により、平成 26 年 12 月 12 日に公益財団法人日本植物調節剤研究協会から植物調節剤功労者表彰を受けた。

(3) 特定課題調査検討チームによる検討及び連携プロジェクトによる研究推進

ア 特定課題検討チーム*

なし

(*多岐にわたる課題あるいは今後重要と見込まれる事項について研究的観点から検討するチーム)

イ 連携プロジェクト**

(**多岐の研究部門にまたがる研究課題を短期間に、効率よく解決するために編成するプロジェクト)

(ア)プロジェクト名及び構成

分野	プロジェクト名	研究内容	チーム員	協力
個別課題解決	リンドウこぶ症連携プロジェクト [H21～]	◎リンドウこぶ症対策に係る試験研究	環境部 技術部	・(公財)岩手生物工学研究センター ・中央農業改良普及センター
	水稲種子病害対策連携プロジェクト [H24～]	◎水稲細菌病類を主体とした種子伝染性病害防除対策に係る試験研究並びに指導機関と連携した技術対応	環境部 技術部	・病害虫防除所 ・中央農業改良普及センター

(イ)取組概要

名称	検討内容	検討結果
リンドウこぶ症	りんどうこぶ症関連ウイルス(GKaV)の伝搬経路を探索し、こぶ症の発生原因を解明するため、連携プロジェクトを継続。GKaVの病原性について研究を進めている生工研とも連携を図る。 ○第1回チーム会議(H26.6.24)	○新規課題「りんどうこぶ症関連ウイルス(GKaV)の伝搬経路の探索(H25-27:県単)」の実施計画の確認 ○生工研の共同研究課題「先端的かつ岩手県独自の病害診断システムの構築に向けた基礎技術の開発」の実施計画の確認
水稲種子病害対策	新規課題の進捗状況確認 ○第1回チーム会議(H26.6.16) ○第2回チーム会議(H27.3.10)	○第1回チーム会議 本年度の試験計画の確認 育苗センター等巡回結果の情報共有 ○第2回チーム会議 本年度実施した試験結果の検討 次年度研究計画の検討 本年産種子の保菌状況調査結果の共有

ウ 復興加速プロジェクトチーム

平成23年3月11日に発生した東日本大地震津波で甚大な被害を被った沿岸地域の農業の復旧・復興に向けた具体的な技術支援対策を実施するため設置した「震災復旧・復興支援プロジェクトチーム」を「復興加速プロジェクトチーム」に発展改組し(平成25年7月1日)、農林水産省の委託研究予算(食料生産地域再生のための先端技術展開事業、農林水産省委託、平成25～29年度)を獲得して、復興に資する大規模な実証研究を開始した。

この実証研究は、地域の特徴に合わせた営農技術の実用化並びに経営の姿を6つの経営体における実証を通じて明らかにするものである。農工商連携や観光と結びついた高付加価値化、素材の科学的な評価や新品種を基にしたブランド化、地域の木質資源やICT技術を駆使した低コスト生産技術などを経営面からも評価しつつ総合的に組み立てて普及定着を図っていく内容で、県内外の民間企業・大学・研究機関28機関が取り組んでいる。さらに、沿岸広域振興局、大船渡農業改良普及センター及び中央農業改良普及センターが普及支援組織として協力している。

平成26年度は開始2年目となり、引き続き幅広い取り組みが展開され、課題によっては一定の研究成果が得られているものの、完成された実用成果を示すことはできなかったが、木骨ハウスなど実規模の低コスト施設の建造、有望な野菜品目の地域適応性の検討、りんご早期成園化のためのフェザー苗養成技術や北限のユズ栽培の実証、土地利用型作物の適品種の選定、小型汎用コンバインを核とする低コスト栽培技術の実証など、非常に幅広い取り組みを展開した。また、農業経営面でも沿岸被災地におけるビジネスモデルの構築に向け、実証経営体の総合的な分析評価やコンサルティングを実施した。

3 研究室・課の動き

(1)プロジェクト推進室

水稻の湛水直播栽培安定多収技術の開発、及び水田転換畑における大豆の安定多収を実現する新技術等の開発を行い、これらを軸に、土地利用型作物の低コスト生産技術の確立と体系化に取り組んだ。また、沿岸南部地域において「食料生産地域再生のための先端技術展開事業」を実施し、沿岸地域農業の復興支援に取り組んだ。

業務推進にあたっては、競争力・社会貢献力のある技術シーズの開発を目指し、現地実証試験やビジネスパートナーとのコミュニケーションの強化によって、生産現場に即した技術の実用化を図った。

<水稻直播栽培の安定多収技術の開発>

県内で急速に普及拡大している水稻鉄コーティング湛水直播栽培技術について、安定多収のための品種毎の目標生育量や栽培管理方法を明らかにした(研究成果:指導区分 水稻品種「あきたこまち」の鉄コーティング湛水直播栽培における安定生産のための期待生育量。指導区分 水稻品種「どんぴしゃり」の鉄コーティング湛水栽培技術における安定生産のための期待生育量。指導区分 飼料用米「つぶみのり」の鉄コーティング湛水直播栽培における安定生産のための栽培管理)。

また、鉄コーティング種子を効率的に作成できる酸化調製機の特徴と活用方法を取りまとめ、作業体系を提示した(研究成果:指導区分 酸化調製機(50 kgタイプ)を活用した水稻鉄コーティング種子作製の効率的作業体系)。

<水田大豆の多収、低コスト技術の開発>

水田転換畑における大豆の生産性向上技術の体系化を図り、センター内及び現地(矢巾町、陸前高田市)において総合実証を実施して全刈収量 300 kg/10a の目標を達成した。また、開発した技術体系の経営評価を行い導入条件も明らかにした(研究成果:普及区分 ディスク式畑用中耕除草機を活用した大豆の一貫栽培体系)。

<食料生産地域再生のための先端技術展開事業>

「食料生産地域再生のための先端技術展開事業」(中小区画土地利用型営農技術の実証研究)(代表機関:(独)東北農業研究センター)に参画し、東日本大震災からの早期復興をねらいとして、土地利用型作物の低コスト・省力・安定生産技術の実証試験を実施した。陸前高田市において水稻直播栽培技術、大豆小畦立て播種栽培技術、畦畔法面管理の省力化技術、大槌町においてソバ・ナタネの畦立て播種栽培技術を実証した。また、これらの3種の作物を1台の小型汎用コンバインで収穫する技術の実証試験を実施した。

畦畔法面管理技術の実証では、法面被覆に用いるイブキジャコウソウの効率的な育苗・定植方法を確立した(研究成果:指導区分 イブキジャコウソウの効率的な育苗・定植方法)。また、水稻直播実証結果及び大豆実証結果については、前述の各研究成果の取りまとめに活用し、沿岸地域での技術適用についても明らかにした。

(2)企画管理部

研究企画室

農業試験研究のアクションプランである「農業研究センター試験研究推進計画」に基づき、研究員の円滑な試験研究の支援、生産者や県民に開かれた農業研究センターを目指し、以下の事項について重点的に取り組んだ。

<顧客視点の試験研究の推進>

顧客のニーズに対応した試験研究を推進するため、中央普及センターとの作物別連携会議や現地検討会などを通じて顧客である農業者等のニーズの把握に努めた。

試験研究推進計画については、平成26年度の研究実績を踏まえ、3月に行程表を見直した。

試験研究推進の仕組みについては、研究課題の収集方法や研究成果の追跡評価方法を見直すとともに、平成23年度に制度化した試験研究推進アドバイザーを研究会議において活用し、顧客目線での助言を得た。

センター運営や試験研究推進に対する外部評価を得るため設置した機関評価委員会を南部園芸研究室において10月23日に開催した。食料生産地域再生のための先端技術展開事業の果樹と施設園芸の現地実証の状況を見学した後、昨年度の評価意見への対応状況や試験研究に関し、質疑と意見交換を行った。

平成25年度から実施している食料生産地域再生のための先端技術展開事業を適正に執行するため、職員に対して研究資金等の事務手続きや経理事務研修を行った。

また、競争的研究資金等への応募のため、資金情報の提供や研究計画作成への助言を行うとともに、共同研究を推進

するため、いわて産学官連携フォーラムへ出展し、研究シーズを大学・企業等へ紹介した。

<アウトカムを意識した研究成果の普及と情報発信>

研究センターの業務内容や研究成果の周知を図るため、マスコミへのプレスリリースやホームページにより積極的な情報発信を行なった。プレスリリースは年間22回(前年36回)行い、マスコミでの報道件数は62件(前年82件)であった。ホームページでは年間430万件(前年447万件)の閲覧数があり、また、研究活動の現在(いま)を分かり易く伝える「らぼ・れたあ」をメールやホームページにより年間61件(前年111件)発信した。さらに、Twitterによる情報発信では、ホームページの更新情報を中心にツイート数586回、フォロワー増加数217名、同じくFacebookでは投稿数176回、いいね!増加数70名であった。

センターを一般に開放する参観デーや一日子供農業研究員を開催した。

参観デーは9月5～6日に開催し、来場者数は約2,500名と前年並みであった。また、一日農業研究員は8月1日に岩手県立大学の辻盛生准教授を講師に「農業ふれあい公園内にある『ひょうたん池』に生息する生き物の調査」として開催し、北上市及び花巻市の小学生17名が参加した。果樹用農薬飛散制御型防除機に関する現地セミナーを独立行政法人農業・食品産業技術総合研究機構生物系特定産業技術研究支援センターと共同開催するとともに、農業における放射性物質対策技術研修会を開催した。また、震災被災地である陸前高田市でいちごの高設栽培技術を紹介する現地ふれあい農業研究センターを開催し、研究最終年度となった非主食用稲の直播技術等の研究成果に関する公開シンポジウムを青森市及び盛岡市で開催した。

<専門知識と技術を有する人材育成>

研究員の資質向上については、「農業研究センター研究員育成プログラム」(平成19年3月策定)に基づき、センター研究員研修計画を策定した。この研修計画にもとづき、依頼研究員等(3名)に研究員を派遣するとともに、可能性(FS)調査に2件2名を派遣した。また、北東北三県研究職員交流では、秋田県から2名を受け入れた。

予算管理面では、経理事務検討チームにより構築した「新たな予算の執行管理システム」を運用して、予算管理を行うとともに、「不正防止計画」に基づいたモニタリングと内部監査の実施により適正な経理事務を支援した。また、研究備品の更新計画をローリングした。

農業経営研究室

東日本大震災被災地支援に係る2課題と、技術体系作成に係る1課題を柱として研究を進めるとともに、次年度から予定している「水田農業における地域営農システム」の研究課題について事前調査及び研究計画作成に取り組んだ。

<地域特性を活かした収益性の高い農業経営モデルの提示>

陸前高田市で導入する大規模施設園芸の計画立案の支援を中心に、沿岸地域の地域特性を検討した。

<開発技術の経営的評価による効率的な研究推進>

食料生産地域再生のための先端技術展開事業による実証研究より、技術係数・経営係数を抽出し、4つの技術体系(水稲主食用米・移植、水稲飼料用米・直播、大豆、イチゴ)を作成した。

<営農計画作成支援情報の提供>

行政側からの要請に応じて、飼料用米8体系及びWCS4体系を作成し、併せて、主食用米5体系、水稲受託3体系の見直しを行い、行政区分の試験研究成果とした。これらは農業基盤強化促進に係る基本方針の公布とともに、2015年版岩手県生産技術体系の一部として公表される予定である。

(3)技術部

果樹研究室

果樹研究室は、リンゴを主体に、ブドウ、西洋ナシ、オウトウ、ブルーベリーなどの樹種に係る試験を実施している。特に、早生から晩生までを網羅するオリジナルりんご品種の開発を掲げ、「つがる」に代わる早生品種と「ふじ」に匹敵する晩生種を開発を重点課題としている。また、温暖化等によるリスクの解消、軽減を図るため、凍霜害、裂果等の対策技術の開発に努めるとともに、軽労化につながる栽培技術の開発に向けた課題を実施している。

加えて、東日本大地震津波による被害地域の復興を目的とした、国庫委託事業「食料生産地域再生のための先端技術展開事業」により、リンゴ、ユズ、ブドウの生産・加工技術の実証研究として、センター内の他、陸前高田市に実証圃場を設置す

るなどし、被災地復興支援に取り組んでいる。

以上の取り組みから、今年度は以下の 6 つの研究成果を公表した。

- (1) リンゴ JM7 台木の 1 年生苗木を不織布ポットに移植し、新梢伸長期からベンジルアミノプリン液剤を 10～15 日間隔で散布することにより、定植当年から結実可能な 2 年生苗木が育成できることを明らかにした。
- (2) リンゴ「岩手 4 号」は 11 月中旬に収穫される赤色品種である。樹姿は中間性、樹勢は弱程度、果皮を被う色は濃赤色から暗赤色で着色良好である。ふじよりやや小玉で甘みが強く、みつも入り食味良好であり、日持ちは普通冷蔵で 5 か月程度と貯蔵性に優れることを明らかにした。
- (3) カシスの収穫方法は、房全体の黒粒割合が 75%以上になった時に一斉収穫を行うことで、選り収穫より省力的であり、果実品質も同等である。初期収量性、糖度、抗酸化能(ORAC 値)、果汁色から判断すると、品種「ボスクープジャイアント」が優良であり、「サレック」は「ボスクープジャイアント」と収穫期ピークが異なるため、収穫期分散化を狙う上で有望であることを明らかにした。
- (4) りんごわい性台樹における夏期の薬剤散布では、ナミハダニ、輪紋病、炭疽病に対しては、夏期の薬剤散布量を 550L/10a から 400 L/10a に削減しても同等の防除効果が認められるが、すす斑病に対しては 9 月上中旬が高温多雨の場合や樹体の繁茂程度が高く葉液到達性が劣る樹では、防除効果が劣ることがあることを明らかにした。
- (5) りんご品種「高野 1 号(商標登録名:紅ロマン)」は 8 月下旬に収穫される極早生の赤色品種である。甘酸適和で食味良好な品種で、高温下でも着色するため、着色管理が容易であることを明らかにした。
- (6) りんご「シナノゴールド」の越年出荷に向く収穫時期の判断基準は、満開後日数 150～160 日、ヨード反応指数 1 以上であり、4℃の冷蔵条件下で貯蔵した場合、収穫後 4 ヶ月まで貯蔵可能であることを明らかにした。

作物研究室

<水稲育種チーム>

(水稲品種)

水稲の奨励品種決定調査では、本調査において粳 6 系統、糯 1 系統を供試し、現地調査では粳を 12 か所、糯を 1 か所で検討した。「品種 食味、栽培特性(耐冷性・耐病性・耐倒伏性)に優れる中生粳水稲「岩手 107 号」を水稲奨励品種に提案した(普-02)。27 年度の本調査に、粳の早生で「岩手 106 号」、「ふ系 242 号」、中生で「秋田 114 号」、「岩手 113 号」、晩生で「岩手 111 号」、「福島 38 号」、「岩手 118 号」、糯で「ふ系糯 234 号」、非主食用で「青系 192 号」、「岩手 109 号」を供試する(試験研究成果書(行-02)、(行-03))。

(水稲育種)

いわてブランド米品種開発推進事業に取り組んでいる。生産力検定本試験から、生育・収量調査および各種特性検定試験の結果に基づき、「岩手 118 号」(晩生の中、極良食味)、「岩手 119 号」(早生の晩、多収、耐冷極強)、「岩手 120 号」(中生の早、良食味、良質、多収)、「岩手 121 号」(晩生の中、良食味、良質、多収、葉いもち極強)、「岩手 122 号」(飼料用、早生の晩、耐倒伏性強、いもち極強)の系統を選抜した(行-01)(行-04)。

平成 23～26 年度農林水産省委託プロジェクトの「国産飼料(1 系)コンソーシアム」の構成員として委託課題「11002c 多収でいもち病抵抗性・耐冷性・識別性を有する飼料用米品種の育成(東北地域中北部向けのいもち病抵抗性評価と多収性飼料用米系統の選抜)」に取り組み、本年度の「岩手 122 号」(前出)を配布系統とした。

また、(公財)岩手生物工学研究センターと連携し、分子マーカーを用いた選抜に取り組んでいる。生工研を代表機関として共同課題農林水産業・食品産業科学技術研究推進事業「ひとめぼれゲノム資源を活用した重要遺伝子同定と実用品種育成」において、極良食味、高度いもち病抵抗性、初期伸長性、耐倒伏性を導入し DNA マーカー選抜した「岩手 117 号」を育成し、中間母本としての活用することとした(研-01)。

<作物栽培・種子チーム>

水稲・畑作物(麦類・大豆)栽培試験、品種選定、作柄解析、主要農作物(水稲・小麦・大麦・大豆)原種・原々種生産に取り組んでいる。

(水稲栽培)

作況調査・作柄解析については、所内の作況試験データ(本部および県北研究所)・現地生育データ(農業改良普及センター)・気象データ(盛岡地方気象台)・土壌栄養(生産環境研究室)・病害虫(病理昆虫研究室)・作柄(東北農政局)・品質情報(同)を総合的に解析し、次年度以降の技術対策指導に供した(指-04)。

(麦類)

麦類奨励品種決定調査では、小麦 6 系統、大麦 4 系統を供試した。小麦では「超強力小麦「銀河のちから」の加工特性を引き出す後期窒素追肥法」を研究成果(普-03)としてとりまとめた。

特性検定では、麦類耐寒雪性を(独)作物研究所からの請け負いで実施した。小麦および大麦をそれぞれ 64、43 品種・系統を供試した。

(大豆)

大豆奨励品種決定調査では、3 系統を供試した。

農林水産省委託プロジェクトの「実需者等のニーズに応じた加工適性と広域適応性を持つ大豆品種等の開発」(ハリュープロ(大豆))において、晩播密植栽培による大規模現地試験として無限伸育型の東北 175 号と刈系 875 号及び有限伸育型の刈系 882 号と刈系 883 号を供試した。また立枯性病害抵抗性検定試験には、育成系統 23 系統、参考 12 品種・系統を供試した。

(種子生産)

水稻種子生産(主要品種)では、原々種はうるち 3 品種 97kg、もち 2 品種 56kg、原種はうるち 7 品種 19,251kg、もち 2 品種 1,663kg を生産した。

小麦では、原種は「ナンブコムギ」を 4,180kg、「ゆきちから」を 2,820kg 生産した。大豆原々種は「シウリュウ」を 47kg、原種は 3 品種 4,100kg 生産した。また、小豆の原々種 1 品種 47kg 生産した。

野菜花き研究室

野菜花き研究室では、「農林水産技術立県いわて」の確立のため、以下の基本方針に沿って野菜および花きの 2 チーム体制で試験研究に取り組んでいる。(1) 顧客の視点に立った園芸品目の省力・低コスト生産技術の開発、(2)消費ニーズ及び将来の動向を見越した本県に適する花き(リンドウ)新品種の選抜・育成、(3)生産の安定に直結する優良な原種苗等の正確かつ安定的な供給

<野菜チーム>

野菜は、「主要野菜の収益性を向上する革新技術、高付加価値化技術の開発」を推進するため、果菜類では、雨よけトマトの草勢管理技術、抵抗性台木を用いたピーマンの安定生産技術、国内生産量がほとんどない 11 月の促成アスパラガス栽培技術の確立、ハクサイの冬～春生産を可能にする新品種・作型の開発に向けた課題を実施している。

また、平成 25 年度からは東日本大地震・大津波被害地域の復興を目的とした、国庫委託事業「食料生産地域再生のための先端技術展開研究」を導入し、キュウリ、パプリカ、トマトの生産・加工技術の実証研究として、センター内の他、陸前高田市・大槌町に実証圃場を設置し、被災地復興支援に取り組んでいる。

キュウリでは、安価な「かん水同時施肥装置」を活用し、現地で露地夏秋作型キュウリの栽培を行い、装置の性能に問題はなく、慣行栽培と同等の収量が得られることを確認した。また、新形質キュウリであるベイトアルファ型キュウリは初期収量が優れていることを明らかにしたほか、試験販売を通じて、消費者のベイトアルファ型キュウリに対する良好な評価を得た。

パプリカは、本県の夏期冷涼な気象を活かすとともに、沿岸被災地域の水稲育苗施設の高度利用を図るため、簡易な隔離床栽培法を考案し、安定生産技術の確立を図っている。また、短い栽培期間で収量をあげるため、収量性に優れる品種の選定や摘心方法、台木の利用等について検討を行っている。

トマトでは、省力的で収量が高い栽培技術として、露地放任ネット誘引栽培(ソバージュ栽培)の改良を行い、直立ネット誘引により収量が向上することを明らかとした(平成 26 年度研究成果)。

また、付加価値の高い品目として、橙系ミニトマト品種について、品質の優れる品種を明らかとした(平成 26 年度研究成果)。

<花きチーム>

花きは、「日本一のリンドウ産地を支えるオリジナル新品種の開発、安定生産技術の開発」を目指し、主産地としての優位性を維持するために、リンドウに重点を置いた品種、技術の開発を行っている。特に、市場の需要を満たし、さらには需要を作り出すためのオリジナル品種開発を最重点課題としている。

また、これまでに開発したオリジナル品種の原々種維持、原種増殖と種苗センターへの供給、生産性の高い省力・低コスト安定生産技術の確立に向けた課題を実施している。

リンドウの品種開発では、有望 F₁ 系統の組合せ検定を実施し、品質の低下が見られる既存品種に置き換わる、品質、揃いに優れた新品種を順次開発しており、新たな品種構成による継続した出荷が可能となりつつある。

純系リンドウと DNA マーカーを利用した品種育成技術を活用し、未受精胚珠の培養により得られた倍加半数体個体から採種し、純系を用いた F₁ 採種を目指して、特性調査を進めている。

一方、培養が困難であった系統の増殖方法を明らかにすることで、全ての系統について組織培養による増殖が可能となった(平成 26 年度研究成果)。

リンドウ種子供給に関して、原々種の安定採種、親株の大量増殖と供給に取り組み、ほぼ計画数量どおりの親株を種苗センターに供給した。これら採種親株の管理について、種苗センター現地ほ場を確認しながら、検討会を実施した。

南部園芸研究室

南部園芸研究室は平成 23 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災津波により研究施設等が全壊・流失したが、平成 26 年 1 月 6 日に再建・開所して業務を再開した。

トマト 3 段摘心による新栽培様式の確立試験は、宮城県山元町の実証試験地内施設および南部園研場内で実施し、3 段摘心栽培にインタープラントイングの技術を取り入れた連続栽培について試験を行なった。目標収量の 10t/10a は到達できる見込みである。園芸学会東北支部では、この新栽培様式における適性品種の選定について報告した。

イチゴの品種比較試験は、東北農業研究センターと共同で実施しているもので、四季成り性品種の夏秋どり作型、一季成り性品種の低温カット栽培に適した品種選定を行なっている。昨年度導入系統について、各系統の特性を明らかにした。

先端プロ「中山間地域における施設園芸技術の実証研究」は、2 年目となり、本格的な実証研究を開始した。平成 25 年度に建設した建設足場資材利用ハウスでは、トマトの隔離床栽培およびトマトの養液栽培における UECS 対応の相対照度測定と日積算値による LAI 推定機能を加えた量管理ノードを用いた試験に着手した。木骨ハウスでは、イチゴの促成栽培と周年栽培の実証試験に取り組んでいる。また、栽培実証と併せてハウス内環境について検討したが、鉄骨ハウスに比べ採光性が劣ることを明らかにした。この他にも木骨ハウスの課題を整理し、平成 27 年度には改良型木骨ハウスの建設に反映させる予定である。木骨ハウスにおけるイチゴの促成栽培では、改良型の木質バイオマス加温機を用いて閉鎖型高設栽培システムによるイチゴの促成栽培を行ない、同加温機のハウス加温性能および排熱を利用した局所温度管理法について試験を実施した。また、今年度から一季成り性品種および四季成り性品種を用いた周年栽培の実証試験を開始した。

(4) 環境部

生産環境研究室

生産環境研究室では、安全で、安心できる農産物の安定的な生産・供給や環境に配慮した農業の振興を図り、岩手ならではの産地づくりに寄与するため、①土壌養分の蓄積に対応した効率的な施肥管理技術の開発、②家畜由来有機物等を地域資源として有効活用するための技術開発を柱とした研究課題に取り組んだ。また、東日本大震災の津波によって被災した農地の復旧・復興対策として、国庫委託事業「食料生産地域再生のための先端技術展開研究」を導入し、復旧水田での水稻の安定生産実証に取り組んだ。

土壌蓄積養分に対応した効率的な施肥管理技術の開発としては、トマトの安定生産のための新たな窒素施肥基準の策定として、可給態窒素水準が低、中、高の 3 段階の異なる土壌での栽培試験(ドレンベット)を行った。その結果、トマトの収量は、窒素施肥量が同等であっても土壌の可給態窒素の影響を受ける事を明らかにした。また、北上市内の施設トマトの現地調査を行い、現地における可給態窒素の実態を把握した。りんごでは、平成 26 年度から補給型施肥と従来型施肥の比較試験を開始し、所内の圃場と現地圃場 3 箇所、生育、収量調査や跡地土壌の調査を行った。

家畜由来有機物の有効活用する技術開発としては、鶏ふん堆肥と豚ふん堆肥の窒素の肥効について、新たな分析手法によって速効的部分と緩効的部分を評価し、それに基づく化学肥料の代替試験を行った。水稻の圃場試験では、鶏ふん堆肥は、肥効評価法の推定値に近い窒素肥効を確認できたが、豚ふん堆肥は、緩効性部分の肥効が推定値より少なく、窒素追肥の代替は検討が必要と考えられた。こまつなポット試験では、1 作目は化学肥料と同等の生育を示したが、2 作目以降は堆肥からの窒素供給は、窒素肥効の推定値よりも少ない傾向となった。

津波で被災した農地の復旧・復興対策としては、山土を客土して平成 25 年度に復旧した水田において、地力不足を補うための稲わらと石灰窒素の秋施用や、地力の代替として緩効性窒素肥料を活用した施肥試験を行った。その結果、緩効性肥料により収量は増加した圃場もあるが、より生育、収量の安定化を図るため、緩効性肥料の溶出パターンについて、更なる検討が必要と考えられた。一方、平成 25 年度の所内試験において、がれき分別土を中心とした土壌を客土しても水稻の生育には影響しないことが明らかとなったことから、平成 26 年度の作付に向けた復旧工事では、客土としてがれき分別土を中心とした土壌が用いられた。平成 26 年度には、これらの圃場において生育、収量調査を行ったところ、生育は順調で 600kg/10a 以上の収量(坪狩り)を確保した。

今年度の取組みの成果は、指導区分として「水稻用軽量育苗培土の特性」をとりまとめ、今後県内で流通が見込まれる軽量育苗培土の特性を調査し、軽量培土の利用上の留意点などを明らかにした。

試験研究以外の取組みとしては、東京電力福島第一原子力発電所の事故に伴う、県産農林水産物の放射性物質検査に取組み、野菜、果実、畜産物、林産物など年間約 1,000 点を分析し、県による検査結果として公表された。また、農地土壌のモニタリング調査として、同一圃場 75 地点において、4 年目の継続調査を行い、おおむね理論どおりに放射性セシウムが減衰していることを明らかにした。

病理昆虫研究室

持続性が高く安定性のある農業生産を目指した病害虫制御技術を確立するため、環境負荷軽減を目指した効率的な化学的病害虫防除技術、生物的防除など環境にやさしい病害虫防除技術及び病害虫総合管理技術(IPM)の開発に取り組んだ。水稲分野では、品種「ひとめぼれ」を対象に、穂いもち防除実施の有無による収量・品質について検討、穂いもち被害度と減収率、出穂期における上位3葉の株あたり病斑数との関係を明らかにした。また現地調査から葉いもち多発ほ場がある地域では穂いもちが多発するリスクがある事を示し、学会で発表(第68回北日本病害虫研究発表会)するとともに研究成果(指導)として取りまとめた。

畑作分野では、ダイズの重要害虫であるマメシクイガに対する薬剤の特性を明らかにするとともに、薬剤毎の防除時期を示し、学会で発表(第68回北日本病害虫研究発表会)するとともにこれを研究成果(指導)として取りまとめた。また、ホップにおける農薬登録拡大を目指し、「地域特産作物への農薬適用拡大加速化事業」に取り組む岩手県ホップ連合会を支援した。

野菜分野では、普及センターと連携し、転炉スラグを利用したハウレンソウ萎凋病およびキュウリホモプシス根腐病の被害軽減について現地実証等に取り組むとともに高EC条件下での転炉スラグの効果について検証した(平成26年度農林水産業・食品産業科学技術研究推進事業)。施設果菜類(ピーマン、トマト)においては、天敵製剤と光反射防虫ネットや光反射シート等の物理的防除を用いてアザミウマ類による被害軽減効果を確認するとともに、現地で活用できる可能性のある土着天敵を明らかにし、研究成果(研究)として取りまとめた。さらに、だいこんを加害するキスジノミハムシに対する粒剤の効果を明らかにし、研究成果(指導)として取りまとめた。

果樹分野では、リンゴ腐らん病の果台感染に対する薬剤の防除効果を検討し、その結果を研究成果(指導)として取りまとめた。

花き分野では、近年ペルメリンに対する抵抗性個体群の発生が確認されているリンドウホソハマキに有効な薬剤を選抜するとともに、効果的な防除体系を提示しこれを研究成果(研究)として取りまとめた。

なお、学会等には積極的に参加し、国際ダニ学会1件、日本ダニ学会1件、日本応用動物昆虫学会1件、北日本病害虫研究会では4件についてポスター発表し、本県の成果をPRした。

また、本県で開催された日本植物防疫協会シンポジウムにおいても「水稲直播における病害虫防除」について問題提起するとともに、「本県果樹における枝幹害虫の発生の現状と防除」について紹介した。

(5) 病害虫防除部

病害虫防除課

(病害虫発生予察)

水稲、麦類、大豆、りんご、きゅうり、キャベツ、ねぎ、りんどうを対象として発生予察調査等に基づき、7回の定期情報に加え、注意報を6回(水稲:斑点米カメムシ類、りんご:ハダニ類、ねぎ:ネギアザミウマ、きゅうり:炭疽病・べと病、アブラナ科作物:コナガ)、特殊報を1回(樹木類:プラタナスグンバイ)発表した。また、防除速報を8回(水稲:斑点米カメムシ類、取り置き苗処分、葉いもち、小麦:雪腐病、赤かび病、野菜・花き類:オオタバコガ、きゅうり:べと病、りんどう:ハダニ類)発行した。これらの情報については、電子メール、印刷物のほか、いわてアグリベンチャーネットにも掲載し、関係機関・団体、共同防除組合等に提供した。

(病害虫防除指導)

効率的な薬剤防除並びに生物的防除法、耕種的防除法および物理的防除法を組み入れた総合防除の地域への定着を図り、環境に配慮した持続的農業を推進するため、病害虫防除員、関係機関・団体と緊密な連携をとりながら、「市町村病害虫防除計画」に基づいた防除の実施を推進した。

水稲においては、各地方の病害虫防除員協議会および病害虫防除連絡協議会、市町村病害虫防除協議会、稲作部会等が中心となり取り組んでいる地域の一斉点検調査とその結果に基づく防除指導に対し、随時支援・指導を行った。また、巡回調査地点の農家92件の防除実績等を収集し、発生要因解析を行い、次年度以降の防除指導の資とした。

園芸作物では、りんごについて地域の防除暦作成にあたって普及センター担当者等とともに検討を行った。また、県内72の共同防除組合等から防除実績を収集、解析して次年度の防除計画の改善に資した。野菜では16件、りんごは10件の農家の防除実績を収集、同様に次年度の防除計画に資した。

病害虫防除員に対しては、上記の調査活動や防除指導への支援の他、植物防疫実績検討会および諸会議、研修会等を通じて情報の共有と資質の向上を図った。

重要性が増してきている病害虫診断は、92件の依頼に対応した。作物別の内訳は、野菜が最も多く(66%)、次に花き(22%)、果樹(6%)の順であり、原因別には、病害が56%、虫害が6%で、次に不明、生理障害・薬害の順であった。

(農薬適正使用指導)

農薬の適正な販売や使用を徹底するために、農薬の販売者や使用者に対する研修会を関係機関・団体と共同で開催した(7月11日、参加者217名)。また、農薬取締法に基づき、農薬販売者への立入検査を実施するとともに(316件)、農薬使用基準違反のあった使用者に対し指導を行った(7件)。

(6) 畜産研究所

家畜育種研究室

<家畜育種>

(肉用牛) 日本短角種:種雄牛造成ではH25直接検定牛15頭(平均DG1.49kg)から、現場後代検定用6頭(選抜率40%、平均DG1.49kg)を選抜した。現場後代検定ではH22交配種雄牛5頭(「高良」、「良男」、「良藤」、「辰山」、「森人」)の成績を公表した。

黒毛和種:受胎性を高める新たな牛胚形態評価法を確立するため、黒毛和種繁殖牛8頭から受精卵を採取し、61胚を凍結・融解したところ、胚の割球の大きさや集合性が一様な胚の生存率が高い。

また、肥育素牛の育成期(3~9か月齢)に、乾物中粗蛋白質(CP)19%の配合飼料を給与した牛とCP25%と高めた配合飼料を給与した牛では、その増体に差はない。

(養豚) 現地農場と連携して、パークシャー種豚群の遺伝的改良およびパークシャー種肥育後期に飼料用米配合割合75%で代替した飼料給与試験に取り組んだ。

肥育後期に飼料用米75%を給与したパークシャー種では、ロース肉中の脂肪含量が増加し、皮下脂肪ではオレイン酸が高まるとともに、リノール酸が低下し、官能評価による評価が高くなることが明らかとなった。

(養鶏) 南部かしわ母鶏生産用ロードアイランドレッド(RIR)を改良するため、(独)家畜改良センター岡崎牧場(YC)からの導入RIR鶏と保有する岩手大型RIR(M)の交配選抜するための能力調査を行った。RIR(YC)の150日齢体重は、雄2,538g、雌1,739gとRIR(M)に比較して劣るが、産卵率では150~270日齢間84.7%とRIR(M)の同期68%よりも能力が高い。よって、RIR(M)とRIR(YC)の上位である雄・雌をそれぞれ交配する人工授精を開始した。

<家畜工学>

(遺伝子解析) 黒毛和種県有種雄牛「菊安舞鶴」において、牛肉中一価不飽和脂肪酸割合に関するQTLを第10番染色体に検出した。後継種雄牛「緑乃大地」は第10番染色体の優良領域を保有していることを明らかとした。また、肉用牛改良に有用なマーカー検出のため、一塩基多型(SNP)を用いたゲノムワイド関連解析を開始し、黒毛和種肥育牛456頭の脂肪片を用いたDNA抽出と96頭のSNP型判定を実施した。

家畜飼養・飼料研究室

<飼養>

乳用牛育成牛に搾乳用TMRを活用した飼料を給与することで、必要な栄養量の充足が容易となり、初産月齢が23.2か月と早期化が図られ産乳性にも影響がないことを明らかにした。

分娩60日前の乳量が25kg/日以上の高泌乳牛の305日乳量は、乾乳期間を30日程度に短縮すると泌乳ピーク時乳量の低下に伴い減少するが、前産次の泌乳延長期間乳量分を加えた総乳量は、短縮しない場合と同程度になり、繁殖性に悪影響は認められないことを明らかにした。

搾乳牛に飼料米を乾物比で20%まで給与しても産乳性には影響が無く、TDNベース自給率を約80%まで高めることが可能であることを明らかにした。

くず大豆を発酵TMR原料として、乾物中5%程度利用しても乳牛の産乳性には影響が無く、配合飼料等の蛋白質の25%を代替することができることを明らかにした。

子牛への初乳給与を2日間実施することによる発育改善等の効果の調査を実施中である。

<飼料>

オーチャードグラス中生品種「ハルジマン」、「まきばたろう」、「北海30号」は収量性及び永続性に優れ、本県に適応する優良品種であることを明らかにした。

土壌中交換性カリ含量が30mg/100g以上ある圃場では、飼料用トウモロコシはカリ無施肥栽培が可能であり、20~30mg/100gで通常量施肥を行う場合、堆肥によるカリ施肥100%代替が可能であることを明らかにした。

アレチウリ防除技術として不耕起栽培播により種時期を遅らせることで、初年目であっても被害を受けず一定量の収量確保が可能となることを確認。

牧草の春播種において、除草剤処理は播種後2ヶ月程度で掃除刈りに処理するとエゾノギンギン防除に効果確認。

＜牧草の放射線対策＞

耕起困難及び耕起不能放牧地の利用に再開において、無施肥の場合、牧草中放射性セシウム濃度は夏季に上昇するが、放牧地用の県標準量の施肥をすると濃度の上昇を抑制することを明らかにした。

関係機関による除染プロジェクトチーム活動に参画し、牧草地における放射線対策のための肥培管理、耕起状況等に関する調査を実施し、草地更新後の牧草中放射性セシウム濃度に及ぼす要因を明らかにした。また、牧草・土壌のミネラルモニタリング 239 点、畦畔草の放射線スクリーニング検査を 18 点実施した。

外山畜産研究室

＜飼養＞

妊娠中後期の黒毛和種を、冬期間終日屋外で飼養しても、寒冷時に体温維持に必要なエネルギー相当の増飼をすることで分娩後の繁殖性、産子の体重および発育に影響を及ぼさず、管理作業時間も短縮されることを確認した。この成果については農業改良普及センターおよび共同研究先の東北農業研究センターと共にパンフレットを作成し、各種機会を利用して肉用牛増頭のための技術として紹介した。

H25 年自然交配の日本短角種「川春」号産子 48 頭を生産。雄 17 頭、雌 3 頭が現場後代検定用に選抜された。

＜飼料＞

放牧地の春期更新時にオーチャードグラス(OG)とイタリアンライグラス(IR)を混播した場合と春期に IR を単播し、放牧後の秋期に OG を追播した場合の収穫量と草種構成割合を明らかにした。

低温性乳酸菌添加による牧草サイレージおよび発酵 TMR の品質向上のために、昨年度有望性が確認された菌株を用い、添加量を変えて 4℃・30 日の保存後の品質を調査し、 10^7 cfu/gFM 以上の添加で良好な結果を得た。また、秋期に収穫した牧草サイレージへの実規模添加試験を行った。

種山畜産研究室

＜いわて和牛改良増殖対策事業＞

黒毛和種改良事業の一環として、県内産黒毛和種種雄牛候補 9 頭を選定するとともに畜産研究所生産の受精卵雄産子等 6 頭計 15 頭の直接検定を実施し、後代検定を実施する候補種雄牛として 5 頭（「森安秀」「平成舞鶴」「中平 165」「菊勝久」「茂平」）を選抜した。

また、平成 21 年度の直接検定により選抜された「緑乃大地」「花金幸」「奥安美継」「山根雲」「福幸久」の 5 種雄牛について現場後代検定を実施し、うち肉質が優れる「緑乃大地」、肉量に優れる「山根雲」を新たに基幹種雄牛として選抜した。

＜県有種雄牛の情報発信＞

市場成績（毎月）、たねやま種雄牛だより（毎月）を発行し、ホームページに公開、家畜市場等において配布したほか、家畜人工授精師等を対象として、種雄牛の能力情報等をダイレクトメールで配信した。

(7) 県北農業研究所

園芸研究室

県北・沿岸地域の立地特性を活用した園芸作物の安定生産技術の確立に向け、野菜ではハウレンソウケナゴコナダニの総合防除体系、ねぎの出荷期間の延長に向けた冬期貯蔵法、春まきたまねぎの作型開発、花きでは無側枝性ギク露地栽培技術の確立を中心に取り組んだ。

ハウレンソウケナゴコナダニの総合防除体系については、近年適用拡大された薬剤の効果及び有機入り配合肥料に替えて

化学肥料を施用することで害虫密度や被害を低減できることを明らかにした。ねぎではパイプハウスで冬期貯蔵する際の温度管理や、伏せ込み・べたがけの方法、貯蔵性の品種間差をとりまとめた。春まきたまねぎでは、適品種・作期、セルトレイ育苗法、雑草防除法を明らかにし、新しい作型として成立することを示した。無側枝性ギクについては、産地で導入されている品種の特性を比較して露地栽培が可能な品種を明らかにするとともに、花首の伸長抑制に用いる成長調整剤の効果と処理法を示した。これらは、今年度の試験研究成果書(普及区分1編、指導区分5編)として取りまとめ公表した。

また、研究実施の過程で、ほうれんそう、ねぎ、無側枝性ギクについては、園芸産地改革戦略推進会議技術対策部会・園芸産地改革ネットワークが主催する研修会において、普及センターやJA等と情報共有を図り、ほうれんそう、春まきたまねぎ、無側枝性ギクではセミナー、現地研修会、指導会の開催あるいは講師対応により成果の迅速な普及を図った。

新規課題として、試験研究の要望(中央農業改良普及センター)に対応した「生食用露地ほうれんそう栽培法の確立」及び、組織営農の収益性向上に向け農業経営研究室、作物研究室(県北)との分担協力による「県北・沿岸地域の生産性・収益性の高い組織営農モデルの育成」(水稲プール育苗後を利用した葉菜の水耕栽培技術)を開始した。

八幡平、久慈、二戸普及センターの野菜担当者との間でラウンドテーブルをそれぞれ開催し、地域課題とその解決方策について共有化を図り、次年度の課題設定等に役立てた。

作物研究室

雑穀に関する課題「いわて雑穀生産・販売戦略を支援する品種開発と持続的安定生産技術の確立」(H22～26)は、目標が達れたことから、1年前倒しで終了し、「雑穀の機械移植法の開発」(H24～26)については3年実施して終了した。

平成26年度から「雑穀の高付加価値化に向けた機能性成分の高い品種育成と低コスト栽培技術の開発」に取り組んだ。品種育成にかかる課題では、ヒエ・アワ・キビの在来系統の機能性、成分含量の評価を行い、アワ EMS 突然変異系統の形質評価と選抜等を行った。栽培技術に関する課題では、水稲用ポット苗田植機の移植爪を改良し、棚置き育苗による苗を用いることで雑穀の畑移植に汎用利用できる技術として「ポット苗田植機を用いた雑穀の機械移植技術」を成果公表した。

農産部門依存から多角化を図ろうとする営農組織を対象に、「県北・沿岸地域の生産性・収益性の高い組織営農モデルの育成」に取り組み、乾田直播の実施およびダイズの多収試験を実施した。今後、水稲育苗施設の跡地利用及び水稲部門の現状と今後の経営試算から多角化へのプロセスの提案、そして、地域の実情に合わせた6次産業化や農商工連携のあり方などを提示しながら、順次、地域への波及を目指して行く。

原種生産については、雑穀3品種について計画どおり生産・確保した。また、水稲、小麦、大豆の奨励品種決定調査、作況調査・作柄解析についても実施し、本部作物研究室との連名で成果情報を提供した。

県北地域の食の新たなシーズ掘り起こしと商品化を支援する農商工連携・6次産業化支援に、振興局の食産業担当者との協働で取り組んだ。県が新たに育成した雑穀(あわ)「ゆいこがね(出願公表中)」、(きび)「キビ岩手糯1号(出願公表中)」を用いて、食品企業や岩手大学と連携しながら、「雑ックワーズ」等の商品づくりのプロジェクト活動を進め、商品化された。

4 平成26年度試験研究課題

(1) 細目課題分類

研究推進計画分野 担当部所	総課題数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
		農業構造・経営管理	水稲	畑作物	果樹	野菜	花き	作業技術	環境保全	土壌作物栄養	病害虫制御	乳用牛	肉用牛	中小家畜（豚・鶏）	草地・飼料作物	畜産環境	県北農業振興	震災復興
プロジェクト推進室	8			1				2		1								4
企画管理部	8	5	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
農業経営研究室	8	5		1				1										1
技術部	141	0	53	11	31	14	10	2	0	5	3	0	0	0	0	0	0	12
果樹研究室	37				31					2	1							3
作物研究室	69		53	11				1		1	1							2
野菜花き研究室	28					14	7	1		1	1							4
南部園芸研究室	7						3			1								3
環境部	44	0	0	1	1	1	0	1	0	7	31	0	0	0	0	0	0	2
生産環境研究室	13			1	1	1		1		7								2
病理昆虫研究室	31										31							
畜産研究所	28	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	3	13	3	8	0	0	0
家畜育種研究室	13											1	8	3	1			
家畜飼養・飼料研究室	9									1		2	1		5			
外山畜産研究室	3												1		2			
種山畜産研究室	3												3					
県北農業研究所	36	0	10	0	0	0	2	0	0	2	0	0	0	0	0	0	22	0
園芸研究室	17						2			1							14	
作物研究室	19		10							1							8	
総計	265	5	63	14	32	15	12	6	0	16	34	3	13	3	8	0	22	19

※複数の分野に再掲されている研究課題はそれぞれに計上。

複数の担当研究室がある研究課題はそれぞれに計上。

(2) 試験研究課題一覧

凡 例

- ・主査: 小課題の主査研究室
- ・No.: 小課題の連番、課題毎の固有番号はそれぞれの課題名の先頭に()表記
- ・課題: (課題番号)課題名を記載、小課題は太字表示
※ 課題番号: 細目課題は1000番代表記、細目1～4まで各桁毎の表記
- ・開始・終了: 課題の実施～終了年数
- ・予算区分: 国庫補助; 国庫補助事業、国庫委託; 国庫委託事業、独法委託; 独法委託事業、民間委託; 民間委託事業
令達; 令達予算研究、県単研究; 県単予算予算、県単採種; 主要農作物採種管理費
- ・担当: 小課題、細目課題の担当研究室名

主査 研究室	連番	(課題番号)課題名	開始	終了	予算区分	担当研究室
【プロジェクト推進室】						
プロジェクト	1	(H24-01)水田転換畑における作物の生産性向上技術の確立	24	26	県単研究	プロジェクト、農業経営、 生産環境、作物(技術)
プロジェクト		(H24-01-1000)転換畑における大豆生産性向上技術の総合実証	24	26	県単研究	生産環境、作物(技術)、 農業経営、プロジェクト
プロジェクト		(H24-01-1200)転換畑に適する品種および栽培法の検討	24	26	県単研究	作物(技術)、生産環境、 農業経営、プロジェクト
プロジェクト		(H24-01-1300)転換畑大豆の高単収総合実証	26	26	県単研究	プロジェクト、作物(技術)、 生産環境、農業経営
プロジェクト	2	(H25-11)中小区画土地利用型営農技術の実証研究	25	29	独法委託	プロジェクト、作物(技術)、 生産環境、農業経営
プロジェクト		(H25-11-1000)分散する小規模水田における省力・低コスト栽培技術の実証	25	29	独法委託	プロジェクト、生産環境、 作物(技術)
プロジェクト		(H25-11-1100)復旧水田での地力改善による水稻の安定生産実証	25	27	独法委託	生産環境
プロジェクト		(H25-11-1200)水稻生産の省力化・低コスト化技術の実証	25	29	独法委託	プロジェクト、生産環境
プロジェクト		(H25-11-1300)直播適性品種有望系統の導入と地域適応性の検討	25	27	独法委託	作物(技術)
プロジェクト		(H25-11-2000)ソバなど省力的な土地利用型作物の安定生産技術の実証	25	29	独法委託	プロジェクト
プロジェクト		(H25-11-2100)省力生産を前提にした安定多収栽培技術の実証	25	29	独法委託	プロジェクト
プロジェクト		(H25-11-2200)省力・低コスト収穫作業体系の実証	25	28	独法委託	プロジェクト
プロジェクト		(H25-11-3000)中山間水田における畦畔法面の省力管理技術の実証研究	25	29	独法委託	プロジェクト、農業経営
プロジェクト		(H25-11-3100)畦畔法面の植生転換による管理作業の省力化	25	29	独法委託	プロジェクト、農業経営
プロジェクト		(H25-11-4000)加工ブランドに適した稲、大豆の新品種の導入と高品質栽培技術の実証	25	29	独法委託	作物(技術)
プロジェクト		(H25-11-4100)夏季冷涼気候に対応した水稻高品質安定栽培技術の実証	25	29	独法委託	作物(技術)
プロジェクト		(H25-11-4200)夏季冷涼気候に対応した大豆高品質安定栽培技術の実証	25	29	独法委託	作物(技術)
プロジェクト	3	(H26-12)岩手県における鉄コーティング種子の無代かき灌水直播栽培方の確立	26	28	民間委託	プロジェクト
プロジェクト	4	(H26-13)寒冷地水田における水田除草装置の適応性と性能評価	26	26	独法委託	プロジェクト
【農業経営研究室】						
農業経営	5	(H21-04)農業技術体系データベースの整備・拡充	21	30	県単研究	農業経営
農業経営	6	(H24-02)沿岸地域農業の復興に向けた新たなビジネスモデルの構築	24	28	県単研究	農業経営
農業経営	7	(H25-15) 農業経営における先端技術導入効果の解明	25	29	独法委託	農業経営

主査 研究室	連番	(課題番号)課題名	開始	終了	予算区分	担当研究室
【作物研究室】						
作物(技術)	9	(61)水稲原々種生産	S29	30	県単採種	作物(技術)
作物(技術)	10	(62)水稲原種生産	S29	30	県単採種	作物(技術)
作物(技術)	11	(803)水稲奨励品種決定調査	14	30	県単採種	作物(技術)、作物(県北)
作物(技術)		(803-1000)予備調査	14	30	県単採種	作物(技術)
作物(技術)		(803-1100)中晩生系統	14	30	県単採種	作物(技術)
作物(技術)		(803-1200)早生系統	14	30	県単採種	作物(県北)
作物(技術)		(803-2000)本調査	14	30	県単採種	作物(技術)
作物(技術)		(803-2100)中晩生系統	14	30	県単採種	作物(技術)
作物(技術)		(803-2200)早生系統	14	30	県単採種	作物(県北)
作物(技術)		(803-3000)現地調査	14	30	県単採種	作物(技術)
作物(技術)		(803-4000)有望系統の栽培法	14	30	県単採種	作物(技術)
作物(技術)	12	(805)水稲作況調査と作柄成立要因の解析	14	30	県単研究	作物(技術)、作物(県北)
作物(技術)		(805-1000)水稲作況調査	14	30	県単研究	作物(技術)
作物(技術)		(805-1100)県央・県南地域	14	30	県単研究	作物(技術)
作物(技術)		(805-1200)県北地域	14	30	県単研究	作物(県北)
作物(技術)		(805-2000)水稲優良品種の気象反応試験	14	30	県単研究	作物(技術)
作物(技術)		(805-2100)県央・県南地域	14	30	県単研究	作物(技術)
作物(技術)		(805-2200)県北地域	14	30	県単研究	作物(県北)
作物(技術)		(805-3000)水稲作柄成立要因の解析	14	30	県単研究	作物(技術)、作物(県北)
作物(技術)	13	(807)水田雑草の効果的防除技術の開発	14	30	民間委託	作物(技術)、作物(県北)
作物(技術)		(807-1000)水稲作用除草剤第2次適用性試験	14	30	民間委託	作物(技術)
作物(技術)		(807-1100)県央・県南地域	14	30	民間委託	作物(技術)
作物(技術)		(807-1200)県北地域	14	30	民間委託	作物(県北)
作物(技術)	14	(889)麦類耐寒雪性特性検定試験	14	30	独法委託	作物(技術)
作物(技術)	15	(890)畑作物の生育相及び気象反応の解明	14	30	県単研究	作物(技術)、作物(県北)
作物(技術)		(890-2000)大豆の生育相と気象反応の解明	14	30	県単研究	作物(技術)、作物(県北)
作物(技術)		(890-2100)県央・県南地域	14	30	県単研究	作物(技術)
作物(技術)		(890-2200)県北地域	14	30	県単研究	作物(県北)
作物(技術)		(890-1000)麦類の生育相と気象反応の解明	14	30	県単研究	作物(技術)、作物(県北)
作物(技術)		(890-1100)県央・県南地域	14	30	県単研究	作物(技術)
作物(技術)		(890-1200)県北地域	14	30	県単研究	作物(県北)
作物(技術)	16	(891)畑作物原々種・原種生産	14	30	県単採種	作物(技術)
作物(技術)	17	(H19-12)大豆等奨励品種決定調査及び有望系統の特性調査	19	30	県単採種	作物(技術)、作物(県北)
作物(技術)		(H19-12-1000)(1)奨励品種決定調査(県南・県央地域)	19	30	県単採種	作物(技術)
作物(技術)		(H19-12-2000)(2)奨励品種決定調査(県北地域)	19	30	県単採種	作物(県北)
作物(技術)		(H19-12-3000)(3)有望系統特性調査	19	30	県単採種	作物(技術)
作物(技術)	18	(H19-13)麦類奨励品種決定調査及び有望系統の特性調査	26	30	県単採種	作物(技術)、作物(県北)
作物(技術)		(H19-13-1000)(1)奨励品種決定調査(県南・県央地域)	26	30	県単採種	作物(技術)
作物(技術)		(H19-13-2000)(2)奨励品種決定調査(県北地域)	26	30	県単採種	作物(県北)
作物(技術)		(H19-13-3000)(3)有望系統特性調査	26	30	県単採種	作物(技術)
作物(技術)	19	(H21-24)東北地域中北部向け多収稲品種の共同育成	21	26	H21県単 H22～独法委託	作物(技術)
作物(技術)		(H21-24-3000)個体選抜	21	26	独法委託	作物(技術)
作物(技術)		(H21-24-4000)系統選抜	21	26	独法委託	作物(技術)
作物(技術)		(H21-24-4100)単独系統	21	26	独法委託	作物(技術)
作物(技術)		(H21-24-4200)生産力検定予備試験系統群	21	26	独法委託	作物(技術)
作物(技術)		(H21-24-4300)生産力検定本試験系統群	21	26	独法委託	作物(技術)

主査 研究室	連番	(課題番号)課題名	開始	終了	予算区分	担当研究室
作物(技術)		(H21-24-5000)生産力検定	21	26	独法委託	作物(技術)
作物(技術)		(H21-24-6000)特性検定試験	21	26	独法委託	作物(技術)
作物(技術)		(H21-24-6100)いもち病真性抵抗性遺伝子型推定	21	26	独法委託	作物(技術)
作物(技術)		(H21-24-6200)葉いもち圃場抵抗性検定試験	21	26	独法委託	作物(技術)
作物(技術)		(H21-24-6300)穂いもち圃場抵抗性検定試験	21	26	独法委託	作物(技術)
作物(技術)		(H21-24-6400)耐冷性検定試験(育成系統)	21	26	独法委託	作物(技術)
作物(技術)		(H21-24-6600)食味関連成分分析及び物性試験	21	26	独法委託	作物(技術)
作物(技術)		(H21-24-6700)穂発芽検定試験	21	26	独法委託	作物(技術)
作物(技術)		(H21-24-6800)直播適性	21	26	独法委託	作物(技術)
作物(技術)		(H21-24-8000)育成系統採種	21	26	独法委託	作物(技術)
作物(技術)	20	(H22-rb01)主食用米等品種の育成(コシヒカリを超える米)	S59	30	令達	作物(技術)
作物(技術)		(H22-rb01-1000)交配母本評価と交配	S63	30	令達	作物(技術)
作物(技術)		(H22-rb01-2000)初期世代養成	S63	30	令達	作物(技術)
作物(技術)		(H22-rb01-3000)個体選抜	S63	30	令達	作物(技術)
作物(技術)		(H22-rb01-4000)系統選抜	S63	30	令達	作物(技術)
作物(技術)		(H22-rb01-4100)単独系統	S63	30	令達	作物(技術)
作物(技術)		(H22-rb01-4200)生産力検定予備試験系統群	S63	30	令達	作物(技術)
作物(技術)		(H22-rb01-4300)生産力検定本試験系統群	S63	30	令達	作物(技術)
作物(技術)		(H22-rb01-5000)生産力検定	S63	30	令達	作物(技術)
作物(技術)		(H22-rb01-5100)生産力検定予備試験	S63	30	令達	作物(技術)
作物(技術)		(H22-rb01-5200)生産力検定本試験	S63	30	令達	作物(技術)
作物(技術)		(H22-rb01-5300)生産力検定試験早生系統	S63	30	令達	作物(技術)
作物(技術)		(H22-rb01-6000)特性検定試験	S63	30	令達	作物(技術)
作物(技術)		(H22-rb01-6100)いもち病真性抵抗性遺伝子型推定	S63	30	令達	作物(技術)
作物(技術)		(H22-rb01-6200)葉いもち圃場抵抗性検定試験	S63	30	令達	作物(技術)
作物(技術)		(H22-rb01-6300)穂いもち圃場抵抗性検定試験	S63	30	令達	作物(技術)
作物(技術)		(H22-rb01-6400)耐冷性検定試験(育成系統)	S63	30	令達	作物(技術)
作物(技術)		(H22-rb01-6500)食味官能試験	S63	30	令達	作物(技術)
作物(技術)		(H22-rb01-6600)食味関連成分分析及び物性試験	S63	30	令達	作物(技術)
作物(技術)		(H22-rb01-6700)穂発芽検定試験	S63	30	令達	作物(技術)
作物(技術)		(H22-rb01-6800)直播適性	S63	30	令達	作物(技術)
作物(技術)		(H22-rb01-7000)DNAマーカー等先端技術利用	S63	30	令達	作物(技術)
作物(技術)		(H22-rb01-8000)育成系統採種	S63	30	令達	作物(技術)
作物(技術)	21	(H24-19)ひとめぼれゲノム資源を活用した重要遺伝子同定と実用品種育成	24	26	独法委託	作物(技術)
作物(技術)		(H24-19-1000)重要形質遺伝子集積による「スーパーひとめぼれ」の育成	24	26	独法委託	作物(技術)
作物(技術)	22	(H26-19)耐冷性やいもち病抵抗性を強化した東北オリジナル業務・加工用品種の開発(直播、耐冷性)	26	30	独法委託	作物(技術)
作物(技術)		(H26-19-1000)直播適応性検定	26	30	独法委託	作物(技術)
作物(技術)		(H26-19-2000)耐冷性検定	26	30	独法委託	作物(技術)
作物(技術)	23	(H26-21)実需者ニーズに応じた加工適性と広域適応性を持つ大豆品種等の開発	26	30	独法委託	作物(技術)
作物(技術)		(H26-21-1000)東北・北陸地域に適した広域適応品種の開発と密植栽培技術の開発・有望系統の晩播密植栽培による大規模現地実証	26	30	国庫委託	作物(技術)
作物(技術)		(H26-21-2000)病害抵抗性を強化した安定多収大豆品種の開発を支える基盤技術の開発・有望系統の立枯性病害抵抗性評価	26	30	独法委託	作物(技術)

主査 研究室	連番	(課題番号)課題名	開始	終了	予算区分	担当研究室
【果樹研究室】						
果樹	24	(826)おうとう、もも等の優良品種の選抜	14	30	令達	果樹
果樹		(826-1000)おうとう、もも等の優良品種の選抜	14	30	令達	果樹
果樹	25	(829)キャンベル・紅伊豆にかわる耐寒性大衆嗜好品種の育成及び選抜	14	28	独法委託,令達	果樹
果樹		(829-1400)第12回系統適応性検定試験	20	28	独法委託	果樹
果樹		(829-1500)第13回系統適応性検定試験	22	28	独法委託	果樹
果樹		(829-2000)国内外育成の寒冷地向き品種の選抜(生食用、醸造、兼用種等品種の選抜)	14	28	令達	果樹
果樹		(829-3000)耐寒性大衆嗜好品種の育成及び選抜	14	28	令達	果樹
果樹	26	(830)ジョナゴールド、ふじ等に優るりんご中・晩生種の開発	14	30	令達	果樹
果樹		(830-1100)(2)国育成系統適応性(盛岡66~71号)	23	27	令達	果樹
果樹		(830-2000)国内外導入品種の選抜	14	30	令達	果樹
果樹	27	(837)ラ・フランスに優る西洋なし品種の開発	14	30	令達	果樹
果樹		(837-1000)国内外導入品種の選抜	14	30	令達	果樹
果樹	28	(850)畑作物に対する植調剤等の利用法	14	30	民間委託	果樹
果樹		(850-1000)果樹園用除草剤の効果的使用法	14	30	民間委託	果樹
果樹		(850-1100)民間委託試験分	14	30	民間委託	果樹
果樹		(850-1200)令達試験分	14	30	令達	果樹
果樹		(850-2000)果樹の植調剤及び資材の効果的使用法	14	30	民間委託	果樹
果樹	29	(851)果樹の生育と果実品質変動要因の解明	14	30	県単研究	果樹
果樹		(851-1000)りんごの生育・生態の把握	14	30	県単研究	果樹
果樹		(851-2000)ぶどうの生育・生態の把握	14	30	県単研究	果樹
果樹		(851-3000)西洋なし、その他の果樹の生育・生態の把握	14	30	県単研究	果樹
果樹	30	(894)良品質・高品質生産を目的としたウイルスフリー樹の作出	14	30	令達	果樹
果樹	31	(H21-05)つがる等に優るりんご早生品種の開発	21	30	令達	果樹
果樹	32	(H22-03)岩手県における果樹栽培の温暖化対策技術の確立	22	27	県単研究、 独法委託	果樹
果樹		(H22-03-1000)開花期前進に伴う凍霜害対策技術の確立	22	27	県単研究	果樹
果樹		(H22-03-2000)温暖化による果実障害対策技術の確立	23	27	県単	果樹
果樹		(H22-03-3000)気象変動に対応した優良系統の選抜	23	27	県単研究	果樹
果樹		(H22-03-5000)温暖化に対応できる新規果樹の選抜と栽培技術の確立	24	27	県単研究	果樹
果樹		(H22-03-6000)果樹園における温暖化緩和技術の開発	22	26	独法委託	果樹
果樹	33	(H23-03)りんご新品種などの安定生産技術の確立	23	28	県単研究	果樹
果樹		(H23-03-1000)オリジナル品種の安定生産技術の確立	23	28	県単研究	果樹
果樹		(H23-03-2000)優良品種の栽培技術の確立	23	28	県単研究	果樹
果樹	34	(H23-04)ぶどうオリジナル品種の安定生産技術の確立	23	26	県単研究	果樹
果樹		(H23-04-1000)高品質果実生産方法の確立	23	26	県単研究	果樹
果樹		(H23-04-2000)短梢栽培用平棚を利用した栽培方法の確立	23	26	県単研究	果樹
果樹	35	(H24-16)果樹生産のための省力・軽労化機器の開発	24	26	独法委託	果樹
果樹		(H24-16-2000)小型幹周草刈機の抑草効果と樹体に及ぼす影響評価	24	26	独法委託	果樹
果樹	36	(H24-17)国産小果樹類の新規市場開拓のための省力生産技術・加工品の開発	24	28	独法委託	果樹
果樹	37	(H25-13)ブランド化を促進する果実の生産加工技術の実証研究	25	29	独法委託	果樹、生産環境
果樹		(H25-13-1000)リンゴ産地の早期再生をはかる早期成園化・品質向上技術の実証	25	29	独法委託	果樹
果樹		(H25-13-2000)「北限のユズ」の加工利用を推進する安定生産技術の実証と商品開発	25	29	独法委託	果樹、生産環境
果樹		(H25-13-3000)ブドウ新品種の導入による新たな加工品開発	25	29	独法委託	果樹
果樹	38	(H26-15)りんごのわい化栽培における早期収・省力化を目指した栽培法の確立	26	40	県単・独法委託	果樹

主査 研究室	連番	(課題番号)課題名	開始	終了	予算区分	担当研究室
【野菜花き研究室】						
野菜花き	41	(191)りんどうの品種育成	S49	28	令達	野菜花き、園芸(県北)
野菜花き		(191-1000)リンドウの品種開発	26	28	令達	野菜花き、園芸(県北)
野菜花き		(191-2000)親株の安定生産と栄養系品種の維持・増殖	26	28	令達	野菜花き
野菜花き	42	(843)りんどうの生育・生態調査	14	30	県単研究	野菜花き
野菜花き	43	(H19-09)温度・日長条件に対するリンドウの生育反応	19	28	令達	野菜花き
野菜花き	44	(H22-07)リンドウ栽培安定化技術の開発	22	29	県単研究	野菜花き、園芸(県北)
野菜花き		(H22-07-2000)県育成極早生品種の株養成技術の開発	22	29	県単研究	野菜花き、園芸(県北)
野菜花き	45	(H23-05)早晩性の違いによるリンドウ組織培養の増殖条件の確立	23	26	県単研究	野菜花き
野菜花き	46	(H23-07)「なす」の省力・低コスト栽培技術の開発	23	27	県単研究	野菜花き
野菜花き		(H23-07-1000)かん水等による低コスト生産安定技術の確立	23	26	県単研究	野菜花き
野菜花き		(H23-07-2000)簡易で省力的な栽培技術の確立	23	27	県単研究	野菜花き
野菜花き	47	(H23-08)長期安定収穫が可能なトマト栽培技術の確立	23	29	県単研究、 独法委託	野菜花き、生産環境、 南部園芸
野菜花き		(H23-08-1000)低温期の障害果発生回避技術の確立	23	26	県単研究	野菜花き
野菜花き		(H23-08-2000)肥料利用効率の高い新たな窒素施肥基準の策定	23	28	県単研究	生産環境
野菜花き		(H23-08-3000)高温期における草勢管理技術の確立	24	29	県単研究、 独法委託	野菜花き
野菜花き		(H23-08-4000)3段階芯新栽培様式の確立	23	29	県単研究、 独法委託	南部園芸
野菜花き	48	(H24-03)長日要求性素材を利用した極晩抽性ハクサイの安定生産技術の確立	24	29	独法委託	野菜花き
野菜花き	49	(H24-04)岩手型アスパラガス伏せ込み促成栽培安定生産技術の確立	24	28	国庫委託、県単	野菜花き
野菜花き		(H24-04-1000)高温及び低温による休眠打破メカニズムの解明	24	28	国庫委託	野菜花き
野菜花き		(H24-04-2000)高温による休眠打破を利用した新作型の確立	24	28	国庫委託、県単	野菜花き
野菜花き	50	(H24-05)新形質キュウリ安定生産技術の確立	24	28	国庫委託	野菜花き
野菜花き		(H24-05-1000)病害抵抗性台木の適応性の解明	24	26	国庫委託	野菜花き
野菜花き		(H24-05-2000)露地栽培における安定生産技術の確立	26	28	国庫委託	野菜花き
野菜花き	51	(H25-14)ブランド化を促進する野菜の生産・加工技術の実証研究	25	29	国庫委託	野菜花き
野菜花き		(H25-14-1000)露地キュウリと冬春キャベツによる寒冷地高収益モデルの実証研究	25	29	国庫委託	野菜花き
野菜花き		(H25-14-2000)育苗施設等の高度利用によるパプリカの栽培技術実証研究	25	29	国庫委託	野菜花き
野菜花き		(H25-14-3000)省力的なトマト栽培による高収益モデルの実証研究	25	29	国庫委託	野菜花き
野菜花き	52	(H26-16)野菜類抵抗性台木による安定生産技術の確立	26	31	独法委託	野菜花き
野菜花き		(H26-16-1000)ピーマン用トウガラシ台木の系統適応性試験	26	28	独法委託	野菜花き
野菜花き		(H26-16-2000)なす用台木品種の系統適応性試験	29	31	独法委託	野菜花き
野菜花き	53	(H26-18)収穫量の時期別変動が小さいパプリカ安定栽培技術の確立	26	28	県単研究、 国庫委託	野菜花き

主査 研究室	連番	(課題番号)課題名	開始	終了	予算区分	担当研究室
【南部園芸研究室】						
南部園芸	54	(H25-03)地域適応性の高いいちご系統の選定	25	27	県単研究	南部園芸
南部園芸		(H25-03-1000)地域適応性の高い半促成栽培向けいちご系統の選定	25	27	県単研究	南部園芸
南部園芸		(H25-03-2000)地域適応性の高い夏秋どり栽培向けいちご系統の選定	25	27	県単研究	南部園芸
南部園芸	55	(H25-12)中山間地域における施設園芸技術の実証研究	25	29	国庫委託	南部園芸
南部園芸		(H25-12-1000)中山間立地に適応性の高い低コスト耐候性ハウスの実用化と設置技術の実証	25	29	国庫委託	南部園芸
南部園芸		(H25-12-2000)地域木質資源を活用した低コスト暖房技術の実用化実証	25	29	国庫委託	南部園芸
南部園芸		(H25-12-3000)分散する中小規模園芸施設の効率的な管理技術の実用化実証	25	29	国庫委託	野菜花き
南部園芸		(H25-12-4000)中山間立地特性に適応した収益性の高い園芸品目の技術実用化総合実証	25	29	国庫委託	南部園芸
【生産環境研究室】						
生産環境	56	(H15-23)土壌機能実態モニタリング調査	15	35	県単(土壌対策)	生産環境
生産環境	57	(H15-24)環境保全型有機質資源連用効果調査	15	27	県単(土壌対策)	生産環境
生産環境		(H15-24-1000)水田における有機質資源連用効果	15	27	県単(土壌対策)	生産環境
生産環境		(H15-24-2000)畑地における有機質資源連用効果	15	27	県単(土壌対策)	生産環境
生産環境	58	(H16-22)新肥料の実用化	16	27	民間委託	生産環境、プロジェクト、果樹、作物(技術)、野菜花き、南部園芸、園芸(県北)、作物(県北)
生産環境		(H16-22-5000)プロジェクト推進室	20	27	民間委託	プロジェクト
生産環境		(H16-22-7000)技術部	20	27	民間委託	作物(技術)、野菜花き、南部園芸
生産環境		(H16-22-7100)作物研究室(技術)担当分	20	27	民間委託	作物(技術)
生産環境		(H16-22-7300)南部園芸研究室担当分	20	27	民間委託	南部園芸
生産環境		(H16-22-7400)果樹研究室担当分	20	27	民間委託	果樹
生産環境		(H16-22-7500)野菜花き研究室担当分	20	27	民間委託	野菜花き
生産環境		(H16-22-8000)環境部	20	27	民間委託	生産環境
生産環境		(H16-22-8100)生産環境研究室担当分	20	27	民間委託	生産環境
生産環境		(H16-22-9000)県北農業研究所	20	27	民間委託	園芸(県北)、作物(県北)
生産環境		(H16-22-9100)園芸研究室(県北)担当分	20	27	民間委託	園芸(県北)
生産環境		(H16-22-9200)作物研究室(県北)担当分	20	27	民間委託	作物(県北)
生産環境	59	(H20-20)土壌由来温室効果ガスインベントリ情報等整備調査	20	32	独法委託	生産環境
生産環境	60	(H23-12)土壌環境に配慮した家畜由来有機質資源の肥料的評価	23	27	県単研究	生産環境
生産環境	61	(H26-02)補給型施肥がりんごの樹体生育と果実品質、土壌の蓄積養分量に及ぼす影響調査	26	30	県単研究	生産環境、果樹

主査 研究室	連番	(課題番号)課題名	開始	終了	予算区分	担当研究室
【病理昆虫研究室】						
病理昆虫	62	(H09-03)【植物防疫事業研究】	9	27	令達	病理昆虫
病理昆虫	63	(402)新農薬の効果検定と防除指針作成	9	30	民間委託	病理昆虫、作物(県北)、園芸(県北)、果樹、野菜花き
病理昆虫		(402-2000)県北地域	9	30	民間委託	園芸(県北)、作物(県北)
病理昆虫		(402-4000)環境部	9	30	民間委託	病理昆虫
病理昆虫		(402-5000)技術部	16	30	民間委託	果樹、野菜花き
病理昆虫	64	(H15-28)地域特産物における新防除資材の実用化	15	30	国庫補助	病理昆虫
病理昆虫		(H15-28-K001)リンドウ 炭疽病	26	27	国庫補助	病理昆虫
病理昆虫		(H15-28-O000)リンドウ 黒斑病	26	27	国庫補助	病理昆虫
病理昆虫		(H15-28-P000)リンドウ 苗腐敗症	26	27	国庫補助	病理昆虫
病理昆虫		(H15-28-Q000)リンドウ キオビトガリメイガ	26	27	国庫補助	病理昆虫
病理昆虫	65	(H22-01)広域的な葉いもち防除の徹底による穂いもち防除を省略したいもち病防除体系の確立	22	26	国庫補助	病理昆虫
病理昆虫	66	(H22-04)ハダニ類を主体としたリンゴ病害虫防除体系の最適化	22	28	国庫補助	病理昆虫、果樹
病理昆虫		(H22-04-1000)夏期の防除体系の最適化	22	28	国庫補助	病理昆虫
病理昆虫		(H22-04-2000)樹型等を考慮した適正な薬剤散布量の検討	22	26	国庫補助	果樹
病理昆虫		(H22-04-3000)ナミハダニ薬剤抵抗性個体群の動態把握	26	28	国庫補助	病理昆虫
病理昆虫	67	(H22-06)キュウリ栽培で問題となる病害の防除技術確立	22	26	国庫補助、 県単研究	病理昆虫
病理昆虫		(H22-06-1000)ホモプシス根腐病の防除技術確立	22	26	国庫補助、 独法委託	病理昆虫
病理昆虫	68	(H23-13)耕種の防除と天敵製剤を組みあわせた果菜類害虫の防除技術の開発	23	28	国庫補助	病理昆虫
病理昆虫		(H23-13-2000)施設栽培ピーマンにおける天敵製剤を活用した化学合成農薬削減技術の開発	23	28	国庫補助	病理昆虫
病理昆虫		(H23-13-3000)施設栽培トマトにおける防虫ネットを活用した化学合成農薬削減技術の開発	26	28	国庫補助	病理昆虫
病理昆虫	69	(H23-14)ホウレンソウ栽培で問題となる病害の防除技術の確立	23	26	令達、 国庫補助	病理昆虫
病理昆虫		(H23-14-2000)土壌酸性改良によるホウレンソウ萎凋病の発病抑制効果の検討	23	26	国庫補助、 独法委託	病理昆虫
病理昆虫	70	(H24-07)リンドウホソハマキの効率的な防除体系の確立	24	26	国庫補助	病理昆虫
病理昆虫	71	(H25-01)水稲細菌病類(もみ枯細菌病・苗立枯細菌病)を主体とした種子伝染性病害の総合防除技術の確立	25	27	国庫補助	病理昆虫、作物(技術)
病理昆虫		(H25-01-1000)種子生産(原原種、原種、採種)における効果的な種子保菌量低減技術の開発	25	27	国庫補助	病理昆虫、作物(技術)
病理昆虫		(H25-01-2000)育苗期の耕種条件と苗腐敗症発生との関係解明	25	27	国庫補助	病理昆虫
病理昆虫		(H25-01-3000)水稲細菌病類の種子保菌量と苗腐敗症発生量との関係解明	25	27	国庫補助	病理昆虫
病理昆虫	72	(H25-02)大豆のマメシクイガに対する効率的な防除対策の確立	25	27	令達	病理昆虫
病理昆虫	73	(H25-04)りんどうこぶ症関連ウイルス(GKaV)の伝搬経路の探索	25	27	県単研究	病理昆虫、野菜花き
病理昆虫		(H25-04-1000)りんどうこぶ症ウイルス(GKaV)の媒介生物、保毒雑草、保毒微生物の探索	25	27	県単研究	病理昆虫
病理昆虫		(H25-04-2000)りんどうこぶ症ウイルス(GKaV)の花粉・種子伝染の確認	25	27	県単研究	野菜花き
病理昆虫	74	(H26-01)薬効特性を踏まえた斑点米カメムシ防除体系の検討	26	28	国庫補助	病理昆虫

主査 研究室	連番	(課題番号)課題名	開始	終了	予算区分	担当研究室
【家畜育種研究室】						
家畜育種	75	(237)日本短角種産肉能力検定(現場後代検定法)	17	30	令達	家畜育種(いわて短角0.5)
家畜育種	76	(236)日本短角種産肉能力検定(直接法)	S45	30	令達	家畜育種(いわて短角0.5)
家畜育種	77	(H22-30)パークシャー種における輸入トウモロコシから飼料米への全量代替給与技術の確立	22	26	独法委託	家畜育種
家畜育種	78	(H22-35)DNA情報等を指標とした種雄牛選抜の実用化	22	26	令達	家畜育種(いわて和牛)
家畜育種	79	(H23-16)生産農場におけるパークシャー種豚群の遺伝的改良システムの構築	23	27	県単研究	家畜育種
家畜育種	80	(H26-03)黒毛和種肥育期間短縮のための素牛育成期を含めた飼料給与体系の確立	26	30	県単研究	家畜育種
家畜育種	81	(H26-04)受胎性を高める新たな牛胚形態評価法の開発	26	27	県単研究	家畜育種
家畜育種	82	(H26-05)ゲノムワイド連関解析による肉用牛改良に有用なDNAマーカーの検出	26	30	県単研究	家畜育種(DNA育種基盤)
家畜育種	83	(H26-06)南部かしわ母鶏生産用ロードアイランドレッド改良のための交配選抜試験	26	29	県単研究	家畜育種
【家畜飼養・飼料研究室】						
家畜飼養・飼料	84	(H22-19)飼料作物栽培における土壌条件等に応じた減肥技術の確立	22	26	県単研究、独法委託	家畜飼養・飼料
家畜飼養・飼料	85	(H22-29)発酵TMR素材としての自給高タンパク質飼料の低コスト調製・給与技術の開発(乳牛・肉用牛給与)	22	26	独法委託	家畜育種,家畜飼養・飼料
家畜飼養・飼料	86	(H23-15)乾乳期間の短縮が高泌乳牛に及ぼす影響の解明	23	26	県単研究	家畜飼養・飼料
家畜飼養・飼料	87	(H24-08)オーチャードグラス中生優良品種選定試験	24	26	県単研究	家畜飼養・飼料
家畜飼養・飼料	88	(H24-20)イタリアンライグラス系統適応性試験	25	27	独法委託	家畜飼養・飼料
家畜飼養・飼料	89	(H25-05)草地更新における除草剤処理等を活用した春期牧草播種技術の確立	25	27	県単研究	家畜飼養・飼料
家畜飼養・飼料	90	(H25-16)放射性セシウム汚染草地における除染効果の検証および放射性セシウムレベルの追跡調査	25	27	県単研究	家畜飼養・飼料
家畜飼養・飼料	91	(H26-07)初乳給与量等が哺育育成期乳牛の増体とその後の産乳性に及ぼす影響の解明	26	29	県単研究	家畜飼養・飼料
家畜飼養・飼料	92	(H26-08)飼料畑におけるアレチウリ防除技術の確立	26	29	県単研究	家畜飼養・飼料
【外山畜産研究室】						
外山畜産	93	(H24-09)黒毛和種の妊娠中後期における冬期飼養技術の確立	24	26	県単研究	外山畜産
外山畜産	94	(H25-06)生育速度の速い草種等を用いた放牧地の春期更新・早期利用技術体系の確立	25	27	県単研究	外山畜産
外山畜産	95	(H25-07)寒冷時期生産牧草サイレージへの低温性乳酸菌添加による牧草サイレージおよび発酵TMRの品質向上技術の確立	25	27	県単研究	外山畜産
【種山畜産研究室】						
種山畜産	96	(235)黒毛和種産肉能力検定(間接法・現場後代検定)	1	30	管理運営費	種山畜産
種山畜産	97	(857)県有種雄牛の利用及び能力調査	14	30	管理運営費	種山畜産
種山畜産	98	(234)黒毛和種産肉能力検定(直接法)	S62	30	管理運営費	種山畜産

主査 研究室	連番	(課題番号)課題名	開始	終了	予算区分	担当研究室
【園芸研究室(県北研)】						
園芸(県北)	99	(H22-28)地球温暖化によるほうれんそうの高温影響評価モデルの作成	22	26	独法委託	園芸(県北)
園芸(県北)	100	(H24-11)ホウレンソウケナガコナダニの総合防除体系の確立	24	26	国庫補助	園芸(県北)
園芸(県北)	101	(H24-12)県北地域における新たなねぎ出荷体系の確立	24	26	県単研究	園芸(県北)
園芸(県北)		(H24-12-1000)業務用規格に対応した栽培法の確立	24	26	県単研究	園芸(県北)
園芸(県北)	102	(H24-13)県北地域における無側枝性ギクの栽培技術体系の確立	24	26	県単研究	園芸(県北)
園芸(県北)		(H24-13-1000)8～9月咲き無側枝性ギクの栽培技術体系の確立	24	26	県単研究	園芸(県北)
園芸(県北)		(H24-13-2000)長期継続出荷のための有望品種の特性把握	25	26	県単研究	園芸(県北)
園芸(県北)	103	(H24-18)たまねぎ春まき栽培技術の確立	24	26	独法委託	園芸(県北)
園芸(県北)		(H24-18-1000)県北地域における適する作型開発	24	26	独法委託	園芸(県北)
園芸(県北)		(H24-18-2000)ハウスを用いた乾燥方法の開発	24	26	独法委託	園芸(県北)
園芸(県北)		(H24-18-3000)たまねぎ栽培で問題となる病害虫防除対策	26	28	国庫補助	園芸(県北)
園芸(県北)		(H24-18-4000)加工・業務用品種の特性把握	26	27	民間委託	園芸(県北)
園芸(県北)	104	(H26-09)生食用露地ほうれんそう栽培法の確立	26	28	県単研究	園芸(県北)
園芸(県北)	105	(H26-18)ほうれんそう等のルテイン機能性表示に向けた実証研究	26	27	国庫補助	園芸(県北)、作物(県北)
園芸(県北)		(H26-18-1000)ほうれんそうのルテイン機能性表示に向けた実証研究	26	27	国庫補助	園芸(県北)
園芸(県北)		(H26-18-2000)アワのルテイン機能性に関する研究	26	27	国庫補助	作物(県北)
【作物研究室(県北研)】						
作物(県北)	106	(H22-22)いわて雑穀生産・販売戦略を支援する雑穀優良種子の生産	16	30	令達	作物(県北)
作物(県北)	107	(H24-10)雑穀の機械移植法の開発	24	26	県単研究、 民間委託	作物(県北)
作物(県北)	108	(H26-11)県北・沿岸地域の生産性・収益性の高い組織営農モデルの育成	26	30	県単研究	作物(県北)、園芸(県北)、経営
作物(県北)		(H26-11-1000)寒冷地組織営農における実需ニーズに対応する園芸生産技術の確立	26	30	県単研究	園芸(県北)
作物(県北)		(H26-11-2000)県北・沿岸地域における低コスト稲作技術の確立	26	30	県単研究	作物(県北)
作物(県北)	109	(H26-10)雑穀の高付加価値化に向けた機能性成分の高い品種育成と低コスト栽培技術の開発	26	30	県単独、 民間委託	作物(県北)
作物(県北)		(H26-10-1000)機能性成分の高い雑穀品種育成	26	30	県単独、 民間委託	作物(県北)
作物(県北)		(H26-10-2000)低コスト・安定多収栽培に向けた新たなアワ栽培技術の確立	26	27	県単独、 民間委託	作物(県北)

(3) 平成27年度試験研究を要望された課題とその措置一覧

1 要望課題一覧

連番	部会	要望機関	要望課題名	担当研究室 ○主査	措置 区分
1	農産	全農岩手県本部	水稻乳苗移植栽培技術の確立による稲作コスト低減	プロジェクト推進室	A1
2	農産	中央農業改良普及センター(県域) 盛岡農業改良普及センター 一関農業改良普及センター	鉄コーティング湛水直播栽培の安定化に向けた技術体系の確立	○プロジェクト推進室 技術部作物研究室 環境部病理昆虫研究室 環境部生産環境研究室	A1 B C
3	農産	農産園芸課	稲作生産コスト低減に向けた経営規模・形態別の経営モデルの提示	農業経営研究室	A1
4	農産	1. 全農岩手県本部 2. 遠野農林振興センター 3. 農業改良普及センター (県域・地域・盛岡・八幡平・宮古)	鳥獣害対策について	研究企画室	D
5	農産	中央農業改良普及センター(県域)	収量性・食味・耐倒伏性・直播適性等に優れる主食用品種(中生)の開発	○作物研究室 プロジェクト推進室	B A1
6	農産	八幡平農業改良普及センター	多収で倒伏に強い早生の飼料用米専用品種の開発	○作物研究室 県北作物研究室	B D
7	農産	県南広域振興局農政部	「同一品種」(ひとめぼれ、「コシヒカリを超える新品種」)で熟期が異なる系統の開発	○作物研究室	D B
8	農産	農産園芸課	「コシヒカリ」を超える極良食味品種の食味の特性を最大限に発揮する栽培適地の明確化	○作物研究室 生産環境研究室	A1 A2(H28)
9	農産	中央農業改良普及センター(地域)	寒冷地大豆栽培における摘心技術の適応性	○作物研究室	B C
10	農産	中央農業改良普及センター	転換畑における小麦の施肥基準の策定	○生産環境研究室	A1 D
11	農産	中央農業改良普及センター(県域)	低pH 土壌における小麦の効率的な窒素施肥体系の確立及び土壌改良効果の解明	○生産環境研究室	D C
12	農産	中央農業改良普及センター(県域)	土壌養分の簡易な分析手法の確立	○生産環境研究室	B
13	農産	盛岡農業改良普及センター	小麦新品種「銀河のちから」の赤かび病防除体系	○病理昆虫研究室 作物研究室	A1
14	農産	盛岡農業改良普及センター	大豆の晩播栽培における病害虫の適期防除	○病理昆虫研究室	D A1 A2(H28-)
15	園芸	中央農業改良普及センター(県域)	JM7台利用樹の樹勢衰弱原因の究明	○果樹研究室	C A2(H28-)
16	園芸	二戸農業改良普及センター	防霜スプリンクラーを活用した果樹の安定栽培	○果樹研究室	D
17	園芸	中央農業改良普及センター	ぶどう「サニールージュ」の収量構成要素の検討	○果樹研究室	A1 A2(H28-)
18	園芸	中央農業改良普及センター(県域)	りんご園地における草生栽培実施時のりんご樹へのハダニ類発生状況とりんご生育に対する影響	○病理昆虫研究室 果樹研究室	D C A2(H28-)
19	園芸	中央農業改良普及センター	ぶどうの防除体系の検討	○病理昆虫研究室	A1 D A2(H28-)
20	園芸	中央農業改良普及センター(県域)	主要果菜品目における施肥基準の検証	○産環境研究室	C A1 B
21	園芸	中央農業改良普及センター(県域)	なすの鮮度保持方法の確立	○産環境研究室	A1
22	園芸	大船渡農林振興センター	トマトの少量培地養液栽培技術の確立(アイメックシステム)	○南部園芸研究室	D
23	園芸	大船渡農業改良普及センター	アイメックシステム(少量培地による養液栽培)を用いたトマトの高品質・周年生産技術の確立	○南部園芸研究室	D

連番	部会	要望機関	要望課題名	担当研究室 ○主査	措置 区分
24	園芸	農産園芸課	キャベツの収穫・運搬作業における機械化体系の開発	○県北研究所園芸研究室	D
25	園芸	八幡平農業改良普及センター	キャベツ長期安定出荷技術の確立	○県北研究所園芸研究室	A1
26	園芸	中央農業改良普及センター(県域) 八幡平農業改良普及センター 久慈農業改良普及センター	ほうれんそうにおける害虫防除対策	○県北研究所園芸研究室	A1 B D
27	園芸	農産園芸課	ほうれんそう収穫補助作業機の開発	○県北研究所園芸研究室 農業経営研究室	D A1
28	園芸	八幡平農業改良普及センター	収穫機械導入、調製作業の外部化を取り入れた、ほうれんそうの大型経営モデルの策定	○県北研究所園芸研究室 農業経営研究室	A1 D
29	園芸	農産園芸課	りんどう需要期(盆・彼岸)向け品種の安定出荷に向けた栽培技術の確立	○野菜・花き研究室	A2(H28-) D B
30	園芸	奥州農業改良普及センター	りんどう黄化えそ症状の対策の確立	○野菜・花き研究室	A2 (H28-)
31	園芸	JA全農いわて	岩手県産りんどう・小菊の収穫後の品質保持技術の確立	○生産環境研究室	A1
32	園芸	中央農業改良普及センター(県域)	りんどう新品種の適正な施肥量の検討	○生産環境研究室	A1
33	園芸	中央農業改良普及センター(県域)	イチゴ炭そ病伝染経路の解明と防除方法の確立	○病理昆虫研究室	C A1
34	園芸	中央農業改良普及センター(県域)	ネコブセンチュウ等害虫総合防除体系の確立	○病理昆虫研究室	A1
35	畜産	岩手県畜産協会	ホルスタイン経産牛の分娩間隔の長期化の原因究明と対策について	○家畜飼養・飼料研究室	D A1
36	畜産	岩手県畜産協会	乳中体細胞数の増加を検知する簡易的な検査法の確立	○家畜飼養・飼料研究室	D
37	畜産	中央農業改良普及センター(地域)	子実用とうもろこしの栽培と利用技術の確立と経済性の検討	○家畜飼養・飼料研究室	D

【措置区分】 A1:次年度実施予定 A2:○○年度実施予定(実施予定年度を記載) B:現在実施中
C:既知見あり D:実施できない

5 共同研究等の推進

(1) 食料生産地域再生のための先端技術展開事業(委託)

課題名	委託元	研究期間	研究の内容	担当研究室
被災地の早期復興に資する果樹生産・利用技術の実証研究	果樹研究所(*)	H24～26	レッドカーランツ及びカシスの栽培技術の確立	果樹
施設園芸栽培の省力化・高品質化実証研究	野菜茶業研究所(*)	H24～26	トマト低段栽培の周年高品質多収のための環境制御と群落管理技術の構築(インタープランティング技術)	南部園芸 野菜花き
中小区画土地利用型営農技術の実証研究	東北農業研究センター(*)	H25～29	中小区画水田における土地利用型作物の安定生産技術及び地域の気象条件を生かした加工品開発により収益性の向上を図る実証研究	プロジェクト推進室 農業経営 作物(技術部) 生産環境
技術・経営診断技術開発研究	中央農業総合研究センター(*)	H25～29	実証研究において現地実証された先端技術の有効性を導入効果について分析し、被災地の農業経営の将来像を改善するとともに、開放型研究拠点(オープンラボ)を整備・運営し、技術展示や情報共有を図る	研究企画室 農業経営
中山間地域における施設園芸技術の実証研究	農林水産技術会議事務局	H24～29	木骨ハウスや木質資源を活用した低コスト暖房、ICT導入による分散施設の効率的な管理などによる、中山間地域に適用性の高い施設園芸技術を構築する実証研究	南部園芸 野菜花き
ブランド化を促進する果実の生産・加工技術の実証研究	農林水産技術会議事務局	H24～29	リンゴの早期成園化技術、北限のユズの栽培技術の構築と加工品開発、ブドウの新品種導入、加工品開発、省力栽培技術などによる、付加価値の高い果実の生産・加工技術を構築する実証研究	果樹
ブランド化を促進する野菜の生産・加工技術の実証研究	農林水産技術会議事務局	H24～29	露地キュウリと冬春キャベツによる高収益栽培体系の確立、水稲育苗施設を用いたパブリカの高品質生産技術、省力的なトマト栽培技術などにより収益性の高い新たな営農モデルを構築し、産地ブランド化を目指す実証研究	野菜花き

* (独)農業・食品産業技術総合研究機構

(2) 農林水産省委託プロジェクト研究事業(委託)

課題名	委託元	研究期間	研究の内容	担当研究室
自給飼料を基盤とした国産畜産物の高付加価値化技術の開発	畜産草地研究所(*)	H22～26	多収でいもち病抵抗性・耐冷性・識別性を有する飼料用米品種の育成	作物(技術部)
	国立大学法人山形大学	H22～26	パークシャー種における輸入トウモロコシから飼料米への全量代替給与技術の確立	家畜育種
	畜産草地研究所(*)	H22～26	発酵TMR素材としての高タンパク質飼料の低コスト調製・給与技術の開発	家畜育種 家畜飼養・飼料
	畜産草地研究所(*)	H22～26	持続的な飼料生産のための土壌診断に基づく肥培管理技術の高度化と施肥支援ツールの開発	家畜飼養・飼料
農林水産分野における地球温暖化対策のための緩和及び適応技術の開発	(独)農業環境技術研究所	H22～26	果樹園における剪定枝チップ等の施用の影響解明	果樹
農林業に係る気候変動の影響評価	(独)農業環境技術研究所	H25～27	温暖化が野菜生産に及ぼす影響評価(ホウレンソウ生育・遮光管理法高温影響評価)	園芸(県北研)
実需者等のニーズに応じた加工適性と広域適応性を持つ大豆品種等の開発	(独)作物研究所	H26～30	大豆有望系統の黒根腐病に対する抵抗性の判定	作物(技術部)

* (独)農業・食品産業技術総合研究機構

(3)農林水産業・食品産業科学技術研究推進事業委託事業(委託)

課題名	共同研究機関 (筆頭が中核機関)	研究期間	研究の内容	担当研究室
東北・北陸地域における新作物開発によるタマネギの端境期生産体系の確立	(独)東北農業研究センター、東北農業研究センター(*)、山形県、富山県、弘前大学	H24～26	1-(5)大規模畑作地帯を想定した栽培技術の開発 2-(2)望ましい干渉条件の検討	園芸(県北研)
転炉スラグによる土壌pH矯正を核としたフザリウム性土壌病害の耕種的防除技術の開発	(独)東北農業研究センター、(地独)青森県産業技術センター、宮城県、福島県、東京農業大学	H24～26	1-(1)転炉スラグの効率的な施用によるホウレンソウ萎縮病の被害軽減技術の開発と実証	病理昆虫
「ウリ科野菜ホモブシス根腐病被害回避マニュアル」に基づいた予防的な防除体系の実証	(独)東北農業研究センター、公立大学法人秋田県立大学	H26	「育苗施設における汚染実態の把握および伝染経路遮断技術の開発」において、土壌診断結果に基づく汚染土壌移動防止の対策の導入を行う。	病理昆虫
ひとめぼれゲノム資源を活用した重要遺伝子同定と実用品種の育成	公益財団法人岩手生物工学研究センター	H26	(1)「ひとめぼれ順同質遺伝子系統(中間母本)間の交配による遺伝子集積」において、4遺伝子導入「スーパーひとめぼれ」の品種登録申請をする。 (2)「新たに同定した重要形質遺伝子領域導入ひとめぼれの育成」において、重要形質を付与したひとめぼれ準同質遺伝子系統を育成する。	作物(技術部)
耐冷性やいもち病を強化した東北オリジナル業務・加工用多収品種の開発	(独)東北農業研究センター、(地独)青森産技、秋田農総試、山形農総セ、福島農総セ	H26～30	(1)「地域適応性検定、岩手県(直播)」では鉄コーティング・湛水表面直播検定技術を開発し、育成系統の直播適性を評価 (2)「東北地域耐冷性新基準品種」を用いて育成系統の評価を行う。	作物(技術部)
地域資源を活かし、気候変動に対応したブドウ新品種の早期育成と気候変動影響評価(ブドウ系適)	(独)果樹研究所、山梨県、福岡県、愛媛県農林水産研究所、鹿児島県農業開発総合センター	H26～30	(1)選抜系統「山梨48号」の岩手県(東北地域)における地域適応性の解明において、試験栽培により選抜系統の特性評価を行う。 (2)新規需要を生み出す優良赤ワイン系統の選抜において、岩手県内実需者と共に選抜系統のワイン品質および岩手県への適応性評価を行う。	果樹

(4)研究成果最適展開支援事業((独)科学技術振興機構、委託)

課題名	共同研究機関	研究期間	研究の内容	担当研究室
(育成研究) 長日要求性素材を利用した極晩抽性ハクサイの安定生産技術の確立	東北農業研究センター(*)、岩手大学、サカタのタネ	H24～27	選抜系統F ₁ 組合わせを用いた新作物の開発	野菜花き

(5) その他独法等からの委託(10/10委託)

事業・課題名	共同研究機関	研究期間	研究の内容	担当研究室
受託研究	作物研究所(*)	H23～30	育成地等からの麦類育成系統の耐寒雪性圃場検定	作物(技術部)
受託研究	東北農業研究センター(*)	H24～27	イタリアンライグラスの系統適応性特性検定試験	家畜飼養・飼料
受託研究	生研センター(*)	H25～26	小型幹周草刈機のわい化リンゴ園での実証試験	果樹
受託研究	生研センター(*)	H26	雑草多発生圃場用除草装置の実証試験	プロジェクト推進室
受託研究	生研センター(*)	H26	不耕起トウモロコシ播種機の現地適応試験	家畜飼養・飼料

* (独)農業・食品産業技術総合研究機構

(6) 民間委託試験(10/10委託)

事業名・課題名	相手方	研究の内容	担当研究室
農薬及び植物調節剤等の効果検定試験	(一社)岩手県植物防疫協会	(社)日本植物防疫協会からの委託	病理昆虫、園芸(県北研)、作物(県北研)
		(社)日本植物調節剤研究協会からの委託	作物(技術部)、果樹、家畜飼養・飼料、作物(県北研)
肥料の効果等に関する試験	岩手県施肥合理化協議会	(対象作物) 水稲、水稲(育苗)、大豆、りんご、ピーマン、キャベツ(育苗)、りんどう、小ぎく	果樹、作物(技術部)、野菜花き、生産環境、作物(県北研)、園芸(県北研)

(7) (公財)岩手生物工学研究センターとの共同研究

研究課題名	生工研担当	研究期間	研究の内容	担当研究室
水稲における重要形質のゲノム育種法の開発	ゲノム育種研究部	H26～30	生工研と共同で遺伝子解析に基づくDNAマーカーの開発及びそれらを用いた岩手オリジナル水稲品種の育成	作物(技術部)
リンドウ優良品種育成支援技術の開発 リンドウの安定生産に寄与する生理・生態の解明	園芸資源研究部 (育種栽培技術開発チーム)	H26～30	純系や倍数性を利用した育種技術及びDNAマーカーの開発と新品種育成への応用 越冬性向上や生育調節に係る技術開発及び難培養性系統の培養増殖法開発	野菜花き
現場ニーズに対応した実践的植物病害防除技術の開発	園芸資源研究部 (植物病態分子研究チーム)	H26～30	リンドウこぶ症関連ウイルス(GKaV)とこぶ症発症との因果関係の解明 分子生物学的な病害虫診断技術を利用した新たな病害虫防除システムの構築	病理昆虫 野菜花き
農林水産物の機能成分解明と活用	生物資源研究部	H26～30	雑穀の在来系統群から抽出した機能成分の同定と評価及び高付加価値を有する雑穀オリジナル品種の育成	作物(県北研)

(8) 他の公設試との共同研究

課題名等	相手方	研究期間	担当研究室
ワイン専用ぶどう新系統の醸造特性評価	工業技術センター	H6～	果樹
県産小麦品種の加工特性評価	工業技術センター	H7～	作物(技術部)
醸造用水稲品種の開発	工業技術センター	H8～	作物(技術部)

(9) AFR(岩手農林研究協議会)研究会

ア 研究会

名称	構成	研究期間	担当研究室
1 岩手育種談話会	◎岩手大学農学部・教育学部、東北農業研究センター、岩手県農業研究センター、岩手生物工学研究センター	H10～	作物(技術部)
2 水稲栽培研究会	◎岩手大学農学部、岩手県農業研究センター	H11～	作物(技術部)
3 イワテヤマナシ研究会	◎神戸大学大学院農学研究科、岩手大学農学部・教育学部、岩手県農業研究センターほか	H24～	果樹
4 リンドウ研究会	◎岩手大学農学部、東北農業研究センター、岩手県農業研究センター、八幡平市花き研究開発センター	H11～	野菜花き

※平成24年度協議会(11/16)において継続活動実績のある研究会に整理することを承認。これを受けて当センター職員が参加している研究会のみを掲載した。

イ AFR協議会等の開催

開催月日	場所	内容
27.3.16	(書面協議)	平成26年度岩手農林研究協議会(AFR)協議会 1 岩手農林研究協議会の活動の方向について 2 要綱の改正(案)について 3 研究データベースの構築について 4 AFRリーフレットの更新について

(10) その他共同研究

課題名	相手方	研究期間	研究の内容	担当研究室
肉用牛における経済形質とDNAマーカーの連鎖解析	(社)畜産技術協会	H13～	岩手県種雄牛の約300頭からなる半兄弟家系を作成し、DNAマーカーによる連鎖解析を行い、経済形質遺伝子座を明らかにする。また、遺伝的不良形質について、500頭程度の半兄弟サンプルを追加、原因領域に新たなマーカーの追加等を行い原因となる遺伝子座を明らかにする。	家畜育種
生物遺伝資源交換に関する研究協定	(独)農業生物資源研究所	H14～	植物、動物、微生物の生物遺伝資源及びDNAの相互交換	センター全体
寒冷地向けイチゴ品種の育成に関する研究	東北農業研究センター(*) (地独)青森県産業技術センター 宮城県農業・園芸総合研究所 秋田県農業試験場 山形県	H24～27	選抜初期世代から東北各地域における適応性を検定し、安定生産を可能にする寒冷地向けイチゴ品種の育成の効率化を実現する。	南部園芸
アラキドン酸生合成遺伝子の多型と黒毛和種のおいしさとの関連性の解明	畜産草地研究所(*) 茨城県畜産センター (株)J-オイルミルズ (一社)家畜改良技術研究所	H26～27	黒毛和種のアラキドン酸の生合成に関わる酵素の遺伝子多型と牛肉のおいしさの関連性を明らかにする。	家畜育種

* (独)農業・食品産業技術総合研究機構

(11) 産学官連携

名 称	開催年月	場 所	内 容	担当研究室
第1回 いわて産学官連携推進協議会会議	26.6.11	盛岡市 (岩手大学地域連携推進センター)	リエゾン-I研究シーズ集について(協議)	研究企画室
第2回 いわて産学官連携推進協議会会議	26.11.6	盛岡市 (岩手大学地域連携推進センター)	いわて産学官連携フォーラム開催に向けて(打合せ)	研究企画室
いわて産学官連携フォーラム	26.11.17	盛岡市 (コラボMIU 岩手大学)	研究シーズ発表による県内企業とのマッチング (事務局:岩手大学地域連携推進センター)	研究企画室

※1 平成26年度リエゾン-Iマッチングフェアでパネル等展示およびプレゼンテーションを行った研究シーズ

研究シーズ名	担当研究室
森林資源を活用した園芸施設と薪ストーブの開発(先端プロ)	南部園芸
被災地の復興を支える果樹の生産・加工技術の開発(先端プロ)	果樹
飼料用米75%代替飼料で黒豚の肉質改善	家畜育種
雑穀新品種「ゆいこがね」「キビ岩手糯1号」	作物(県北)

6 現地試験の実施

内 容 (試験研究課題名)	市町村名	地 区 名	担 当 (関係研究室)
転換畑大豆の高単収総合実証	矢巾町 奥州市	室岡	プロジェクト推進室 (技術部作物) (生産環境)
「食料生産地域再生のための先端技術展開事業」 中小区画土地利用型営農技術の実証研究 水稲生産の省力化・低コスト化技術の実証	陸前高田市	広田・小友	
省力生産を前提にした安定多収栽培技術の実証 (大豆) (ソバ・ナタネ)	陸前高田市 大槌町	小友 浪板	
省力・低コスト収穫作業体系の実証 (水稲) (大豆) (ソバ・ナタネ)	陸前高田市 陸前高田市 大槌町	広田 小友 波板	
「食料生産地域再生のための先端技術展開事業」 中小区画土地利用型営農技術の実証研究 中山間水田における畦畔法面の省力管理技術の実証研究	陸前高田市	浜田川、小友	
先端プロ:中山間水田における畦畔法面の省力管理技術の実証研究	陸前高田市	浜田川	農業経営
施肥合:いわて純情米総合実証展示圃	奥州市 奥州市 北上市 花巻市 花巻市 雫石町 八幡平市 九戸村	水沢区 胆沢区 宮野目 東和町	技術部 作物
水稲奨励品種決定現地調査 (粳)	雫石町	上野	
(粳)	紫波町	星山	
(粳)	岩手町	土川	
(粳)	花巻市	湯口	
(粳)	西和賀町	沢内前郷	
(粳)	奥州市	江刺区稲瀬	
(粳)	一関市	萩荘	
(粳)	大船渡市	日頃市	
(粳)	遠野市	上郷町	
(粳)	山田町	豊間根	
(粳)	久慈市	夏井	
(粳)	二戸市	安比	
(糯)	九戸村	荒谷	
麦類耐寒雪性特性検定試験	一戸町	奥中山	
麦類奨励品種決定調査(現地調査)	一関市 矢巾町	舞川 煙山	
大豆奨励品種決定調査(現地調査)	奥州市 盛岡市	江刺区田原 玉山区	
リンゴ育種系統の現地適応性試験	二戸市 宮古市 矢巾町 奥州市 一関市	金田一 内の沢 煙山 江刺区小倉沢 花泉町金沢	技術部 果樹
「食料生産地域再生のための先端技術展開事業」 ブランド化を促進する果実の生産・加工技術の実証研究	陸前高田市	米崎町 広田町	

内 容 (試験研究課題名)	市町村名	地 区 名	担 当 (関係研究室)
「食料生産地域再生のための先端技術展開事業」 ブランド化を促進する野菜の生産・加工技術の実証研究	陸前高田市 大槌町	竹駒 矢作 小友 大槌	技術部 野菜花き
長日要求性素材を利用した極晩抽性ハクサイの安定生産技術の確立	一関市 大船渡市	千厩町奥玉 猪川町	
リンドウ育種F ₁ 系統の現地適応性試験	一戸町 雫石町 奥州市	平糠 上野 衣川区	
リンドウ栽培安定化技術の開発 (県育成極早生品種の株養成技術の開発)	奥州市 九戸村	衣川区 江刺家	
「食料生産地域再生のための先端技術展開事業」 中山間地域における施設園芸技術の実証研究	陸前高田市	米崎	技術部 南部園芸
補給型施肥がりんごの樹体生育と果実品質、土壌蓄積養分に及ぼす影響	滝沢市 花巻市	滝沢 石鳥谷滝田 石鳥谷五大堂	環境部 生産環境
リンドウ採花期間における環境にやさしい肥料の検討	八幡平市	安代	
水稲に対するケイ酸質肥料の施用効果の確認	花巻市	石鳥谷	
復旧水田での地力改善による水稲の安定生産実証	陸前高田市	竹駒、気仙、 米崎、小友、 広田	
広域的な葉いもち防除の徹底による穂いもち防除を省略したいもち病防除体系の確立	奥州市	①江刺区 (愛宕、田原、藤里) ②水沢区 (佐倉河、姉体)	環境部 病理昆虫
大豆のマメシクイガに対する効率的な防除対策の確立	①奥州市 ②花巻市	①江刺区 大豆生産組合×2組合 ②太田	
土壌酸性改良によるハウレンソウ萎凋病の発病抑制効果試験	①八幡平市	①西根	
施設栽培ピーマンにおける天敵製剤を活用した化学合成農薬削減技術の開発	①花巻市 ②奥州市 ③矢巾町	①石鳥谷町 ②水沢区、江刺区 ③室岡 (パブリカ)	
ハダニ類を主体としたリンゴ病害虫防除体系の最適化	①紫波町 ②滝沢市	①西長岡 ②中村	
りんどうこぶ症関連ウイルス(GKaV)の伝搬経路の探索	①八幡平市	こぶ症発症圃場	
新農薬の効果試験と防除指針作成	①三戸町 ②軽米町 ③岩手町 ④八幡平市 ⑤盛岡市 ⑥宮古市 ⑦奥州市 ⑧一関市	①斗内 ②晴山 ③南山方 ④松尾村 ⑤羽場 ⑥区界 ⑦江刺区、衣川区 ⑧花泉町	

内 容 (試験研究課題名)	市町村名	地 区 名	担 当 (関係研究室)
民間農場におけるパークシャー種豚農場改良システム	岩泉町		畜産研究所
自給飼料多給による高付加価値豚肉生産			家畜育種
飼料作物栽培における土壌条件等に応じた減肥技術の確立	滝沢市		家畜飼養・飼料
飼料畑におけるアレチウリ防除技術の確立	八幡平市		
寒冷時期生産牧草サイレージへの低温性乳酸菌添加による牧草サイレージおよび発酵TMRの品質向上技術の確立	八幡平市	上坊	外山畜産
たまねぎの新作型栽培法の確立	九戸村	江刺家	県北農業研究所 園芸
低コスト・安定多収栽培に向けた新たな雑穀栽培技術の確立	軽米町 野田村	長倉 玉川	県北農業研究所 作物
県北・沿岸地域における低コスト稲作技術の確立	二戸市	金田一	
水稻奨励品種決定調査(2)本調査②早生系統	軽米町	上館	

Ⅲ 試験研究の成果

Ⅲ 試験研究の成果

1 試験研究成果

(1)平成26年度成果数

成果区分	普及 (普及に移しうる 成果)	指導 (技術指導に 参考となる成果)	行政 (行政施策等に反 映すべき成果)	研究 (研究手法等に 関する成果)	総計
1 農業構造・経営管理			1		1
2 水稻	1	1	4	1	7
3 畑作物	1				1
4 作業技術	1	5			6
5 果樹	2	5			7
6 野菜		2			2
7 花き	2			2	4
8 生産環境		1			1
9 土壌作物栄養					0
10 病害虫制御		5		1	6
11 乳用牛		4			4
12 肉用牛	1	2	7		10
13 中小家畜(豚・鶏)		1			1
14 草地・飼料作物	1	2			3
15 畜産環境					0
16 県北農業振興	2	6			8
17 震災復興					0
[計]	11	34	12	4	61

普及:農家等へ普及することによって、経済効果や経営改善等が見込まれる成果

指導:普及指導員等の技術指導上の参考として適当と認められる成果

行政:行政からのニーズに対応した研究成果等で、行政施策の企画等に参考になると認められるもの

研究:研究手法・分析手法、育種母本等に関するもの

(2) 平成26年度成果名一覧

【普及(普及に移しうる成果)】

分野	成果番号	成果名	担当研究室
3 畑作物 4 作業技術	(H26-普-01)	ディスク式畑用中耕除草機を活用した大豆の一貫栽培体系	作物(技術)
2 水稲	(H26-普-02)	品種 食味、栽培特性(耐冷性・耐病性・耐倒伏性)に優れる中生粳水稲「岩手107号」	作物(技術)
3 畑作物	(H26-普-03)	超強力小麦「銀河のちから」の加工特性を引き出す後期窒素追肥法	作物(技術)
16 県北農業振興	(H26-普-04)	ポット苗田植機を用いた雑穀の機械移植技術	作物(県北)
7 花き	(H26-普-05)	7月中旬開花の切り花向け青色リンドウF1品種「いわてVEB-7号(仮称)」の育成	野菜花き(技術)
7 花き	(H26-普-06)	7月下旬～8月上旬開花の切り花向け青色リンドウF1品種「いわてEB-1号(仮称)」の育成	野菜花き(技術)
16 県北農業振興	(H26-普-07)	県北地域に適する露地無側枝性ギクの品種特性	園芸(県北)
5 果樹	(H26-普-08)	早期結実が可能なりんごのポット養成フェザー苗の育成法	果樹(技術)
5 果樹	(H26-普-09)	品種 りんご 11月中旬に収穫される着色良好で貯蔵性が優れる赤色品種「岩手4号」	果樹(技術)
14 草地・飼料作物	(H26-普-10)	オーチャードグラス中生優良品種「ハルジマン」、「まきばたろう」、「北海30号」の特性	家畜飼養・飼料(畜産)
12 肉用牛	(H26-普-11)	黒毛和種妊娠牛の冬期屋外飼養技術	外山畜産(畜産)

【指導(技術指導に参考となる成果)】

分野	成果番号	成果名	担当研究室
10 病害虫制御	(H26-指-01)	大豆害虫マメシンクイガに対する各薬剤の防除適期	病理昆虫(環境)
2 水稲 4 作業技術	(H26-指-02)	酸化調製機(50kgタイプ)を活用した水稲鉄コーティング種子作製の効率的作業体系	プロジェクト推進
2 水稲 4 作業技術	(H26-指-03)	飼料用米「つぶみのり」の鉄コーティング湛水直播栽培における安定多収生産のための栽培管理	プロジェクト推進
2 水稲	(H26-指-04)	平成26年岩手県産水稲の生育経過の特徴と作柄・品質に影響した要因の解析	作物(技術)
2 水稲 4 作業技術	(H26-指-05)	水稲品種「あきたこまち」の鉄コーティング湛水直播栽培における安定生産のための期待生育量	プロジェクト推進
2 水稲 4 作業技術	(H26-指-06)	水稲品種「どんぴしゃり」の鉄コーティング湛水直播栽培における安定生産のための期待生育量	プロジェクト推進
4 作業技術	(H26-指-07)	イブキジャコウソウの効率的な育苗・定植方法	プロジェクト推進
9 土壌作物栄養	(H26-指-08)	水稲用軽量育苗培土の特性	生産環境(環境)
10 病害虫制御	(H26-指-09)	水稲品種「ひとめぼれ」におけるいもち病防除と葉いもち・穂いもち発生量の関係および収量に対する影響	病理昆虫(環境)

分野	成果番号	成 果 名	担当研究室
10 病虫害 制御	(H26-指-10)	広域的に葉いもち防除を行った「ひとめぼれ」栽培地域における穂いもち防除を省略した場合の被害発生リスク	病理昆虫(環境)
16 県北農 業振興	(H26-指-11)	露地無側枝性ギクの成長調整剤処理法	園芸(県北)
16 県北農 業振興	(H26-指-12)	パイプハウスを用いたねぎの冬期貯蔵法	園芸(県北)
16 県北農 業振興	(H26-指-13)	ハウレンソウケナガコナダニに対する殺虫剤の防除効果と施肥の影響	園芸(県北)
16 県北農 業振興	(H26-指-14)	たまねぎ春まき作型の栽培法	園芸(県北)
16 県北農 業振興	(H26-指-15)	たまねぎ春まき作型におけるセルトレイ育苗法	園芸(県北)
16 県北農 業振興	(H26-指-16)	たまねぎ春まき作型における雑草防除法	園芸(県北)
10 病虫害 制御	(H26-指-17)	だいこんキスジノミハムシ多発ほ場での防除体系(追補)	病理昆虫(環境)
10 病虫害 制御	(H26-指-18)	リンドウホソハマキに対する数種殺虫剤の防除効果(追補)	病理昆虫(環境)
6 野菜	(H26-指-19)	雨よけ夏秋どり栽培における橙系ミニトマトの品種特性	野菜花き(技術)
6 野菜	(H26-指-20)	ミニトマトの露地疎植栽培に適した誘引法	野菜花き(技術)
5 果樹	(H26-指-21)	カシスの省力的な収穫方法と優良品種の選定	果樹(技術)
5 果樹	(H26-指-22)	りんごわい性台樹における夏期の薬剤散布量	果樹(技術)
5 果樹	(H26-指-23)	りんご品種「紅ロマン」の品種特性	果樹(技術)
5 果樹	(H26-指-24)	りんご「シナノゴールド」の越年出荷における収穫時期の目安	果樹(技術)
10 病虫害 制御	(H26-指-25)	摘果痕を感染部位とするリンゴ枝腐らんに対する防除薬剤	病理昆虫(環境)
12 肉用牛	(H26-指-26)	国産くず大豆を給与した黒毛和種去勢肥育牛の増体および肉質に及ぼす影響	家畜育種(畜産)
12 肉用牛	(H26-指-27)	県有黒毛和種種雄牛の一価不飽和脂肪酸割合育種価の推定(追補)	家畜育種(畜産)
13 中小家 畜(豚・ 鶏)	(H26-指-28)	穀類を飼料用米で全量代替した配合飼料がパークシャー種肥育後期豚(75~115kg)の発育・肉質に及ぼす影響	家畜育種(畜産)
11 乳用牛	(H26-指-29)	飼料用米を活用した自給率の高い乳牛の飼料給与技術	家畜飼養・飼料(畜産)
11 乳用牛	(H26-指-30)	国産くず大豆の乳牛用発酵TMR原料としての利用技術	家畜飼養・飼料(畜産)
11 乳用牛	(H26-指-31)	高泌乳牛における乾乳期間の短縮が生産性に及ぼす影響	家畜飼養・飼料(畜産)
11 乳用牛	(H26-指-32)	経産牛用TMRを利用した乳用育成牛の早期育成技術	家畜飼養・飼料(畜産)

分野	成果番号	成果名	担当研究室
14 草地・飼料作物	(H26-指-33)	飼料用トウモロコシ栽培における土壌中交換性カリ含量に応じたカリ施用量と堆肥によるカリ代替効果	家畜飼養・飼料(畜産)
14 草地・飼料作物	(H26-指-34)	耕起困難及び耕起不能放牧地における利用再開後の施肥管理	家畜飼養・飼料(畜産)

【行政(行政施策等に反映すべき成果)】

分野	成果番号	成果名	担当研究室
2 水稲	(H26-行-01)	平成26年度水稲奨励品種決定試験本調査・現地調査結果	作物(技術)
2 水稲	(H26-行-02)	平成27年度水稲奨励品種決定試験本調査・現地調査新規供試系統	作物(技術)
2 水稲	(H26-行-03)	アミロース含有率が低い突然変異系統を活用した極良食味の晩生水稲系統「岩手118号」の育成	作物(技術)
2 水稲	(H26-行-04)	平成27年度水稲奨励品種決定予備調査に供試する「岩手119号」「岩手120号」「岩手121号」「岩手122号」	作物(技術)
12 肉用牛	(H26-行-05)	県有種雄牛「金菊徳」のQTL解析結果と後継牛のQTL保有状況	家畜育種(畜産)
12 肉用牛	(H26-行-06)	県有種雄牛「菊安舞鶴」における脂肪酸割合のQTL解析結果と後継牛のQTL保有状況	家畜育種(畜産)
12 肉用牛	(H26-行-07)	日本短角種産肉能力検定(直接法)成績	家畜育種(畜産)
12 肉用牛	(H26-行-08)	日本短角種産肉能力検定(現場後代検定法)成績	家畜育種(畜産)
12 肉用牛	(H26-行-09)	黒毛和種枝肉成績の年次別推移	種山畜産(畜産)
12 肉用牛	(H26-行-10)	黒毛和種産肉能力検定(直接法)成績	種山畜産(畜産)
12 肉用牛	(H26-行-11)	黒毛和種産肉能力検定(現場後代検定法)成績	種山畜産(畜産)
1 農業構造・経営管理	(H26-行-12)	政策・制度変更に対応した水稲の農業技術体系データの作成	農業経営(企画)

【研究(研究手法等に関する成果)】

分野	成果番号	成果名	担当研究室
7 花き	(H26-研-01)	DNAマーカー選抜技術の活用により有用遺伝子を集積した晩生水稲系統「岩手117号」の早期育成	野菜花き(技術)
7 花き	(H26-研-02)	リンドウ栽培株における塊茎の発達と越冬芽の発生	野菜花き(技術)
7 花き	(H26-研-03)	エゾリンドウ難培養系統における増殖法	野菜花き(技術)
10 病害虫制御	(H26-研-04)	施設ピーマンに発生するアザミウマ類の土着天敵	病理昆虫(環境)

2 追跡評価

○平成26年度追跡評価の概要

(1) 評価視点

岩手県農業研究センター試験研究課題評価実施要領別表5の規程により、「成果の活用状況」について、「現在も有効な成果であるか」「成果が経済活動等で活用されているか」の評価視点で追跡評価を実施。

(2) 追跡評価の調査方法

ア 評価1(評価の視点「現在も有効な成果であるか」)

(ア) 評価対象 平成9年度から平成23年度までに公表した「普及」、「指導」区分の試験研究成果(1,071成果)

(イ) 評価方法 成果の主査研究室が関係研究室と調整の上、自己評価

(ウ) 評価区分

- A:(現在でも)有効
- B:目的達成(既に、成果の目的を達成し、現在では有効性がない)
- C:後年度の成果に反映(更新)
- D:無効(Bの概念に含まないもの)

イ 評価2(評価の視点「成果が経済的活動等で活用されているか」)

(ア) 評価対象

- a 平成23年度に公表した「普及」区分の研究成果(9成果)
- b 平成23年度に公表した「指導」区分の研究成果(32成果)

(イ) 評価方法

a 「普及区分」

(a) 本庁各室課が定める要綱・要領等に基づき検討されている成果は、自己評価を実施

- ① 農作物奨励品種等の決定及び改廃に関する要綱(奨励品種等)
※ 農産園芸課が所管する稲、麦類、豆類、果樹、野菜、花き等が対象
- ② 岩手県農作物病害虫・雑草防除指針作成要領(農薬の採用・使用上の留意点等)
- ③ いわて和牛改良増殖対策事業推進協議会設置要領(種雄牛の作出)
- ④ 日本短角種集団育種推進事業推進協議会設置要領(種雄牛の作出)

(b) 上記(a)以外の成果は、成果の活用状況(「成果活用による効果等」)について、以下により、生産者等に調査を依頼

- ① 評価調査による調査:成果毎に調査対象者*1を定め、評価調査による調査を依頼
※ 調査対象者は、農業改良普及センターの協力を得て選定

a 「指導区分」

(a) 成果の活用状況について、主要農業改良普及センター等に調査を依頼

(b) 評価区分

- a 評価調査による調査:成果毎に調査対象者を定め、評価調査による調査を依頼
※ 調査対象は、中央農業改良普及センターの協力を得て選定

(3) 追跡評価の結果

ア 評価1(評価の視点「現在も有効な成果であるか」)

評価区分	成果数
A	867
B	149
C	45
D	10
合計	1071

イ 評価2(評価の視点「成果が経済的活動等で活用されているか」)

(7) 「普及区分」

a 自己評価

課題名	農家への普及状況	成果活用による効果
「早生低アミロース水稻品種「岩手91号」の育成」	B	A
「大吟醸酒原料向け水稻品種「岩手酒98号」の育成」	B	A
「10月上旬開花の切り花向け青色リンドウF1品種「いわてVLB-1号」の育成」	-	B

注1) 農家への普及状況 A(目標の75%)、B(目標の50%から75%)、C(25%から50%)、D(25%未満)、-(目標値なし)

注2) 成果活用による効果 A(大いにあった)、B(あった)、C(あまりなかった)、D(なかった)

b 生産者による評価

課題名	成果の活用
りんどう選花作業台セットによる選花作業時間の短縮効果	1.5
小畦立て播種栽培技術マニュアル	2.2
園芸畑作施肥設計支援シート	1.7
乾物収量性に優れた飼料用トウモロコシ早生品種「ロイヤルデント TH680	1.8
飼料用トウモロコシの不耕起栽培における二毛作前作ライ麦の最適刈取時	2.0
飼料用トウモロコシ圃場および不定形・波丘草地におけるトラクタ搭載型GPS作業支援システムを活用した除草剤散布作業精度の向上	1.0

注) 成果の活用は「よく活用」を3、「たまに活用」を2、「活用機会がない」を1、「活用できない」を0として加重平均した。

b 普及センター等による評価

課題名	指導効果等の向上
津波被災水田において栽培した水稻の事例解析	4.0
津波被災果樹園地におけるりんごの生育状況	3.5
津波被災きゅうり圃場における除塩対策	4.0
津波被災水田(無作付け)での自然降雨によるEC推移	3.0
水田農業経営体の特徴と経営展開のポイント	2.3
小ぎく収穫調製作業に影響を及ぼす要因と改善方向	2.0
平成23年岩手県産水稻の生育経過の特徴と作柄・品質に影響した要因の解析	3.0
岩手県における水稻主要品種の幼穂形成期追肥実施を7月上旬に判定する目安	2.0
平成23年岩手県産大豆の生育経過の概要と特徴	3.0
平成23年岩手県産小麦の生育経過の概要と特徴	3.0
麦の雑草防除の動向とイネ科雑草に有効な土壌処理剤の特性	3.0
りんごに対する落果防止剤(1-ナフタレン酢酸ナトリウム)の使用方法	3.3
スピードスプレーヤ用ドリフト低減型ノズル及び立木用ドリフト低減型防除機の特徴	3.0
アスパラガス伏せ込み促成栽培11月生産技術	2.0
リンドウ早生品種における発蕾から開花までの日数増加・減少程度の判断指標	2.3
リンドウ越冬芽を用いた超低温保存法	3.0
無コーティング種子を使用した作溝同時湛水直播栽培の生育の特徴と管理のポイント	2.0
特別栽培米専用肥料の連用による収量・品質及び可給態窒素への影響	3.0
エンズリンドウの主塊茎と副塊茎に着目した株の経年推移	3.3
アカスジカスミカメの斑点米形成時期	3.0
岩手県のりんご園地に生息するカブリダニ類	2.5
転炉スラグを用いた土壌pH改良によるキュウリホモモブシ根腐病の被害軽減	3.0

課題名	指導効果等の向上
育成中期(体重270kg)までの育成牛に搾乳用TMRを併給する飼料給与技術	1.7
蛋白質源として大豆サイレージを給与した日本短角種の肥育	0.7
県有黒毛和種種雄牛の一価不飽和脂肪酸割合育種価の推定	1.7
各種要因が黒毛和種子牛市場価格に及ぼす影響の性別による違いについて	1.3
パークシャー種の肥育後期(体重70～110kg)における飼料用米配合飼料給与が発育・肉質に及ぼす影響	1.0
作溝式播種機を用いた早春牧草追播における入牧時草丈が牧草定着に及ぼす影響	2.0
促成アスパラガス廃根を用いたレタス圃場のキタネグサレセンチュウ被害軽減技術	2.3
岩手県雑穀遺伝資源データベースシステム	2.0
雑穀の移植栽培による抑草効果	2.7
雑穀品目別主要病害虫の被害様相と発生時期	2.7

注) 指導効果等の向上は「大いに向上した」を4、「向上した」を3、「あまり向上しなかった」を2、「向上しなかった」を1、未回答を0として加重平均した。

3 東北農業試験研究成果

<研究成果情報>

(1) 研究成果数

推進部会名	稲	畑作物	農業生産基盤	野菜花き	果樹	生産環境	畜産	計
研究成果数	1	1	1	1	3	0	1	8

(2) 研究成果名

推進部会名	成 果 名	分 類	主査研究室
稲	良食味、多収の水稲新品種候補「岩手107号」の育成	普及	作物(技術部)
畑作物	超強力小麦「銀河のちから」の原粒タンパク質含有率と容積重を確保するための後期窒素追肥法	普及	作物(技術部)
農業生産基盤	ポット苗田植機を汎用利用した雑穀の畑移植技術	普及	作物(県北研)
野菜花き	エゾリンドウおよびササリンドウの栽培株における塊茎の発達と越冬芽の発生	研究	野菜花き
果樹	不織布ポットを用いたリンゴのフェザー苗の育成方法	普及	果樹
	リンゴおい性台樹における夏期の薬剤散布量	研究	果樹
	カシスの省力的な収穫方法と優良品種の選定	研究	果樹
畜産	黒毛和種妊娠牛の冬期屋外飼養技術	研究	外山畜産

IV 試験研究成果の発表

IV 試験研究成果の発表

1 試験成績書等刊行物

資料番号等	表題名	発行年月	総頁数
プロジェクト推進室 プロ推 26-No.1	平成26年度 試験研究成績書 プロジェクト推進室	27.4	157
技術部 技術26 No.1	平成26年度 水稻関係除草剤試験成績書(技術部作物研究室)	26.1	180
技術26 No.2	平成25年度 果樹試験成績書(技術部果樹研究室)	27.1	270
技術24 No.4	平成24年度 花き試験成績書(技術部野菜花き研究室)	27.2	55
技術25 No.2	平成25年度 花き試験成績書(技術部野菜花き研究室)	27.2	61
環境部 環境 26 No.1	平成26年度 試験研究成績書(病理昆虫研究室)	27.3	300
環境 26 No.2	平成26年度 試験研究成績書(生産環境研究室)	27.3	163
病虫害防除部	平成26年度 植物防疫事業年報	27.5	160
畜産研究所 畜産 26 No.1	平成26年度試験成績書(畜産研究所)	27.3	90
県北農業研究所 県北 26 No.1	平成26年度 試験研究成績書(園芸研究室)	27.3	89
県北 26 No.2	平成26年度 試験研究成績書(作物研究室)	27.3	100

2 研究レポート(平成26年度発行分)

No.	試験研究成果名	担当研究室
No.742	水稲系統「岩手118号」の食味は「ひとめぼれ」に優る	作物(技術)
No.743	ディスク式畑用中耕除草機を活用した大豆の一貫栽培体系	プロジェクト推進
No.744	美味しくて栽培しやすい中生うるち水稲新品種「岩手107号」	作物(技術)
No.745	超強力小麦「銀河のちから」の加工特性を引き出す後期窒素追肥法	作物(技術)
No.746	ポット苗田植機を用いた雑穀の機械移植技術	作物(県北)
No.747	7月中旬開花の切り花向け青色リンドウF ₁ 品種「いわてVEB-7号(仮称)」	野菜花き
No.748	7月下旬～8月上旬開花の切り花向け青色リンドウF ₁ 品種「いわてEB-1号(仮称)」	野菜花き
No.749	県北地域に適する露地無側枝性ギクの品種特性	園芸(県北)
No.750	早期結実が可能なりんごのポット養成フェザー苗の育成法	果樹
No.751	11月中旬に収穫される着色良好で貯蔵性が優れるりんご赤色品種「岩手4号」	果樹
No.752	オーチャードグラス中生優良品種「ハルジマン」、「まきばたろう」、「北海30号」の特性	家畜飼養・飼料
No.753	黒毛和種妊娠牛の冬期屋外飼養技術	外山畜産
No.754	大豆害虫マメシンクイガに対する各薬剤の防除適期	病理昆虫
No.755	酸化調製機を活用した水稲鉄コーティング種子作製の効率的作業体系	プロジェクト推進
No.756	非主食用水稲品種「つぶみのり」の鉄コーティング湛水直播栽培における生育の目安と栽培のポイント	プロジェクト推進
No.757	平成26年岩手県産水稲の生育経過の特徴と作柄・品質に影響した要因の解析	作物(技術)
No.758	水稲品種「あきたこまち」の鉄コーティング直播栽培での生育の目安	プロジェクト推進
No.759	水稲品種「どんぴしゃり」の鉄コーティング直播栽培での生育の目安	プロジェクト推進
No.760	法面被覆に用いるイブキジャコウソウの効率的な育苗・定植方法	プロジェクト推進
No.761	水稲用軽量育苗培土の特性 ～かん水量は控えめに～	生産環境
No.762	水稲品種「ひとめぼれ」におけるいもち病防除と葉いもち・穂いもち発生量の関係および収量に対する影響	病理昆虫
No.763	広域的に葉いもち防除を行った「ひとめぼれ」栽培地域における穂いもち防除を省略した場合の被害発生リスク	病理昆虫
No.764	露地無側枝性ギクの成長調整剤処理法	園芸(県北)
No.765	パイプハウスを用いたねぎの冬期貯蔵法	園芸(県北)
No.766	ハウレンソウケナガコナダニに対する殺虫剤の防除効果と施肥の影響	園芸(県北)

No.	試験研究成果名	担当研究室
No.767	たまねぎ春まき作型の栽培法	園芸(県北)
No.768	たまねぎ春まき作型におけるセルトレイ育苗法	園芸(県北)
No.769	たまねぎ春まき作型における雑草防除法	園芸(県北)
No.770	だいこんキスジノミハムシ多発時での防除体系(追補)～ 粒剤の上手な使い方 ～	病理昆虫
No.771	リンドウホソハマキに対する数種殺虫剤の防除効果(追補)	病理昆虫
No.772	雨よけ夏秋どり栽培における橙系ミニトマトの品種特性	野菜花き
No.773	ミニトマトの露地疎植栽培に適した誘引法	野菜花き
No.774	カシスの省力的な収穫方法と優良品種の選定	果樹
No.775	りんごわい性台樹における夏期の薬剤散布量	果樹
No.776	りんご品種「紅ロマン」の品種特性	果樹
No.777	りんご「シナノゴールド」の越年出荷における収穫時期の目安	果樹
No.778	摘果痕を感染部位とするリンゴ枝腐らんに対する防除薬剤	病理昆虫
No.779	国産くず大豆を給与した黒毛和種去勢肥育牛の増体および肉質に及ぼす影響	家畜育種
No.780	県有黒毛和種種雄牛の一価不飽和脂肪酸割合育種価の推定(追補)	家畜育種
No.781	穀類を飼料用米で全量代替した配合飼料がバークシャー種肥育後期豚(75～115 kg)の発育・肉質に及ぼす影響	家畜育種
No.782	飼料用米を活用した自給率の高い乳牛の飼料給与技術	家畜飼養・飼料
No.783	くず大豆の乳牛用発酵TMR原料としての利用技術	家畜飼養・飼料
No.784	高泌乳牛における乾乳期間の短縮が生産性に及ぼす影響	家畜飼養・飼料
No.785	経産牛用TMRを利用した乳用育成牛の早期育成技術	家畜飼養・飼料
No.786	飼料用トウモロコシ栽培における土壌中交換性カリ含量に応じたカリ施肥法	家畜飼養・飼料
No.787	利用再開した耕起困難及び不能放牧地へは県標準量の施肥を！	家畜飼養・飼料
No.788	県基幹種雄牛に肉質の「緑乃大地」、肉量の「山根雲」を選抜	種山畜産

3 岩手県農業研究センター研究報告

第14号(平成27年発行予定)

区分	論文題名	著者	所属
報文	日本短角種における遺伝的マーカーを利用した育種方法に関する研究	佐藤 洋一	元畜産研究所家畜育種研究室 (現 岩手県立農業大学校)
	アワ新品種「ゆいこがね」の育成	仲條 眞介	県北農業研究所作物研究室 (現 技術部作物研究室)
要報	放牧地における作溝式播種機を用いた簡易更新の有用性	佐々木 正俊	畜産研究所外山畜産研究室
		菊池 恭則	元畜産研究所外山畜産研究室 (現 サージミヤワキ株式会社)
		増田 隆晴	畜産研究所外山畜産研究室
飼料用とうもろこし栽培における耕起作業前後のたい肥施用効果		山形 広輔	畜産研究所家畜飼養・飼料研究室
		尾張 利行	畜産研究所家畜飼養・飼料研究室
		佐藤 直人	元畜産研究所家畜飼養・飼料研究室 (現 岩手県立農業大学校)
くず大豆を輸入大豆粕の代替として用いた発酵TMRの産乳性、消化性の評価		齋藤 浩和	元畜産研究所家畜飼養・飼料研究室 (宮古農業改良普及センター岩泉普及サブセンター)
		木戸場 結香	元畜産研究所家畜飼養・飼料研究室 (現 県北広域振興局農政部二戸農林振興センター)
		佐藤 直人	元畜産研究所家畜飼養・飼料研究室 (現 岩手県立農業大学校)
		嶺野 英子	(独)農業・食品産業技術総合研究機構 東北農業研究センター

4 学会等研究報告

(1) 学術論文(専門家の査読を受け、掲載された論文)

Environmental Control in Biology

- | |
|---|
| ○Takayuki Yamaguchi and Tomoo Maeda(2015)
Effect of High-Temperature Treatment on Spear Growth Resumption in Dormant Asparagus (<i>Asparagus officinalis</i> L.)
Environmental Control in Biology 53(1):23-26. |
|---|

北日本病害虫研究会報

- | |
|--|
| ○富永 朋之(2014)
リンゴ腐らん病の摘果時期の花柄感染に対して有効な薬剤防除体系
北日本病害虫研究会報 65:101-103 |
| ○大友令史(2014).
岩手県の栽培ワラビにおけるルイスコメツキモドキの発生
北日本病害虫研究会報 65:167-169 |
| ○菅 広和(2014)
水稻品種「ひとめぼれ」における葉いもち発生量と穂いもち防除の効果および収量・品質との関係
北日本病害虫研究会報 65:191. 講要 |
| 岩舘 康哉(2014)
ホウレンソウ白斑病の岩手県における発生と殺菌剤の効果
北日本病害虫研究会報 65:195. 講要
現農業普及技術課 |
| ○森本 晶*1・岩間 俊太*2・岩舘 康哉*3・宍戸邦明*4・(2014)
2011年および2012年の岩手県におけるオオタバコガの発生消長
北日本病害虫研究会報 65:198. 講要
*1 北農研、*2 青森産技セ、*3 現農業普及技術課、*4 福島農総セ |
| 多田 典穂(2014)
施設ピーマンにおけるリモネカスカブリダニのアザミウマ類防除効果
北日本病害虫研究会報 65:211. 講要 |
| 羽田 厚・大友令史(2014)
ヒメボクトウ幼虫に対するフルベンジアミド水和剤のスピードスプレーヤ散布による防除効果
北日本病害虫研究会報 65:215. 講要 |
| ○吉田 雅紀(2014)
岩手県で採集されたオオタバコガに対する各種薬剤の効果
北日本病害虫研究会報 65:154-156. |
| ○横田 啓・武田純子(2014)
春まきタマネギのネギアザミウマに対する数種薬剤の防除効果
北日本病害虫研究会報 65:212. 講要 |

Japanese Journal of Applied Physics

- | |
|--|
| ○J. Takahata, K. Takaki, N. Satta, K. Takahashi, T. Fujio, Y. Sasaki,
Improvement of growth rate of plants by bubble discharge in water
Jpn. J. Appl. Phys. 54, 01AG07-1-6, 2015 |
|--|

(2)学会発表(発表要旨)

H25年分

日本育種学会(第124回講演会—2013秋季:2013.10.12～14開催・南九州大学)

☆水野 陽介^{1,2}, 山内 歌子², 星野 友紀⁴, 野々上 慈徳, 永田 和史², 福岡 修一², 安藤 露², 矢野 昌裕⁵, 杉本 和彦²
(1. 筑波大・院生命環境科学, 2. 農業生物資源研究所・イネゲノム育種研究ユニット, 4. 山形大学・農学部, 5. 農業・食品産業技術総合研究機構 作物研究所)

陸稲品種オワリハタモチの第9 染色体に座乗する穂発芽耐性遺伝子(Sdr12とSdr13)のマッピングと解析
育種学研究. 16(別2):13

☆永田 和史¹, 安藤 露¹, 野々上 慈徳, 水林 達実¹, 北澤 則之¹, 正村 純彦¹, 矢野 昌裕^{1,3}, 福岡 修一¹
(1. 生物研, 3. 農研機構作物研)

65 個のQTL がコシヒカリ/IR64 間の粒形の違いを説明する
育種学研究. 16(別2):21

H26年分

東北農業経済学会(第 50 回 岩手大会:2014.8.22～23開催・岩手大学)

○村上和史

岩手県の農業における東日本大震災津波の被害と復旧の動向
(個別報告)

○田中英輝

岩手県沿岸被災地域の農業における復旧・復興の現状と課題
(個別報告)

日本作物学会(第239回講演会—2015春季:2015.3.27～28開催・日本大学)

○及川一也

水稻密播のプラスチックセル育苗
日本作物学会第239回講演会要旨集(2015):P151

日本育種学会(第126回講演会 2014.9.26～9.27)

○高草木 雅人, 仲條 眞介, 中西 商量

大粒・多収で穎色の濃い糯キビ新品種「キビ岩手糯1号」の育成
育種学研究16.別冊2.(日本育種学会第126回講演要旨集.2014):124

日本作物学会東北支部会 第57回講演会(2014.8.21～22 開催・弘前大学)

○大里達朗(2014)

岩手県北における水稻直播栽培の新たな適応性評価法の提案
支部会報. 57 : 35

○大里達朗(2014)

岩手県北における降水量から見た作業可能日数の経年変化傾向
支部会報. 57 : 37

○大里達朗(2014)

季節予報の水稻の生育予測への活用と作業計画への応用に関する考察
支部会報. 57 : 39

農業食料工学会東北支部会(2014.8.21 開催:山形テルサ)

○中西商量(2014)

傾斜畑でのアワ移植栽培におけるポット苗田植機の適用と改良
支部報No. 61 : 41-44

園芸学会(平成26年度秋季大会:2013.9.27~29開催・佐賀県 佐賀大学本庄キャンパス 園芸学研究. 12(別2): 2014.9月発行)

○加藤 一幾1・武藤 由子1・高島 真輔1・立澤 文見1・藤尾 拓也2・高橋 守2・小玉 智3・戸塚 悠介3・雑賀 正人4・勝野 志郎4・大込 敏夫4 岩手県大槌町におけるシイタケ廃菌床を利用したクッキングトマト栽培(第1報) 2014.園学研. (Hort. Res. (Japan)) (別) 2: 420. 1岩手大農学部, 2岩手農研, 3キセキ東北, 4井関農機
○アーチ放任仕立て栽培(通称:ソバージュ栽培)が露地夏秋どりミニトマトの作業性に及ぼす影響 北條 怜子1・飯塚 明範1・寺崎 亮2・藤尾 拓也3・元木 悟1 2014.園学研. (Hort. Res. (Japan)) (別) 2: 419. 1明治大農学部, 2明治大院農学研究科, 3岩手農研セ
○藤尾 拓也1・山口 貴之1・内藤 善美1・漆原 昌二2・元木 悟3・北條 怜子3・樋口 洋子3・山初 仁志4・松永 邦則5・甲村 浩之6・本田 純悦7 ミニトマトの露地栽培におけるソバージュ栽培と1本仕立て栽培の収量特性の差異 2014.園学研. (Hort. Res. (Japan)) (別) 2: 418. 1岩手農研セ, 2岩手農大, 3明治大農学部, 4秋田県横手市実験農場, 5パイオニアエコサイエンス(株), 6県広島大生命, 7久慈普及セ
○山口貴之1・藤尾拓也1・下村晃一郎2 ベイトアルファ型キュウリにおける岩手県露地夏秋作型の栽培適性 1岩手農研セ, 2農研機構野菜茶研
○石井葉菜子1・清水佑1・松永邦則2・浦上敦子3・山口貴之4・寺崎亮1・池浦博美1・元木悟1 アスパラガス栽培における早期定植のためのマルチの色の効果 1明治大学, 2パイオニアエコサイエンス(株), 3農研機構野菜茶研, 4岩手農研セ
○清水佑1・石井葉菜子1・今井峻平1・松永邦則2・浦上敦子3・山口貴之4・寺崎亮1・池浦博美1・元木悟1 新規に開発したホーラーがアスパラガスの定植における初心者への作業性に及ぼす影響 1明治大学, 2パイオニアエコサイエンス(株), 3農研機構野菜茶研, 4岩手農研セ

園芸学会アスパラガス研究小集会(平成26年度秋季大会:2014.9.26開催・佐賀大学本庄キャンパス)

○山口貴之1・元木悟2・園田高広3・松永邦則4 ラオスにおけるアスパラガス栽培の現状 1岩手農研セ, 2明治大学, 3酪農学園大学, 4パイオニアエコサイエンス(株)

東北農業試験研究第57回発表会(2014.7.30 開催・仙台市)・東北農業研究(第67号)

○村上和史(2014). 岩手県の農業現場における東日本大震災津波被害と復興の課題
○松浦貞彦・前山薫(2014). 岩手県における農業技術体系データの整備と経営支援システムの開発
○田中英輝(2014). 岩手県沿岸被災地域の農業における担い手の動向 伊藤信二*・荻内謙吾・中西商量** 岩手県における大豆品種「シュウリュウ」の栽培法 *岩手県庁、**岩手県農業研究センター県北農業研究所
○小原公則・仲條真介・小綿寿志* 岩手県における小麦品種「銀河のちから」の特性 *中央農業改良普及センター
○桐山直盛・大友英嗣 [※] (2014) 土壌中の交換性カリ含量の改良による大豆の放射性セシウム吸収抑制効果 * 現 一関農業改良普及センター
○太田原健二(2014). 自然交配後の追い移植による双子生産
○熊谷祐宏(2014). 岩手県の和牛集団における地方病性牛白血病発症抵抗性に関する遺伝子型と枝肉形質との関連
○山形広輔(2014). 新播草地における播種翌年の一番草刈取前のエンノギシギシに対する効果的な除草剤

園芸学会(平成27年度春季大会:2015.3.28~29開催・千葉大学西千葉キャンパス 園芸学研究. 14(別1): 2015.3月発行)

○樋口洋子1・北條怜子1・垣尾尚史2・寺崎 亮3・藤尾拓也4・池浦博美1・元木 悟1
ミニおよび中玉トマトにおけるへた離れ性および果柄の離脱性の品種間および果房間差異
2015.園学研. (Hort. Res. (Japan)) (別) 1:454.
1明治大農学部, 2(株)島津製作所, 3明治大院農学研究科, 4岩手農研セ

○北條怜子1・柘植一希1・藤尾拓也2・元木 悟1
ソバージュ栽培における栽植密度の違いがミニトマトの収量および品質に及ぼす影響
2015.園学研. (Hort. Res. (Japan)) (別) 1: 343.
1明治大農学部, 2岩手農研セ

○藤尾拓也・山田修・清宮靖之・山口貴之・松浦拓也・高橋守
トマトの茎部冷却における栽植期の違いが果実収量へ及ぼす影響
2015.園学研. (Hort. Res. (Japan)) (別) 1: 120.
岩手農研セ

○清水佑1・石井葉菜子1・松永邦則2・浦上敦子3・山口貴之4・池浦博美1・元木悟1
アスパラガスの伏せ込み促成栽培の早期定植に関する研究
2015.園学研. (Hort. Res. (Japan)) (別) 1:
1明治大学, 2パイオニアエコサイエンス(株), 3農研機構野菜茶研, 4岩手農研セ

○阿部弘
リンドウ栽培株における塊茎の発達と越冬芽の発生
2015.園学研. (Hort. Res. (Japan)) (別) 1: 229.
岩手農研セ

園芸学会アスパラガスウリ科作物研究小集会(平成27年度春季大会:2015.3.27開催・千葉大学西千葉キャンパス)

○山口貴之
ベイトアルファ型キュウリによるブランド化の取り組みについて

園芸学会(平成27年度春季大会:2015.3.28~29開催・千葉大学西千葉キャンパス 園芸学研究. (別1): 2015.3月発行)

○福田拓斗・横田 啓・武田純子*1(2015)
岩手県のタマネギ春まき作型における雑草防除法
園芸学研究第14巻(別冊1): .
*1岩手県久慈農業改良普及センター

日本土壤肥料学会(2014年東京大会:2014.9.9~11開催・東京農工大学小金井キャンパス)

○高橋 彩子(2014)
岩手県における水田土壌の施肥管理と化学性の変化
シンポジウム第6部門「水田土壌の地力低下の実態とその対策」
日本土壤肥料学会 60:225.講要

第14回国際ダニ学会(2014.7.13~19開催・京都市)

○羽田 厚・日本典秀*1(2014)
Effect of Acaricides on Inbreeding and Genetic Structure of Populations of the Two-spotted spider mite , *Tetranychus urticae* Koch
*1中央農研

第23回日本ダニ学会(2014.10.18~19開催・盛岡市)

○羽田 厚(2014)
岩手県内のリンゴ園地におけるハダニ類の発生状況と薬剤感受性の変化

北日本病害虫研究発表会(2015.2.19～20開催・山形市 北日本病害虫研究会報. 66: 印刷中)

○菅 広和・富永 朋之(2015) 2013、2014年における水稲品種「ひとめぼれ」に対する穂いもち防除の効果
○富永 朋之・菅 広和(2015) 広域的に葉いもち防除を行った「ひとめぼれ」栽培地帯において穂いもち防除を省略した場合の被害発生リスク
○久保田 真衣(2015) マメシクイガに対するクロラントラニプロール水和剤の効果特性
○羽田 厚・藤根 勝栄*1(2015) 岩手県におけるクビアカスカシバの発生生態について *1花巻市葡萄が丘研究所
○吉田雅紀・遠藤純子*1(2015) 岩手県におけるコナガ個体群のジアミド系殺虫剤に対する感受性 *1 八幡平農業改良普及センター
○横田 啓・藤沢 巧・福田拓斗・鈴木良則(2015) ホウレンソウケナガコナダニに対する殺虫剤の防除効果と施肥の影響

日本応用動物昆虫学会(2015.3.26～28開催・山形大学 講演要旨)

○羽田 厚・日本典秀*1(2015) リンゴ園地での殺ダニ剤散布がナミハダニ個体群の遺伝学的構造に及ぼす影響 第59回日本応用動物昆虫学会大会 講演要旨集:p69 *1中央農研
○田淵研*1・市田忠夫*2・大友令史・加進丈二*3・高城拓未*4・新山徳光*5・高橋良知*6・永峯淳一*7・草野憲二*8・榊原充隆*1(2015) 東北地域における斑点米カメムシ類:2003-2013年の発生動向と被害実態 第59回日本応用動物昆虫学会大会 講演要旨集:p86 *1東北農研、*2青森農林総研、*3宮城古川農試、*4宮城防除所、*5秋田防除所、*6秋田農試、*7山形農総研セ、*8福島防除所
○横田 啓・福田拓斗(2015) たまねぎ春まき作型における殺虫剤・殺菌剤散布が収量や腐敗に及ぼす影響 第59回日本応用動物昆虫学会 講演要旨集:p58

第64回東北畜産学会福島大会(2014.9.11～12開催・コラッセふくしま)

○児玉英樹・神山洋・永洞俊司・齋藤久孝・鈴木強史 黒毛和種去勢肥育牛における給与飼料のNFC/DIPと尿石症発症リスクの関連性
--

日本草地学会(2015.3.25～27開催・信州大学農学部)

○佐藤まり子・藤原哲雄・尾張利行・山形広輔・桐山直盛・小林卓史 耕起困難放牧地におけるカリの表面施肥が牧草中放射性セシウム濃度及びミネラルバランスに与える影響 日本草地学会誌第61巻別号:
○尾張利行・須永義人 ¹⁾ ・出口新 ²⁾ ・伊藤孝浩・佐藤まり子・山形広輔 1) 農研機構畜産草地研究所 2) 農研機構東北農業研究センター 飼料用とうもろこし栽培における土壌中交換性カリ含量に応じた施肥量と堆肥によるカリ代替効果 日本草地学会誌第61巻別号:

5 雑誌等掲載

(1) 専門雑誌等

植物防疫

岩館 康哉

転炉スラグによる土壌pH改良と抵抗性台木を用いたキュウリホモプシス根腐病の被害軽減

(一社)日本植物防疫協会 植物防疫 第68号(2014):523-530

*現:農林水産部農業普及技術課

米麦改良 2014.4

菅原 浩視

水稻品種「いわてっこ」の育成

(一社)全国米麦改良協会:1-6

(2) 月刊農業普及(平成26年4月号～平成27年3月号)

4月号	高橋 昭喜 佐藤 喬 浅川 知則	農業研究センター試験研究レポート「ディスク式除草機で播種も?!究極の使い回し術を伝授します」 らぼ・れたあ「この春、いよいよ現地デビュー 続・高窒素鶏ふんペレット肥料の開発とその利用」 季節の農作業(りんご)
5月号	多田 典徳 山形 広輔 浅川 知則	農業研究センター試験研究レポート「施設なす・ピーマンでの天敵製剤『スワルスキー』の効果的な使い方」 らぼ・れたあ 「たい肥施用は『耕起前』or『耕起後』? 飼料用トウモロコシでの施用適期を検証」 季節の農作業(りんご)
6月号	(熊谷 拓哉) 菅 広和 今野 一之 浅川 知則	特集 岩手県農業研究センターで開発された新技術 農業研究センター試験研究レポート「転炉スラグを用いた土壌pH改良によるホウレンソウ萎凋病の被害軽減」 らぼ・れたあ 「サシの最上級率アップの秘訣はコレ! 人気No.1県有種雄牛「菊福秀」の利用法」 季節の農作業(りんご)
7月号	羽田 厚 及川 耳呂	農業研究センター試験研究レポート「りんご園地におけるヒメボクトウ若齢幼虫の効果的な防除方法」 らぼ・れたあ「フェザー苗養成&樹体ジョイント～ 新たなりんごわい化栽培法へのチャレンジ～」
8月号	中里 崇 寺田 道一 浅川 知則	農業研究センター試験研究レポート「切り花向け青色リンドウF ₁ 品種『いわてLB-3号(仮称)』『いわてLB-4号(仮称)』の育成」 らぼ・れたあ「夢の技術か、無謀な挑戦か?～『ザル田』での『無代かき鉄コーティング湛水直播』」 季節の農作業(りんご)
9月号	及川 耳呂 中西 商量 浅川 知則	農業研究センター試験研究レポート「りんご『岩手7号(紅いわて)』の収穫適期判断」 らぼ・れたあ 「雑穀の新たな低コスト栽培技術をつくる～ 狭畦平畦密植栽培の除草技術確立」 季節の農作業(りんご)
10月号	荻内 謙吾 清宮 靖之 浅川 知則	農業研究センター試験研究レポート「多収、高品質、豆腐加工適性に優れる大豆品種『シュウリュウ』」 らぼ・れたあ「インタープランティングを活用したトマトの3段階心新栽培様式の開発」 季節の農作業(りんご)
11月号	尾張 利行 臼井 智彦 浅川 知則	農業研究センター試験研究レポート「飼料用とうもろこし栽培におけるリン酸の補給型施肥基準」 らぼ・れたあ 「小さな圃場でも楽々収穫! 復旧水田での小型汎用コンバインによる夏ソバ収穫」 季節の農作業(りんご)
12月号	児玉 英樹 佐藤 まり子	農業研究センター試験研究レポート「黒毛和種去勢肥育牛における給与飼料のNFC/DIPと尿石症発症との関連性」 らぼ・れたあ 「岩手の気象条件に合う品種はどれ? オーチャードグラスの優良品種選定試験」
1月号	山口 貴之 佐々木 きし子	農業研究センター試験研究レポート「アスパラガス伏せ込み促成栽培に適した品種『ウインデル』」 らぼ・れたあ「打ちたてのそばに親子で舌つづみ そばづくり親子体験学習会を開催しました」
2月号	高草木 雅人 澤田 建	農業研究センター試験研究レポート「大粒・多収で選別が容易なキビ新品種『キビ岩手糯(もち)1号』」 らぼ・れたあ 「県有種雄牛エースの底力! 『第58回岩手県畜産共進会肉牛の部』開かれる」
3月号	佐々木 康仁 寺田 道一 高橋 好範	特集 岩手県内における飼料用米の生産事情「飼料用米利用で豚肉のおいしさ向上 -農家実証試験-」 農業研究センター試験研究レポート「水稻鉄コーティング湛水直播栽培の苗立ち安定化技術」 らぼ・れたあ「伝統食と雑穀の魅力をたっぷりPR『伝統食列車第23号』が開催されました」

(3) 岩手の畜産 (平成26年5月号～平成27年3月号)

5月号	山形 広輔	新播草地で効果的な春の除草剤～エゾノギンギン対策で収量性UPを～
9月号	佐藤 まり子	牧草放射性セシウムの低減には前植生攪拌とカリ施肥が大切
11月号	佐々木 正俊	傾斜放牧地での初冬期播種による簡易更新技術
1月号	澤田 建	県有種雄牛エースの底力！～第58回岩手県畜産共進会肉牛の部～
3月号	佐々木 康仁	自給飼料でお肉の美味しさアップ！-飼料用米等を給与した畜肉の官能評価-

(4) 岩手りんごタイムス (平成26年4月号～平成27年3月号)

4月号	浅川 知則 及川 耳呂	凍霜害対策について マメコバチの利用方法
5月号	廣田 志紀子 名久井 一樹 羽田 厚	ハダニ類の防除について 幼果期の防除について コンフューザ-使用の留意点
6月号	川守田 真紀 羽田 厚 富永 朋之	樹相診断について 枝幹害虫の防除について 輪紋病と炭そ病の発生生態と防除について
7月号	佐々木 真人 富永 朋之 名久井 一樹 廣田 志紀子	夏期管理について 効率的なすす病対策について 農薬の適正使用について 盛夏期の防除について
8月号	川守田 真紀 名久井 一樹	早生品種の管理について 収穫前の防除について
9月号	佐々木 真人 川守田 真紀 小林 卓史	紅いわてについて スマートフレッシュについて りんごの施肥について
10月号	浅川 知則	大玉で果汁が多い「岩手5号」
11月号	数藤 慶亮 廣田 志紀子	りんご園の土壌診断 野そ対策
12月号	佐々木 真人 松浦 貞彦 名久井 一樹	改植の進め方について りんごの消費動向からみる品種開発・品種選定について 今年の防除の反省
1月号	及川 耳呂 羽田 厚	せん定について 短期暴露評価により変更される農薬の使用方法について
3月号	名久井 一樹	今年の防除対策

(5) その他の雑誌等

技術と普及

佐藤 喬
鶏ふんたい肥に尿素を添加したL型肥料の開発と栽培実証
2014年10月号

有機農業研究

臼井 智彦・多田 勝郎
岩手県における有機農業研究の現状
有機農業研究 第5巻 第2号(2013):59-62

果実日本

及川 耳呂
果樹園管理のポイント(りんご)
2014, 4月号～12月号

果樹種苗

佐々木 真人
岩手県における果樹品種の現状と方向性について
2014, 4月号～12月号

農林害虫防除研究会

羽田 厚
ヒメボクトウ防除について思うことー”ただのムシ”が害虫化するときー
ニュースレター No.34

農林水産業・食品産業化学技術研究推進事業

岩館 康哉(現農業普及技術課)・小山田早希
フザリウム属菌による土壌病害の被害軽減事例 ホウレンソウ萎凋病
転炉スラグによる土壌pH矯正を核とした土壌伝染性フザリウム病の被害軽減技術ー研究成果集ー

肉用牛の科学

熊谷 光洋
日本短角種の肥育管理
肉用牛の科学:185-187

Food style 21 (平成26年9月号)

高草木 雅人
雑穀のおいしさと健康機能性

機械化農業(2015年2月号)

中西 商量
岩手県における雑穀移植栽培の機械化について ～ポット苗田植え機の適用と改良～

農耕と園芸

山口貴之
アスパラガスを端境期の11月に出荷できる栽培技術
農耕と園芸, 誠文堂新光社, 69(6):34-37

農業および園芸

山口貴之1・元木悟2・園田高広3・松永邦則4

世界のアスパラガス生産の現状と展望[追加その2]. 周年安定供給と気候変動との戦い. ～タイおよびラオスにおけるアスパラガス生産の現状と今後の方向性～

農業および園芸、養賢堂、89(4) (2014):453-464

1岩手農研セ, 2明治大学, 3酪農学園大学, 4パイオニアエコサイエンス(株)

尾崎行生1・元木悟2・頼富亮典1・菅野明3・園田高広4・前田智雄5・甲村浩之6・山口貴之7・松永邦則8・井上勝広9・鈴木卓10・荒木肇10

世界のアスパラガス生産の現状と展望[追加その3] 第13回国際アスパラガスシンポジウムの最新情報

農業および園芸、養賢堂、89(5):589-564 (2014)

1九州大学, 2明治大学, 3東北大学, 4酪農学園大学, 5弘前大学, 6県立広島大学, 7岩手農研セ, 8パイオニアエコサイエンス(株), 9長崎農総セ, 10北海道大学

二子町の歴史ものがたり「二子いものこ 300年の歴史」

阿部 弘

北上市在来サトイモ‘二子いも’のルーツに関する仮説

二子町振興協議会(2014):17-30

6 新聞等掲載

部所名	記事見出し(●は投込記事)	掲載紙	掲載年月日
共通			
	先端プロ岩手県 現地で成果発表 18日、見学会も	日本農業新聞	26.12.3
	農業技術の研究成果報告 陸前高田 生産者ら活用模索	岩手日報	26.12.19
	木骨ハウス開発 地元産で低コスト 早期復興めざして 農水省 岩手県陸前高田市で発表会 イチゴ栽培実証試験まきボイラー導入	日本農業新聞	26.12.19
	被災以降の歩み発信 先端技術展開事業の成果発表会 陸前高田で	東海新報	26.12.19
	高速播種、トルコギキョウ水耕栽培… 被災地で先端技術実証 復興庁事業で展開 農再生へ成果	日本農業新聞	27.2.3
プロジェクト推進室			
	日植防 岩手県で現地研究会 直播水稲と果樹枝幹害虫防除	農村ニュース	26.9.8
	生研センター成果発表会から 水田用除草装置・1秒1.2メートル欠株も減少	日本農業新聞	26.10.30
	作業効率化めざして 緊プロ農機5機種公開 水田用除草装置・速度は歩行型の4倍 生研センター	日本農業新聞	27.2.25
企画管理部			
農業経営研究室			
	農業経営、復興課題探る 盛岡で東北大会	岩手日報	26.8.23
研究企画室			
	●見て、触れて 児童自然観察 北上	岩手日報	26.8.2
	●魚、昆虫探し興味津々 池周辺で生態観察 県農業研究センター 一日子供研究員に17人	岩手日日新聞	26.8.2
	●来月5、6日 施設を公開 県農研、生工研センター・北上	岩手日日新聞	26.8.31
総務課			
	●元気いっぱい手植え 暁の星幼稚園 ふれあい公園棚田で	岩手日日新聞	26.6.5
	●「元気に育って」園児が手植え 北上	岩手日報	26.6.5
	事故防止率先して 県農業研究センター誓約書を提出	岩手日日新聞	26.9.29
○農業科学博物館			
	●自給織物と道具テーマに 農業科学博物館で企画展	岩手日日新聞	26.6.22
	●みそ、豆腐製造に焦点 農業科学博物館あすから企画展 関連道具類を展示	岩手日日新聞	26.7.5
	●親子でそば作り 受講者を募集 農業科学博物館	岩手日日新聞	26.7.9
	●まずは種まき そば作り体験 北上で学習会開始	岩手日報	26.8.4
	(週間いわてTVガイド) 農業の歴史や科学が楽しく学べる 岩手県立農業ふれあい公園 農業科学博物館	岩手日報	26.8.8
	●手作り豆腐 味は格別 県立農業科学博物館 親子らが挑戦	岩手日日新聞	26.9.29
	●農山村の味わい 豆腐作りで体験 北上で親子連れ	岩手日報	26.9.29
	●養蚕と製糸用具あすから企画展 農業科学博物館	岩手日日新聞	26.10.3
	●ソバの収穫体験 親子で楽しむ 北上市	農業共済新聞	26.11.12
	●農村女性の足跡に光 農業科学博物館で企画展	岩手日日新聞	27.1.17
	●昔の稲作、記録写真通じ 農業科学博物館 来月5日から企画展	岩手日日新聞	27.3.31

部所名	記事見出し(●は投込記事)	掲載紙	掲載年月日
技術部			
作物研究室			
	「コシヒカリ超え」目標 岩手県や農業団体 独自品種を開発へ	河北新報	26.6.13
	新オリジナル品種米 販売戦略検討へ 元気な地域農業本部 今秋「推進会議」を設置	岩手日日新聞	26.6.13
	県が開発 コメ新品種「推進会議」でPR策 10月発足*海外輸出も視野	読売新聞	26.6.13
	米 新品種「岩手107号」 県が開発、優れた食味 あきたこまち代替期待	岩手日報(1面トップ)	26.10.30
	選ばれる米 生産・販売へ 戦略推進会議が発足 岩手県中央会など 地位強固に	日本農業新聞	26.10.30
	岩手米 生き残りかけ「ブランド化」販売戦略 お手本は「つや姫」	朝日新聞	26.11.27
	県産米ブランド化いかに 盛岡で講演会	岩手日報	27.1.27
	「岩手107号」県奨励品種に 県新品種 来年産から作付け 県優良種子供給へ	岩手日報	27.2.4
	コメ新品種 「岩手107号」 県奨励に あきたこまちと切り替え	河北新報	27.2.5
	県産米に最高級品種 岩手118号「極良食味」候補 17年にも作付け 価格も全国屈指へ	岩手日報(1面トップ)	27.2.6
	米2新品種普及へ 岩手県が生産・販売戦略会議 新潟コシ超えを	日本農業新聞	27.2.14
	県南ひとめぼれ特A 14年産米 食味ランク、20回目	岩手日報	27.2.20
果樹研究室			
	北限のゆず ブランド化一歩一歩 陸前高田の研究会設立1年 特産開発、栽培拡大へ	岩手日報	26.6.13
	●リンゴ産地復活を 陸前高田 早期再生へセミナー	岩手日報	26.6.25
	●産地再生の一助に リンゴ品質向上セミナー 陸前高田	東海新報	26.6.26
	●リンゴの栽培講座 陸前高田100人参加 わせの苗木育成など	毎日新聞	26.6.26
	●リンゴ産地復活めざす 県農業研究センターが技術セミナー 優良苗木の育成方法学ぶ	日本農業新聞	26.6.27
	「紅いわて」初競り 県オリジナルリンゴ 最高3万円	岩手日報	25.9.26
	リンゴ「紅いわて」いかが 市場でトップがPR 全農いわて	日本農業新聞	26.9.27
	りんごコンテスト 最優秀賞が決まる 全農県本部	岩手日報	26.10.24
	いわて純情りんごコン 総合の部1位 JAいわて中央 2支部選ばれる	日本農業新聞	26.10.28
	●北限のゆず 高品質に 陸前高田ブランド 沖縄高専 装置開発へ 果汁の香り増量	岩手日報	26.11.20
	りんごコンテスト 最優秀賞が決定 全農県本部	岩手日報	26.11.29
	リンゴ「紅いわて」葉摘み 玉回し 1回で 岩手県農研センター 着色管理の手間削減	日本農業新聞	27.1.30
	リンゴを早期成園化 ポット育苗+ピーエー剤散布 シナゴールド1年目に10アール137キロ 岩手県と米崎生産組合	日本農業新聞	27.3.5
	ブドウ ユズ 復興の起爆剤に 岩手 加工品開発へ栽培研究 産官学が連携 東日本大震災4年	日本農業新聞	27.3.11
野菜花き研究室			
	●リンドウ 開花差小さい新品種 岩手県農研が開発 花ぞろい、形質よし	日本農業新聞	26.6.20
	●省力 多収 低コスト 株数減らし大きく生育 トマトのソバージュ栽培	日本農業新聞	26.8.6
南部園芸研究室			
	地域再生の技術発表会 中山間地に対応 イチゴ施設や薪燃焼加温 陸前高田市で	農経しんぼう	27.1.26
	低コスト耐候性木骨ハウス 木炭創研 軽量鉄骨並みの強度 地場産材使い価格は7割	日本農業新聞	27.2.23
	復興めざして 高精度トマト産地化へ 岩手県陸前高田市 園芸団地が始動 東日本大震災4年	日本農業新聞	27.3.11
環境部			
病理昆虫研究室			
	ホウレンソウ萎凋病 転炉スラグまき軽減 岩手県農研 低コストで土壌改良	日本農業新聞	26.4.3
	施設パブリカのアザミウマ害 防除に天敵・スワルスキー 作業大幅に省力化 岩手県農研	日本農業新聞	26.4.15
	●ヒメボクトウの薬剤防除 7月上旬が有効 岩手県農業研究センター	日本農業新聞	26.8.29
	転炉スラグの土壌病害防除 pH7.5が効果 盛岡で発表会	日本農業新聞	26.12.17

部所名	記事見出し(●は投込記事)	掲載紙	掲載年月日
病虫害防除部			
病虫害防除課			
	カメムシ防除徹底を 全域に注意報	岩手日日新聞	26.8.1
畜産研究所			
家畜育種研究室			
	黒豚に飼料用米75%給与 脂肪率高く肉質改善 岩手県農研センター	日本農業新聞	26.11.14
家畜飼養・飼料研究室			
	飼料用米活用へ盛岡市でシンポ 耕畜両農家に利益を 連携構築 地域挙げて	日本農業新聞	26.11.27
外山畜産研究室			
	黒毛繁殖牛 寒冷地でも冬放牧可能 健康、繁殖に影響なし 東北農研と岩手県農研 畜舎増やさず 規模拡大	日本農業新聞	27.2.18
県北農業研究所			
園芸研究室			
	タマネギ 東北/北陸 春まきで新作的 端境期7～9月出荷 主産地並み収量確保 東北農研など	日本農業新聞	27.2.25
作物研究室			
	●ゆいこがね栽培開始 県北農業研究所(軽米)開発アワ新品種 鮮やかな黄色特徴	岩手日報	26.6.3
	雑穀菓子 岩手大生が開発へ 同大で試食会 アワ新品種など活用 県内起業に提案目指す	岩手日報	26.6.7
	「きらほ」地域の米に 二戸 生産拡大へ研修会	岩手日報	26.7.3
	●県北農業のわざと情報共有 軽米・県公開デー	岩手日報	26.8.6
	県産雑穀に熱い視線 軽米などで視察会 料理研究者ら参加	岩手日報	26.9.18
	県産雑穀 焼き菓子に ブルージュ(花巻) 県、岩手大と連携開発	岩手日報	26.11.21
	発売1年 鯖寿司PR デザイン協力の大学生 花巻でニーズ調査	岩手日報	27.2.19

7 テレビ・ラジオ放送

(1) テレビ

部所名	出演者	内 容	放送局名	放送年月日	投込み有無
プロジェクト推進室		沿岸農業復興に向けて水稲直播栽培現地実証試験を開始	NHK盛岡 テレビ岩手 IBC岩手放送テレビ	26.5.14 26.5.14 26.5.14	有
企画管理部 研究企画室		参観デー	テレビ岩手 北上ケーブルテレビ	26.9.5	有
企画管理部 総務課		棚田で田植え	IBC岩手放送テレビ テレビ岩手 NHK盛岡	26.6.4 26.6.4 26.6.4	有
技術部 果樹研究室		リンゴ産地復活を 陸前高田 早期再生へセミナー	テレビ岩手	26.6.25	有
技術部 作物研究室	菅原浩視	コメ新品種開発最前線 岩手107号、コシヒカリを超える米	NHK盛岡	26.11.12	無
技術部 作物研究室		新品種のコメ 岩手107号	テレビ岩手	26.11.26	無
環境部 病理昆虫研究室	羽田 厚	りんご園地におけるヒメボクトウ若令幼虫の効果的防除方法	IBC岩手放送テレビ	26.5.26	有
県北農業研究所 作物研究室		雑穀の新品種を使った菓子を販売	NHK盛岡	26.11.20	無
県北農業研究所 作物研究室		県独自品種の雑穀使用 岩手大生が洋菓子共同開発	テレビ岩手	26.11.20	無

(2) ラジオ

部所名	出演者氏名	内 容	放送局名	放送年月日	投込み有無
企画管理部 農業科学博物館	藤原 勝栄	第62回企画展「養蚕と自給の製糸用具」の紹介(中継インタビュー)	エフエム岩手	26.11.3	無
県北農業研究所		番組名: 振興局にきいてみよう 内容: 研究内容と一般公開デーの紹介	カシオペアFM	26.8.26	有

8 指導資料等掲載

部所・研究室名	執筆者氏名	タイトル	掲載資料名	発行年月
企画管理部 農業経営研究室	村上 和史	経営成長の管理	平成26年度いわてアグリフロンティアスクール講義資料	26.6
技術部 果樹研究室	浅川 知則	果樹雑草防除及び果樹用成長調整剤使用指針	平成27年度 岩手県農作物病害虫・雑草防除指針	27.3
	小原 繁 佐々木 真人 及川 耳呂 川守田 真紀 浅川 知則	果樹指導要項	平成27年度 果樹指導要項	27.3
作物研究室	尾形 茂	雑草防除(水稲)	平成27年度岩手県農作物病害虫・雑草防除指針	27.3
	荻内 謙吾 小原 公則	雑草防除(畑作物)	平成27年度岩手県農作物病害虫・雑草防除指針	27.3
野菜花き研究室	山口 貴之	防除指導資料 (野菜雑草防除及び野菜成長調整剤)	平成27年度岩手県農作物病害虫・雑草防除指針	27.3
	阿部 弘	防除指導資料 (花き雑草防除及び花き成長調整剤)	平成27年度岩手県農作物病害虫・雑草防除指針	27.3
環境部 生産環境研究室	数藤 慶亮	共通編:転作田の樹園地化 土壌改良と地力の維持、増進 排水対策 りんごほか:土壌管理と施肥ほか	果樹指導要項	27.3
	小林 卓史	ぶどう:醸造用ぶどうの施肥 土壌管理と施肥 生理障害	果樹指導要項	27.3
	菊地 淑子	りんご:貯槽 西洋なし:追熟、貯蔵	果樹指導要項	27.3
病理昆虫研究室	多田 典穂	防除指導資料(野菜害虫)	平成27年度岩手県農作物病害虫・雑草防除指針	27.3
	富永 朋之	防除指導資料(果樹・花き病害)	平成27年度岩手県農作物病害虫・雑草防除指針	27.3
	羽田 厚	防除指導資料(果樹・花き害虫)	平成27年度岩手県農作物病害虫・雑草防除指針	27.3
	菅 広和	防除指導資料(畑作、土壌病害)	平成27年度岩手県農作物病害虫・雑草防除指針	27.3
	小山田 早希	防除指導資料(野菜病害)	平成27年度岩手県農作物病害虫・雑草防除指針	27.3
	菅 広和	防除指導資料(水稲病害、資材消毒、展着剤の利用)	平成27年度岩手県農作物病害虫・雑草防除指針	27.3
	久保田 真衣	防除指導資料(水稲・畑作害虫、土壌害虫、鳥獣害防除)	平成27年度岩手県農作物病害虫・雑草防除指針	27.3
	多田 典穂	施設果菜類における天敵製剤と物理的防除を組み合わせた害虫防除マニュアル Ver1.0	岩手県天敵マニュアル(PDF)	26.4

部所・研究室名	執筆者 氏名	タイトル	掲載資料名	発行年月
病理昆虫研究室	菅 広和	水稻、小麦、大豆の採種ほ基本防除体系(病害防除)	平成27年度主要農作物採種ほ病虫害基本防除体系	27.3
	久保田 真衣	水稻、小麦、大豆の採種ほ基本防除体系(虫害防除)	平成27年度主要農作物採種ほ病虫害基本防除体系	27.3
病虫害防除部 病虫害防除課	山本 明日香	農薬安全使用指針	平成27年度岩手県農作物病虫害・雑草防除指針	27.3
畜産研究所 家畜飼養・飼料研究室	尾張 利行	雑草防除(飼料作物)	平成27年度岩手県農作物病虫害・雑草防除指針	27.3
	尾張 利行 佐藤 まり子 山形 広輔	牧草、飼料作物栽培技術指導資料	平成27年度牧草飼料作物生産利用指針	27.3
外山畜産研究室	佐々木 正俊	分娩後の繁殖成績、産子の体重と発育、作業時間	農研機構 黒毛和種繁殖雌牛冬季屋外飼養普及用パンフレット	26.12
県北農業研究所 園芸研究室	鹿糠 美雪	作型と品種、栽培技術	露地輪ぎく「芽なし菊栽培マニュアル」H27.3改定	27.3

9 図書資料収集・提供

項目	冊数・人数
総蔵書数	71,207 冊
平成26年度収集図書数	455 冊
学会誌	29 冊
資料	149 冊
研究報告	131 冊
気象	4 冊
記録誌	0 冊
国関係刊行物	0 冊
社団法人	3 冊
財団法人	15 冊
図鑑	2 冊
総記	29 冊
単行本	28 冊
定期	1 冊
統計	7 冊
図書	8 冊
洋雑誌	5 冊
CD-ROM	17 冊
雑誌	27 冊
図書室利用者数(延べ)	222 名
同貸し出し冊数	405 冊

※数値はいずれもセンター本部のみ(2015/3/31現在)

10 ホームページ

項目		件数	内訳
入力件数	研究レポート	100	平成26年度発行分
	試験研究成果	44	平成26年度試験研究成果書
	研究報告類	4	農業研究センター研究報告 第13号
	らぼ・れたあ	61	No. 1~61(研究トピックス)
	行事予定	4	参観デー、親子そばづくり体験、親子松飾りづくり体験
	各種資料	0	
	農業科学博物館	5	企画展第60~63回、農業ふれあい公園だより Vol.21
	その他	12	月別アクセス状況
アクセス件数	トップページ	34,082	平成26年度分
	総ページビュー	4,299,683	平成26年度分

V 指導・啓発活動

V 指導・啓発活動

1 技術伝達研修等への対応

担当部所	開催期日	開催場所	内 容	参集人員
農業研究センター主催				
県北農業研究所 園芸研究室	26.7.25	軽米町(県北農業研究所)、九戸村	平成26年度二戸地域春まきタマネギ現地検討会	36名
	26.9.5	軽米町 (県北農業研究所)	一般公開デーほうれんそうセミナー (ハウレンソウケナガコナダニ、省力化事例、根切り機実演)	103名
県北農業研究所 作物研究室	26.9.5	軽米町 (県北農業研究所)	一般公開デー雑穀セミナー ～ 雑穀でおいしく健康に～ (雑穀機械移植実演)	60名
	26.10.16	二戸市 (二戸市金田一)	平成26年度組織営農課題にかかる現地水稻乾田直播収穫実証	10名
	27.3.5	二戸市 (二戸パークホテル)	中山間地域における収益性の高い組織営農確立実証にかかる平成26年度実績検討会ならびに平成27年度計画検討会	19名
【新技術・普及活動検討会】(中央農業改良普及センター主催)				
畜産研究所 家畜育種研究室 家畜飼養・飼料研究室 種山畜産研究室	27.1.28	滝沢市 (畜産研究所)	平成26年度新技術・普及活動検討会(畜産)	19名
プロジェクト推進室 企画管理部 農業経営研究室 技術部 作物研究室 環境部 生産環境研究室 病理昆虫研究室 県北農業研究所 作物研究室	27.1.22	北上市 (農業研究センター)	平成26年度新技術・普及活動検討会(作物部門)	31名
技術部 野菜花き研究室 環境部 生産環境研究室 病理昆虫研究室 県北農業研究所 園芸研究室	27.1.27	北上市 (農業研究センター)	平成26年度新技術・普及活動検討会(花き) りんどう・小菊技術対策部会	24名
技術部 果樹研究室 環境部 病理昆虫研究室	27.1.22～23	北上市 (農業研究センター)	平成26年度新技術・普及活動検討会(果樹)	25名
企画管理部 農業経営研究室 技術部 野菜花き研究室 環境部 病理昆虫研究室 県北農業研究所 園芸研究室	27.1.22～23	北上市 (農業研究センター)	平成26年度新技術・普及活動検討会(野菜)	37名
企画管理部 農業経営研究室	27.1.23	金ヶ崎町 (岩手県立農業大学校)	平成26年度新技術・普及活動検討会(経営)	19名

担当部所	開催期日	開催場所	内 容	参集人員
【普及指導員専門技術研修】(中央農業改良普及センター主催)				
技術部				
果樹研究室	26.5.13 26.6.16 26.9.16 26.10.6 26.11.27	北上市 (農業研究センター)	果樹基本研修	延べ15名
	27.2.16～18	北上市 (農業研究センター)	スペシャリスト養成研修(りんご)	1名
	26.6.18 26.7.10 27.2.16～18	北上市 (農業研究センター)	スペシャリスト養成研修(ぶどう)	1名
	26.6.10 27.2.23	北上市 (農業研究センター)	スペシャリスト養成研修(核果類)	2名
	26.9.18 27.3.5	北上市 (農業研究センター)	スペシャリスト養成研修(地域特産果樹)	2名
作物研究室	26.6.18,20	北上市 (農業研究センター)	普及指導員専門技術基本研修(作物Ⅰ)	4名
	26.8.20,22	北上市 (農業研究センター)	普及指導員専門技術基本研修(作物Ⅱ)	4名
	26.10.9～10	北上市 (農業研究センター)	普及指導員専門技術基本研修(作物Ⅲ)	4名
	26.11.17	北上市 (農業研究センター)	普及指導員専門技術基本研修(作物Ⅳ)	4名
野菜花き研究室	26.5.27～30	北上市 (農業研究センター)	普及指導員専門技術基本研修Ⅰ(野菜)	2名
	26.7.1～3	北上市 (農業研究センター)	普及指導員専門技術基本研修Ⅱ(野菜)	2名
	26.9.16～19	北上市 (農業研究センター)	普及指導員専門技術基本研修Ⅳ(野菜)	2名
	26.7.14	北上市 (農業研究センター)	スペシャリスト養成研修(野菜・なす)	3名
	26.6.11	北上市 (農業研究センター)	スペシャリスト養成研修(野菜・アスパラガス)	5名
	26.11.21	北上市 (農業研究センター)	スペシャリスト養成研修(野菜・アスパラガス)	5名
	26.6.10	北上市(農業研究センター)・花巻市	スペシャリスト養成研修(花き)	7名
南部園芸研究室	26.5.13	陸前高田市 (南部園芸研究室)	スペシャリスト養成研修(いちご・Ⅰ期)	5名
	26.9.10	陸前高田市 (南部園芸研究室)	スペシャリスト養成研修(いちご・Ⅱ期)	5名
	26.9.16	陸前高田市 (南部園芸研究室)	普及指導員専門技術基本研修(野菜)	2名

担当部所	開催期日	開催場所	内 容	参集人員
環境部 生産環境研究室	26.10.8	北上市 (農業研究センター)	普及指導員専門技術基本研修(果樹)	1名
	26.10.8	北上市 (農業研究センター)	スペシャリスト養成研修(果樹:土壌)	1名
病理昆虫研究室	26.6.19	北上市 (農業研究センター)	平成26年度普及指導員専門技術基本研修(果樹Ⅱ)	3名
	27.2.6	北上市 (農業研究センター)	平成26年度水稻直播栽培実績検討会	1名
畜産研究所 全研究室	26.7.28~8.1	滝沢市、盛岡市 (畜産研究所)	普及指導員専門技術基本研修Ⅰ(畜産)	2名
家畜飼養・飼料研究室	26.9.26	滝沢市 (畜産研究所)	普及指導員専門技術研修(畜産・Ⅱ期) ・トウモロコシの収穫・調製技術	2名
種山畜産研究室	26.9.24	住田町 (種山畜産研究室)	普及指導員専門技術研修(畜産・Ⅱ期) ・種雄牛造成、凍結精液生産	2名
	27.2.5	滝沢市 (畜産研究所)	スペシャリスト養成研修(肉用牛) ・繁殖雌牛の評価、交配種雄牛の選定方法	2名
県北農業研究所 園芸研究室	26.8.20	軽米町 (県北農業研究所)	普及指導員専門技術基本研修(花き・Ⅱ期)	1名
	26.8.19~22	軽米町 (県北農業研究所)	普及指導員専門技術基本研修(野菜・Ⅲ期)	2名

2 現地指導・研修会等への講師派遣

担当部所 研究室 担当者	内 容	年月日	依 頼 者	場 所
プロジェクト推進室				
藤田 智美	平成26年度岩手県産麦現地検討会 「小麦の単条広幅小畦立て播種栽培について」	26.6.17	岩手県農業再生協議会	農研センター、花巻市、矢巾町
寺田 道一 臼井 智彦	水稻直播栽培現地検討会	26.6.19	岩手県直播研究会	農研センター、花巻市
寺田 道一	日本植物防疫協会シンポジウム「直播水稻と果樹枝幹害虫の防除を考える」	26.8.28	日本植物防疫協会	ホテルシティプラザ北上
藤田 智美	平成26年度岩手県産大豆現地研修会 「転換畑大豆の高単収総合実証について(現地研修)」	26.9.11	岩手県農業再生協議会	農研センター、奥州市
寺田 道一 臼井 智彦	八幡平管内水稻直播実績検討会	27.1.14	八幡平農業改良普及センター	八幡平市
寺田 道一	集落組織経営セミナー飼料用米の栽培技術	27.1.20	二戸農業改良普及センター	二戸市
寺田 道一 臼井 智彦	平成26年度水稻直播栽培実績検討会	27.2.6	中央農業改良普及センター	農研センター
寺田 道一 八重樫 耕一	平成26年度胆江地域水稻直播栽培実績検討会	27.3.3	奥州農業改良普及センター	奥州合庁江刺分庁舎
寺田 道一	平成26年度 農業機械開発改良試験研究打合せ会議「大規模水田営農を支える省力・低コスト技術の確立」	27.3.13	(独)生研センター	生研センター
企画管理部				
農業経営研究室				
村上 和史	第1回いわてリーディング経営体育成支援事業選定委員会	26.4.30	農業振興課	盛岡市
村上 和史	いわてアグリフロンティアスクール講義『経営成長の管理』	26.6.19	岩手大学	盛岡市
村上 和史	第2回いわてリーディング経営体育成支援事業選定委員会	26.8.1	農業振興課	盛岡市
村上 和史	土地改良事業営農推進対策委員会・幹事会合同現地検討会	26.9.10	農村計画課	盛岡市
村上 和史	さんりく園芸レベルアップセミナー(第4回)	26.12.12	沿岸広域振興局	釜石市
村上 和史	特産農作物生産振興共進会(ホップ部門)審査委員会	26.12.19	農産園芸課	盛岡市
村上 和史	第3回いわてリーディング経営体育成支援事業選定委員会	27.1.9	農業振興課	盛岡市
村上 和史	陸前高田市大規模園芸施設運営協議会	27.1.27	陸前高田市	陸前高田市
村上 和史	土地改良事業営農推進対策委員会中央幹事会	27.2.2	農村計画課	盛岡市
村上 和史	特産農作物生産振興共進会(タバコ部門)審査委員会	27.3.25	農産園芸課	盛岡市
前山 薫	農業農村整備事業地区担い手育成協議会	26.11.12	農村建設課	盛岡市
前山 薫	県南広域振興圏農政部ワーキンググループ「生き残る!米産地WG」第3回定例会議	26.7.22	県南広域振興局	農研センター
前山 薫	県南広域振興圏農政部ワーキンググループ「生き残る!米産地WG」第4回定例会議	26.8.7	県南広域振興局	農研センター
前山 薫	県南広域振興圏農政部ワーキンググループ「生き残る!米産地WG」第5回定例会議	26.9.3	県南広域振興局	農研センター
前山 薫	県南広域振興圏農政部ワーキンググループ「生き残る!米産地WG」第6回定例会議	26.10.24	県南広域振興局	農研センター

担 当 部 所 研究室 担当者	内 容	年 月 日	依 頼 者	場 所
農業経営研究室				
前山 薫	県南広域振興圏農政部ワーキンググループ「生き残る！米産地WG」第7回定例会議	26.11.11	県南広域振興局	農研センター
前山 薫	県南広域振興圏農政部ワーキンググループ「生き残る！米産地WG」第8回定例会議	26.12.4	県南広域振興局	農研センター
前山 薫	県南広域振興圏農政部ワーキンググループ「生き残る！米産地WG」第9回定例会議	27.1.27	県南広域振興局	農研センター
前山 薫	第1回農業担い手対策等課題解決検討チーム会	26.5.2	農業振興課	盛岡市
前山 薫	第2回農業担い手対策等課題解決検討チーム会	26.7.29	農業振興課	盛岡市
前山 薫	第3回農業担い手対策等課題解決検討チーム会	26.11.11	農業振興課	盛岡市
前山 薫	技術体系・営農類型策定ワーキングチーム会議(第14回)	26.7.16	農業振興課	盛岡市
前山 薫	技術体系・営農類型策定ワーキングチーム会議(第15回)	26.9.17	農業振興課	盛岡市
村上 和史 前山 薫	技術体系・営農類型策定ワーキングチーム会議(第16回)	27.2.16	農業振興課	盛岡市
技術部				
果樹研究室				
小原 繁 佐々木 真人 及川 耳呂 川守田 真紀 浅川 知則	純情りんごコンテスト審査(1期)	26.10.23	全農岩手県本部	北上市 (農研センター)
小原 繁 佐々木 真人 及川 耳呂 川守田 真紀 浅川 知則	純情りんごコンテスト審査(2期)	26.11.27~28	全農岩手県本部	北上市 (農研センター)
佐々木 真人	JA江刺 りんご品評会(ふじ)	26.10.24	岩手江刺農業協同組合	奥州市
及川 耳呂	岩手県果樹協会平成26年度冬期講習会 第22回通常総会	27.1.26	岩手県果樹協会	花巻市
浅川 知則	農業大学校 講師(作物増殖・果樹)	26.10.6	岩手県立農業大学校	金ケ崎町
小原 繁	JA花巻生産者の集い	27.2.16	花巻農業協同組合	花巻市
作物研究室				
木内 豊 佐々木 仁 菅原 浩視 川代 早奈恵	良食味品種開発状況報告	26.4.14	農産園芸課	盛岡市(岩手県庁)
木内 豊 佐々木 仁 菅原 浩視 川代 早奈恵	水稻品種の開発進捗状況報告	26.10.9	農産園芸課	盛岡市(岩手県庁)
佐々木 仁 菅原 浩視	県議会農林委員会研修	26.5.29	県議会事務局	北上市(生物工学 研究センター)
佐々木 仁 小原 公則	麦共励会表彰式・麦作現地研修会	26.6.17	農産園芸課	北上市 (農研センター)
佐々木 仁 菅原 浩視	水稻品種開発に係る情報交換会	26.9.5	農産園芸課	北上市 (農研センター)
佐々木 仁 菅原 浩視	水稻品種開発に係る視察研修	26.9.11	農産園芸課・一関市	北上市 (農研センター)

担当部所 研究室 担当者	内 容	年月日	依 頼 者	場 所
作物研究室				
佐々木 仁 菅原 浩視 荻内 謙吾 小原 公則	小麦新品種「銀河のちから」試食検討会	27.2.19	東北農業研究センター・岩手県	盛岡市(工業技術センター)
佐々木 真人 菅原 浩視	盛岡市老人大学	26.10.2	盛岡市	北上市 (農研センター)
佐々木 仁 菅原 浩視 荻内 謙吾 小原 公則	大豆品種「シュウリュウ」の広域適普及促進のための現地実証試験における技術情報交換会	27.3.27	東北農業研究センター・岩手県	北上市 (農研センター)
菅原 浩視	水稻大豆技術研修	26.8.23	福島県喜多方地域農業委員会	北上市 (農研センター)
菅原 浩視	良食味品種系統打ち合わせ	26.9.5	農産園芸課	北上市 (農研センター)
菅原 浩視	卒業研究研修会	26.10.28	岩手県立農業大学校	北上市 (農研センター)
菅原 浩視 太田 裕貴	いわての美味しいお米生産・販売戦略推進会議試食	26.10.29	農産園芸課	盛岡市(産ビル)
菅原 浩視	平成26年純情産地いわて「担い手経営力アップセミナー」	26.12.16	全農いわて営農対策部	花巻市石鳥谷 (JA花巻石鳥谷支店)
菅原 浩視	稲作経営者研修会	26.12.19	岩手県認定農業者組織連絡協議会 岩手県農業会議	奥州市 (薬師堂温泉)
菅原 浩視 太田 裕貴	新品種食味検討会	27.2.20	農産園芸課	盛岡市(岩手県庁)
菅原 浩視	北上地域水稻生産部会視察研修会	27.2.13	花巻農業協同組合北上地域営農センター 北上地域水稻生産部会	北上市 (農研センター)
菅原 浩視	「江刺金札米」全国食味ランキング特A20回獲得記念祝賀会	27.3.13	岩手江刺農業協同組合 江刺金札名販売対策委員会	奥羽市江刺区
菅原 浩視	良食味品種研修	27.3.17	岩手ふるさと農業協同組合稲作部会衣川支部	北上市 (農研センター)
仲條 眞介	新規就農者研修	26.9.26	農業大学校	北上市 (農研センター)
仲條 眞介	水稻品種・病虫害研修	27.3.3	新潟県中越農業共済組合	北上市 (農研センター)
小館 琢磨	直播研修会	26.6.27	八幡平農業普及センター	八幡平市
川代 早奈恵	農業大学校(作物増殖)	26.8.25	岩手県立農業大学校	農業大学校
川代 早奈恵	胆江地方農林振興協議会農産園芸部会 水稻有望系統食味試験	26.11.11	胆江地方農林業振興協議会長	江刺分庁舎
荻内 謙吾	平成26年度岩手県産大豆現地検討会	26.9.16	農産園芸課	奥州市 北上市(農業研究センター)
荻内 謙吾	平成27年度卒業研究計画発表会	27.3.11	岩手県立農業大学校	金ヶ崎町 (農業大学校)
尾形 茂	直播現地検討会	26.6.19	岩手県直播研究会	北上市 (農研センター)
尾形 茂	平成26年産水稻種子現物品検討会	26.10.15	公益社団法人岩手県農産物改良種苗センター	北上市 (農業研究センター)
尾形 茂	平成26年度岩手県農薬管理使用アドバイザー養成研修	27.1.14 27.1.20	岩手県	滝沢市(アピオ) 北上市(農業研究センター)

担当部所 研究室 担当者	内 容	年月日	依 頼 者	場 所
作物研究室				
尾形 茂	農薬適正販売研修会	27.1.30	岩手県農薬卸商業協同組合	盛岡八幡宮参集殿
永富 巨人	麦採種部会研修	26.6.20	公益社団法人岩手県農産物改良種苗センター	北上市 (農研センター)
小原 公則	東北228号現地検討会	26.6.18	東北農業研究センター	紫波町 北上市(農研センター)
野菜花き研究室				
高橋 守 内藤 善美 中里 崇	りんどう採種技術検討会	26.6.3	全農岩手県本部	北上市 (農研センター) 金ヶ崎町 (採種ほ場)
山口 貴之	金ヶ崎町促成アスパラ研究会	26.6.13	金ヶ崎促成アスパラ研究会	金ヶ崎町
佐々木 仁 高橋 守 松浦 拓也 山口 貴之 藤尾 拓也	平成26年度第1回岩手野菜研究会談話会研修会	26.6.16	岩手野菜研究会談話会	盛岡市 (岩手大学)
阿部 弘	JA新しいわて八幡平花卉生産部会りんどう圃場巡回指導会	26.7.3~4	農産園芸課	八幡平市
星 伸枝	りんどう研究会	26.6.27	りんどう研究会	盛岡市 (岩手大学)
藤尾 拓也	技術対策部会第1回トマト現地研修会	26.7.8	中央農業改良普及センター 県域普及グループ	一戸町
松浦 拓也	技術対策部会第1回ピーマン現地研修会	26.7.10	中央農業改良普及センター 県域普及グループ	八幡平市
中里 崇	平成26年度第2回鉢花りんどう圃場巡視会	26.7.11	JAいわて花巻	花巻市、北上市
山口 貴之	金ヶ崎町促成アスパラ研究会	26.7.15	金ヶ崎促成アスパラ研究会	金ヶ崎町
星 伸枝	岩手県園芸育種研究会りんどう部会	26.8.19	農産園芸課	八幡平市
山口 貴之	奥中山促成アスパラガス研修会	26.9.4	JA新しいわて	一戸町
高橋 守 中里 崇	リンドウ新品種説明会	26.8.29	JA岩手ふるさとりんどう専門部	奥州市
佐々木 仁 高橋 守 内藤 善美	いわてフラワーコンテスト2014審査会	26.9.4	全農岩手県本部、農産園芸課	盛岡市 (イオンモール盛岡)
内藤 善美	リンドウ採種技術検討会	26.9.2	(公社)岩手県農産物改良種苗センター	金ヶ崎町
高橋 守	技術対策部会第2回ピーマン現地研修会	26.9.8	中央農業改良普及センター 県域普及グループ	奥州市
高橋 守 内藤 善美 星 伸枝 阿部 弘	技術対策部会リンドウ現地研修会	26.9.10	中央農業改良普及センター 県域普及グループ	一関市
山口 貴之	金ヶ崎町促成アスパラ研究会	26.10.3	金ヶ崎促成アスパラ研究会	金ヶ崎町
内藤 善美	第60回全日本花卉品種審査会(ハボタン)	26.11.6~7	日本種苗協会	山形県
藤尾 拓也	トマト施肥管理技術向上研修会	26.11.27	JA岩手江刺	奥州市
高橋 守 山口 貴之	金ヶ崎町促成アスパラ研究会	27.1.20	金ヶ崎促成アスパラ研究会	金ヶ崎町
高橋 守	平成26年度土地改良事業営農推進対策委員会中央幹事会	27.2.2	農村計画課	盛岡市

担当部所 研究室 担当者	内 容	年月日	依 頼 者	場 所
野菜花き研究室				
松浦 拓也	技術対策部会なす実績検討会	27.2.5	中央農業改良普及センター 県域普及グループ	奥州市
内藤 善美 中里 崇 阿部 弘	花き専門職員合同研修会	27.2.20	中央農業改良普及センター 県域普及グループ	盛岡市
佐々木 仁 松浦 拓也 山口 貴之 藤尾 拓也	平成26年度第3回岩手野菜研究会談話会研修会	27.3.6	岩手野菜研究会談話会	盛岡市 (岩手大学)
高橋 守 内藤 善美	農業大学校卒業研究計画発表会	27.3.11	農業大学校	金ヶ崎町
藤尾 拓也	ういずOne研究会	27.3.19	JA全農	東京都
環境部				
多田 勝郎	いわてアグリフロンティアスクール	26.6.24 26.7.2	岩手大学	盛岡市 (岩手大学)
生産環境研究室				
桐山 直盛	JA新いわて りんどう指導会	26.10.21 26.11.14	新岩手農業協同組合 県北園芸センター	八幡平市安代
小林 卓史 島 輝夫	INS未利用資源活用研究会、土づくり研究会、いわて雑穀研究会合同セミナー	27.3.11	INS土づくり研究会	盛岡市
病理昆虫研究室				
多田 勝郎	消費者交流会	26.7.5	(有)ピース	江刺区内圃場
大友 令史	消費者交流会	26.7.5	(有)ピース	江刺区内圃場
大友 令史	日本植物防疫協会シンポジウム「直播水稲と果樹枝幹害虫の防除を考える」	26.8.28	日本植物防疫協会	ホテルシティプラザ 北上
大友 令史	第44回(平成26年度)岩手県ホップ生産者研修会	27.2.10	岩手県ホップ連合会	エスポワールいわて
多田 典穂	平成26年度天敵昆虫利用研修会	26.4.17	中央農業改良普及センター県域グループ	農研センター会議室
多田 典穂	岩手県農業研究センター参観デー技術セミナー	26.9.5	農業研究センター	農研センター会議室
多田 典穂	平成26年度病害虫防除実績検討会	26.12.4	病害虫防除所	農研センター会議室
多田 典穂	平成26年度園芸産地改革戦略推進会議技術対策部会・全農産地改革ネットワーク合同 果菜3品実績検討会	26.12.8	推進会議会長(農産園芸課総括課長)	農研センター会議室
多田 典穂	平成26年度新技術・普及活動検討会(野菜部門)	27.1.22~23	中央農業改良普及センター県域グループ	農研センター会議室
富永 朋之	平成26年度園芸産地改革戦略推進会議技術対策部会・全農産地改革ネットワーク合同 ほうれんそう安定生産技術検討会	26.5.8	推進会議会長(農産園芸課総括課長)	JA全農いわて園芸部硯北センター
富永 朋之	いちご苗生産指導	26.5.28	公益社団法人 岩手県農産物改良種苗センター	岩手県農産物改良種苗センター
富永 朋之	平成26年度普及指導員専門技術基本研修(果樹Ⅱ)	26.6.19	中央農業改良普及センター県域グループ	農研センター会議室・圃場
富永 朋之	果樹栽培基礎知識講習会	26.7.29	奥州農業改良普及センター	農研センター圃場
富永 朋之	平成26年度岩手県植物防疫関係者技術研修会	26.11.27	岩手県植物防疫協会	ホテル志戸平
富永 朋之	平成26年度新技術・普及活動検討会(果樹部門)	27.1.22	中央農業改良普及センター県域グループ	農研センター会議室

担 当 部 所 研究室 担当者	内 容	年月日	依 頼 者	場 所
病理昆虫研究室				
羽田 厚	平成26年度普及指導員専門技術基本研修(果樹Ⅱ)	26.6.19	中央農業改良普及センター県域グループ	農研センター会議室・圃場
羽田 厚	果樹栽培基礎知識講習会	26.7.29	奥州農業改良普及センター	農研センター圃場
羽田 厚	日本植物防疫協会シンポジウム「直播水稲と果樹枝幹害虫の防除を考える」	26.8.28	日本植物防疫協会	ホテルシティプラザ北上
羽田 厚	日本ダニ学会第23回大会 シンポジウム「リンゴ栽培におけるハダニ防除の現状」	26.10.18～19	日本ダニ学会	盛岡市 アイーナ
羽田 厚	平成26年度一関地方りんご病害虫防除歴編集会議	27.1.14	一関地方農林業振興協議会	一関地区合同庁舎会議室
羽田 厚	平成26年度新技術・普及活動検討会(花き部門)	27.1.27	中央農業改良普及センター県域グループ	農研センター会議室
菅 広和	平成26年度岩手県病害虫防除員協議会・岩手県病害虫防除所合同病害虫防除指導研修会	26.6.3	病害虫防除所	農研センター会議室
菅 広和	平成26年度水稲直播栽培現地検討会	26.6.19	農産園芸課	農研センター会議室
菅 広和	ホップ技術検討会	26.11.26	全国ホップ連合会	メルパルク仙台
菅 広和	平成26年度岩手県植物防疫関係者技術研修会	26.11.27	岩手県植物防疫協会	ホテル志戸平
菅 広和	平成26年度病害虫防除実績検討会	26.12.3	病害虫防除所	農研センター会議室
菅 広和	平成26年度水沢地域水稲生育展示圃実績検討会	26.12.15	岩手ふるさと農協	水沢サンパレスホテル会議室
菅 広和	平成26年度岩手県農薬管理使用アドバイザー養成研修	27.1.14	農業普及技術課	滝沢市 産文センター
菅 広和	平成26年度岩手県農薬管理使用アドバイザー養成研修	27.1.20	農業普及技術課	農研センター会議室
菅 広和	平成26年度新技術・普及活動検討会(作物部門)	27.1.22～23	中央農業改良普及センター県域グループ	農研センター会議室
菅 広和	平成27年度ホップ栽培歴検討会・平成26年度地域特産作物(ホップ)への農薬適用拡大加速化事業実績検討会	27.1.22～23	岩手県農業共済組合連合会 岩手県ホップ連合会	ホテル愛真館
菅 広和	農薬適正販売研修会	27.1.30	岩手県農薬卸商業協同組合	盛岡八幡宮「参集殿」
菅 広和	平成26年度水稲直播栽培実績検討会	27.2.6	中央農業改良普及センター県域グループ	農研センター会議室
久保田 真衣	平成26年度岩手県病害虫防除員協議会・岩手県病害虫防除所合同病害虫防除指導研修会	26.6.3	病害虫防除所	農研センター会議室
久保田 真衣	平成26年度水稲直播栽培現地検討会	26.6.19	農産園芸課	農研センター会議室
久保田 真衣	花巻農業高校 職場体験	26.7.30	花巻農業高校	農研センター圃場
久保田 真衣	平成26年度岩手県植物防疫関係者技術研修会	26.11.27	岩手県植物防疫協会	ホテル志戸平
久保田 真衣	平成26年度病害虫防除実績検討会	26.12.3	病害虫防除所	農研センター会議室
久保田 真衣	平成26年度園芸産地改革戦略推進会議技術対策部会・全農産地改革ネットワーク合同 果菜3品実績検討会	26.12.8	推進会議会長(農産園芸課総括課長)	農研センター会議室
久保田 真衣	平成26年度岩手県農薬管理使用アドバイザー養成研修	27.1.14	農業普及技術課	滝沢市 産文センター
久保田 真衣	平成26年度岩手県農薬管理使用アドバイザー養成研修	27.1.20	農業普及技術課	農研センター会議室

担当部所 研究室 担当者	内 容	年月日	依 頼 者	場 所
病理昆虫研究室				
久保田 真衣	平成26年度新技術・普及活動検討会(作物部門)	27.1.22～23	中央農業改良普及センター 県域グループ	農研センター会議室
久保田 真衣	平成26年度水稲直播栽培実績検討会	27.2.6	中央農業改良普及センター 県域グループ	農研センター会議室
久保田 真衣	由利病害虫防除員協議会視察研修	27.2.13	由利病害虫防除員協議会	農研センター会議室
小山田 早希	平成26年度園芸産地改革戦略推進会議技術対策部会・全農産地改革ネットワーク合同・第1回きゅうり検討会	26.6.16	推進会議会長(農産園芸課 総括課長)	農研センター会議室
小山田 早希	平成26年度園芸産地改革戦略推進会議技術対策部会・全農産地改革ネットワーク合同・第2回きゅうり検討会	26.8.26	推進会議会長(農産園芸課 総括課長)	農研センター会議室
小山田 早希	平成26年度園芸産地改革戦略推進会議技術対策部会・全農産地改革ネットワーク合同「ほうれんそう実績検討会」	26.12.5	推進会議会長(農産園芸課 総括課長)	農研センター会議室
小山田 早希	平成26年度岩手県農薬管理使用アドバイザー養成研修	27.1.20	農業普及技術課	農研センター会議室
小山田 早希	平成26年度新技術・普及活動検討会(野菜部門)	27.1.22～23	中央農業改良普及センター 県域グループ	農研センター会議室
小山田 早希	キュウリホモプシス根腐病総合防除対策研修会	27.3.10	中央農業改良普及センター 県域グループ	農研センター会議室
病害虫防除部				
病害虫防除課				
佐藤 正昭	JAいわて花巻農薬安全使用(短期暴露)研修	27.1.23	JAいわて花巻	花巻市
佐藤 正昭	全農いわて短期暴露評価研修会	27.2.16	全農岩手県本部	矢巾町
名久井 一樹	第1回りんご病害虫防除研修会	26.6.12	全農岩手県本部	北上市 (農研センター)
名久井 一樹	第2回りんご病害虫防除研修会	26.7.14	全農岩手県本部	北上市 (農研センター)
名久井 一樹	花巻農業高校生職場体験研修	26.7.31	花巻農業高校	北上市 (農研センター)
名久井 一樹	普及指導員スペシャリスト養成研修	26.8.26	中央農業改良普及センター 県域普及グループ	北上市 (農研センター)
名久井 一樹	農薬管理使用アドバイザー更新研修	26.10.15	農業普及技術課	釜石市
名久井 一樹	農薬管理使用アドバイザー更新研修	26.11.17	農業普及技術課	奥州市
名久井 一樹	遠野風の丘りんご病害虫防除研修会	26.12.9	遠野市産直協議会	北上市 (農研センター)
名久井 一樹	盛岡地方りんご病害虫防除検討会	26.12.24	JAいわて中央	盛岡市
名久井 一樹	産直協議会農薬適正使用研修会	27.1.23	遠野市産直協議会	遠野市産直協議会
宍戸 貴洋	県無人ヘリコプタ推進協議会研修会	26.4.25	県無人ヘリ協議会(県農済連)	盛岡市
宍戸 貴洋	病害虫防除員技術研修会	26.6.3	県病害虫防除員協議会	北上市 (農研センター)
宍戸 貴洋	農薬管理使用アドバイザー更新研修	26.10.15	農業普及技術課	釜石市
宍戸 貴洋	県植物防疫関係者技術研修会	26.11.27	県植物防疫協会	花巻市
宍戸 貴洋	農薬適正販売使用研修会	27.1.30	岩手県農薬卸商組合	盛岡市
宍戸 貴洋	病害虫防除員技術研修会	27.2.17	県病害虫防除員協議会	北上市 (農研センター)

担当部所 研究室 担当者	内 容	年月日	依 頼 者	場 所
病害虫防除課				
宍戸 貴洋	新潟県中越農業共済組合研修会	27.3.3	中越農業共済組合	北上市 (農研センター)
吉田 雅紀	新規就農者研修第2回集合研修	26.5.29	農業大学校	農業大学校
吉田 雅紀	農業普及員新任者・普及活動基本研修	26.8.20	中央農業改良普及センター 県域普及グループ	農業大学校
吉田 雅紀	農薬アドバイザー更新研修	26.9.19	農業普及技術課	二戸市
吉田 雅紀	新規就農者ステップアップ講座	26.10.8	宮古地方農振協	宮古市
吉田 雅紀	農薬アドバイザー更新研修	26.10.30	農業普及技術課	盛岡市
吉田 雅紀	県植物防疫関係者技術研修会	26.11.27	県植物防疫協会	花巻市
吉田 雅紀	農業大学校教育科目「応用昆虫学」	26.12.8	農業大学校	北上市 (農研センター)
吉田 雅紀	若手野菜生産者スキルアップ研修会	27.1.9	JA新しいわて東部	岩手町
吉田 雅紀	農薬管理使用アドバイザー養成研修	27.1.14	農業普及技術課	滝沢市
吉田 雅紀	農薬管理使用アドバイザー養成研修	27.1.20	農業普及技術課	北上市 (農研センター)
吉田 雅紀	新技術・普及活動研究会(野菜)	27.1.22	中央農業改良普及センター 県域普及グループ	北上市 (農研センター)
吉田 雅紀	いわて春みどり生産部研修会	27.3.4	JA新しいわて東部	岩手町
佐藤 美和子	ねぎ安定生産技術研修会	26.5.21	全農岩手県本部	矢巾営農センター
佐藤 美和子	JA新しいわて農薬安全使用講習会	26.6.12	JA新しいわて南部	雫石町
佐藤 美和子	りんどう技術対策部会現地検討会	26.9.10	農産園芸課	一関市
佐藤 美和子	農薬アドバイザー更新研修	26.10.30	農業普及技術課	盛岡市
佐藤 美和子	普及指導員スペシャリスト養成研修	26.11.19	中央農業改良普及センター 県域普及グループ	北上市 (農研センター)
佐藤 美和子	農薬アドバイザー更新研修	26.12.5	農業普及技術課	北上市 (農研センター)
佐藤 美和子	農薬管理使用アドバイザー養成研修	27.1.20	農業普及技術課	北上市 (農研センター)
佐藤 美和子	りんどう・小ぎく技術対策部会実績検討会	27.1.27	農産園芸課	北上市 (農研センター)
佐藤 美和子	生産者研修会(農薬安全使用)	27.2.17	県南青果市場	奥州市
山本 明日香	農薬管理使用アドバイザー更新研修	26.11.17	農業普及技術課	奥州市
山本 明日香	農薬管理使用アドバイザー更新研修	26.12.5	農業普及技術課	北上市 (農研センター)
廣田 志紀子	第1回りんご病害虫防除研修会	26.6.12	全農岩手県本部	北上市 (農研センター)
廣田 志紀子	第2回りんご病害虫防除研修会	26.7.14	全農岩手県本部	北上市 (農研センター)
廣田 志紀子	農薬アドバイザー更新研修	26.9.19	農業普及技術課	二戸市

担当部所 研究室 担当者	内 容	年月日	依 頼 者	場 所
畜産研究所				
家畜育種研究室				
児玉 英樹	第57回岩手県家畜共進会日本短角種の部審査員	26.9.5	岩手県畜産協会	雫石町
児玉 英樹	家畜受精卵移植講習会	26.9.8～9, 16,19,22, 24～25, 29～30	畜産課	滝沢村 (畜産研究所)
神山 洋	家畜人工授精講習会	26.10.28	畜産課	農業大学校
児玉 英樹	家畜人工授精講習会	26.11.19	畜産課	農業大学校
神山 洋	家畜人工授精講習会(種雄牛等)	26.11.11	畜産課	農業大学校
神山 洋	家畜飼養管理 I (日本短角種の育種改良について)	26.12.22	岩手県立農業大学校	金ヶ崎町 (農業大学校)
佐々木 康仁	26年度東北地域マッチングフォーラム 飼料用米 給与が畜産物に与えるメリット	26.11.26	(独)野業・食品産業技術総合 研究機構 東北農業研究セン ター	盛岡市
家畜飼養・飼料研究室				
越川 志津	家畜人工授精講習会	26.10.27	畜産課	金ヶ崎町 (農業大学校)
伊藤 孝浩	農業大学校講義(家畜飼養管理 I (酪農):牛群検 定成績見方)	26.11.4	農業大学校	金ヶ崎町 (農業大学校)
越川 志津	農業大学校講義(家畜飼養管理 I (酪農):カウ ンフォートのための飼養管理技術)	27.1.20	農業大学校	金ヶ崎町 (農業大学校)
伊藤 孝浩	家畜人工授精講習会	26.11.11,14	畜産課	金ヶ崎町 (農業大学校)
伊藤 孝浩	家畜商協講習会	26.12.11	流通課	盛岡市
尾張 利行 山形 広輔	岩泉「牛塾」	27.2.10	宮古農林振興センター	岩泉町
外山畜産研究室				
熊谷 光洋	家畜受精卵移植講習会	26.9.10～11	畜産課	滝沢市 (畜産研究所)
太田原 健二	家畜人工授精講習会	26.11.17	畜産課	金ヶ崎町 (農業大学校)
太田原 健二	農業大学校講義	26.12.10	農業大学校	金ヶ崎町 (農業大学校)
佐々木 正俊	子牛市場ワンポイント講座	26.12.3～4 26.12.10～12	全農岩手県本部	奥州市 (県南家畜市場) 雫石町 (中央家畜市場)
種山畜産研究室				
西田 清	肉用牛若手担い手研修会	26.8.28	畜産課	盛岡市
西田 清	子牛市場ワンポイント講習会	26.9.10～11	全農岩手県本部	奥州市 (県南家畜市場)
昆野 勝	家畜受精卵移植講習会	26.9.12,18	畜産課	滝沢市 (畜産研究所)
西田 清	子牛市場ワンポイント講習会	26.9.17,19	全農岩手県本部	雫石町 (中央家畜市場)
澤田 建	子牛市場ワンポイント講習会	26.9.18	全農岩手県本部	雫石町 (中央家畜市場)
澤田 建	家畜衛生及び和牛改良講習会	26.11.5	岩手県北家畜衛生協議会	二戸市

担 当 部 所 研究室 担当者	内 容	年 月 日	依 頼 者	場 所
種山畜産研究室				
西田 清 澤田 建	家畜人工授精講習会	26.11.6	畜産課	住田町(種山)
西田 清	家畜人工授精講習会	26.11.7	畜産課	住田町(種山)
西田 清 澤田 建	家畜人工授精講習会	26.11.10	畜産課	金ヶ崎町 (農業大学校)
西田 清	家畜人工授精講習会	26.11.19,25	畜産課	金ヶ崎町 (農業大学校)
澤田 建	農業大学校講師	26.11.17	農業大学校	金ヶ崎町 (農業大学校)
昆野 勝	農業大学校講師	26.11.27	農業大学校	金ヶ崎町 (農業大学校)
澤田 建	いわてくじ和牛改良組合研修会	26.12.12	いわてくじ和牛改良組合	久慈市
西田 清 澤田 建	現場後代検定枝肉調査・研修会	27.1.26	全農岩手県本部	花巻市
澤田 建	いわて肉用牛生産性向上研修会	27.1.28	畜産課 (いわて肉用牛躍進運動推進 協議会)	滝沢市
澤田 建	黒毛和種子牛生産研修会	27.1.29	宮古農林振興センター	宮古市
西田 清	雫石牛肥育部会総会講演	27.1.29	JA新岩手	雫石町
澤田 建	県南担い手講習会視察研修会	27.2.2	県南広域振興局農政部	奥州市
澤田 建	県南和牛育種組合和牛女性研修会	27.2.3	全農岩手県本部	花巻市
澤田 建	いわて和牛中央育種組合和牛女性研修会	27.2.5	全農岩手県本部	花巻市
澤田 建	平泉農協和牛生産部会大東支部研修会	27.2.19	いわて平泉農協 和牛生産部会大東支部	一関市大東町
澤田 建	江刺農協和牛部会伊手支部研修会	27.2.26	岩手江刺農協 和牛部会伊手支部	奥州市
西田 清	子牛市場ワンポイント講習会	27.3.11~12	全農岩手県本部	奥州市 (県南家畜市場)
澤田 建	家畜人工授精担当者会議	27.3.12	岩手県畜産協会	盛岡市
西田 清	子牛市場ワンポイント講習会	27.3.18,20	全農岩手県本部	雫石町 (中央家畜市場)
澤田 建	子牛市場ワンポイント講習会	27.3.19	全農岩手県本部	雫石町 (中央家畜市場)
県北農業研究所				
及川 一也 鈴木 良則	第46回岩手県特産農作物生産振興共進会審査委員会(ホップ部門)	26.12.19	岩手県特産農作物生産振興 協議会	盛岡市
及川 一也	第46回岩手県特産農作物生産振興共進会審査委員会(葉たばこ部門)	27.3.25	岩手県特産農作物生産振興 協議会	盛岡市
作物研究室				
大里 達朗	低アミロース「きらほ」にかかる研修会	26.7.2	JA新しいわて北部営農経済セン ター、水稻生産部会	二戸市
中西 商量 高草木 雅人	二戸地域雑穀推進大会	27.1.21	二戸地方農林水産振興 協議会 農産園芸部会	二戸市
高橋 好範 中西 商量 高草木 雅人	一戸町雑穀セミナー	27.2.24	一戸町	一戸町(一戸町役 場)

担当部所 研究室 担当者	内 容	年月日	依 頼 者	場 所
園芸研究室				
長嶺 達也 福田 拓斗	岩手県園芸産地改革戦略推進会議技術対策部 会・園芸産地改革ネットワーク ほうれんそう安定生 産技術研修会	26.5.8	岩手県園芸産地改革戦略推 進会議(農産園芸課)	岩手町
長嶺 達也	第65回全日本野菜品種審査会 レタス(春まき夏どり)審査会	26.7.2～3	(一社)日本種苗協会	長野県塩尻市 (野菜花き試験場)
鹿糠 美雪	北部地域輪菊目ぞろい会	26.8.20	JA新しいわて北部営農経済セ ンター	軽米町 (県北農業研究所)
及川 一也 横田 啓 福田 拓斗	玉ねぎ視察研修会	26.8.21	花巻農業協同組合 花巻玉ねぎ生産組合	軽米町 (県北農業研究所)
鹿糠 美雪	二戸地域輪菊有望品種検討会	26.9.6	JA新しいわて北部営農経済セ ンター	軽米町 (県北農業研究所)
鹿糠 美雪	久慈フラワーコンテスト審査	26.9.18	久慈地方農業農村活性化推 進協議会	久慈市
長嶺 達也	岩手県園芸産地改革戦略推進会議技術対策部 会・園芸産地改革ネットワーク ねぎ中間検討会	26.9.24	岩手県園芸産地改革戦略推 進会議(農産園芸課)	二戸市
横田 啓	たまねぎ栽培講習会	26.11.18	大船渡農業改良普及センター	大槌町
長嶺 達也	岩手県園芸産地改革戦略推進会議技術対策部 会・園芸産地改革ネットワーク ほうれんそう実績 検討会	26.12.5	岩手県園芸産地改革戦略推 進会議(農産園芸課)	岩手町
長嶺 達也	岩手県園芸産地改革戦略推進会議技術対策部 会・園芸産地改革ネットワーク ねぎ実績検討会	26.12.11	岩手県園芸産地改革戦略推 進会議(農産園芸課)	矢巾町
横田 啓	ほうれんそう専門部役員検討会	26.12.15	JA新しいわて八幡平営農経済 センター、JA新しいわて八幡平 野菜生産部会	花巻市
鹿糠 美雪	平成26年度北部地域菊実績検討会	27.1.23	JA新しいわて北部営農経済セ ンター	二戸市
横田 啓	第1回ホウレンソウケナガコナダニ勉強会	27.2.4	JA新しいわて八幡平営農経済 センター、JA新しいわて八幡平 野菜生産部会	八幡平市
横田 啓 福田 拓斗	たまねぎ春植え新作物勉強会	27.2.9	二戸青果生産組合	二戸市
横田 啓	農林水産業・食品産業科学技術研究推進事業「東 北・北陸地域における新作物開発によるタマネギ の端境期生産体系の確立」研究成果報告会	27.2.23～24	農研機構東北農業研究セン ター	盛岡市
鹿糠 美雪	二戸地域キク類育苗指導会	27.3.10	JA新しいわて北部営農経済セ ンター	軽米町 (県北農業研究所)

3 視察者、見学者の受け入れ状況

区 分	来所者数	参観デー来場者数	合計	備 考
本 部	954 人	2,000 人	2,954 人	・平成26年4月～平成27年3月
畜産研究所	850 人	1,000 人	1,850 人	
県北農業研究所	356 人	460 人	816 人	
計	2,160 人	3,460 人	5,620 人	

4 春季一般公開及び参観デー

名 称	開催期日	開催場 所	参集人員
春季一般公開	26.4.15～20	農業ふれあい公園 「農業科学博物館」	68 名
参観デー(本部)	26.9.5～6	農業研究センター本部 農業ふれあい公園 「農業科学博物館」	2,000 名
参観デー(畜産研究所)	26.8.22～24	岩手産業文化センター(アピオ)	1,000 名
一般公開デー(県北農業研究所)	26.9.5～6	県北農業研究所	460 名

5 技術セミナー等の開催

開催期日	開催場所	主な内容	参集人員	担当室・課
26.4.28	陸前高田市	ユズ苗木の植栽技術	25名	果樹
26.5.22	陸前高田市	電気柵による獣害対策技術	20名	果樹
26.6.24	陸前高田市	リンゴの早期成園化技術	80名	果樹
26.9.29	陸前高田市	リンゴ「紅いわて」の栽培方法	23名	果樹
26.11.7	陸前高田市	ユズ用瞬間的高圧搾汁装置の現地実演	25名	果樹
26.5.21	大槌町	トマトのアーチ放任仕立による栽培方法	31名	野菜花き
26.8.20	大槌町	トマトのアーチ放任仕立ての優位性と果実品質	18名	野菜花き
26.9.4	軽米町	ハウレンソウの機能性成分と軽労生産システム	82名	園芸(県北)
26.9.4	軽米町	雑穀の機械移植技術	40名	作物(県北)

6 一日子供農業研究員

名 称	開催期日	内 容	参集人員
一日子供農業研究員 ～夏休み農業 研究体験～	26.8.1	小学5年生を対象とした研究体験 ・農業ふれあい公園内にある『ひょうたん池』に生息する魚類や昆虫類の調査 講師:岩手県立大学総合政策学部 辻盛生准教授	20名

7 農業科学博物館、農業ふれあい公園、加工工房(加工体験)の利用者

項 目	主 な 内 容	開催年月日	参集人数	
農業科学博物館	入館者数	入館者総数(企画展、イベント、その他を含む来館者数)	4,525名	
		農業研究センター春季一般公開	26.4.15～20 (68名)	
		農業研究センター参観デー	26.9.5～6 (758名)	
	企画展	収蔵品を「企画テーマ」に合わせて年4回展示紹介		—
		第60回「自給織物と道具」	26.4.5～6.27	
		第61回「『味噌・豆腐』作りと道具」	26.7.6～9.28	
		第62回「養蚕と自給の製糸用具」	26.10.4～12.26	
	イベント	「松飾り作り体験」	26.12.21	13名(6組)
		「ソバづくり体験」	4回	15名(6組)
	その他	学校教育支援活動 25校(社会科実習、校外学習等の受入)	—	1,252名(25校)
在宅高齢者支援活動(北上市在宅高齢者ふれあいデーサービス事業)		—	219名(10団体)	
農業ふれあい公園 ゲートボール場	ゲートボール、グラウンドゴルフ	利用期間 4月～11月	8,899名 (366件)	
農業ふれあい公園 加工工房	加工試作	豆腐づくり体験	26.9.28 17名	
	加工試作	そば打ち体験	26.11.2 21名	

8 研修生の受け入れ

(1) 海外研修

氏名	所属	研修目的	受け入れ部所 (研究室)	期間
	JICA	全国普及協会研修 (農作物育種)	作物研究室 果樹研究室ほか	26.8.19

(2) 北東北3県連携にかかる人事交流(研修)

氏名	所属	研修目的	受け入れ部所 (研究室)	期間
上村 豊和	青森県農林総合研究所	原種生産について	技術部 (作物研究室)	26.6.24～25
鈴木 洋一	青森県農林総合研究所	原種生産について	技術部 (作物研究室)	26.6.24～25
三浦 実	青森県農林総合研究所	原種生産について	技術部 (作物研究室)	26.6.24～25

(3) 短期研修生

氏名	所属	研修目的	受け入れ部所 (研究室)	期間
對馬 千佳子	地方独立行政法人青森県産業技術センターりんご研究所	PCRを利用したシンクイムシ類の同定法の取得	環境部 (病理昆虫研究室)	26.7.23～24
星 博綱	福島県農業総合センター果樹研究所病害虫科	マルチプライマーPCR法によるリンゴのシンクイムシ類の種識別法に関する研修	環境部 (病理昆虫研究室)	26.10.2～3
川口 悦史	福島県農業総合センター果樹研究所病害虫科	マルチプライマーPCR法によるリンゴのシンクイムシ類の種識別法に関する研修	環境部 (病理昆虫研究室)	26.10.2～3
高部 真典	山形県農業総合研究センター園芸試験場	シンクイムシ類の分類技術研修について	環境部 (病理昆虫研究室)	26.10.2～3

(4) 体験学習の受け入れ

ア 小中学校等の「総合的な学習の時間」等に対応したもの

所属	研修内容	人数(人)	受け入れ研究室等	期日
筑波大学駒場中学校体験学習	現地踏査(水稻の品種など)	6	技術部作物研究室	26.5.23
あけの星幼稚園体験学習	体験学習(田植え)	60	技術部作物研究室 企画管理部総務課	26.6.4
盛岡市立米内小学校 4年生	放牧地の自然体験学習	20	外山畜産研究室	26.5.30
軽米町立観音林児童館 軽米町立山内保育園	サツマイモ作り体験(苗定植及び収穫)	26	県北農業研究所	26.6.10 26.10.24
軽米町立軽米中学校 2年生	体験学習	1	県北農業研究所	26.9.15～22

イ 高等学校、大学の「職場体験研修」「視察」等に対応したもの

所属	研修内容	人数(人)	受け入れ研究室等	期日
花巻農業高等学校	職場体験研修	3	研究企画室 作物研究室 野菜花き研究室 生産環境研究室	26.7.30～8.1
岩手大学 3年	農業研究センターの研究概要(耐冷性 検定圃場など)		作物研究室ほか	26.7.23
弘前大学農学生命科学部 3、4 年、修士学生	アスパラガス伏せ込み促成栽培につ いて	3	野菜花き研究室	26.11.27
岩谷堂高等学校 1年生	職場見学	36	生産環境研究室	26.8.26
各市町村等	第1回市町村研修職員県営事業等視 察研修	17	病理昆虫研究室	26.9.19
岩手大学農学部生命科学課程 3年	畜産研究所における研究概要	30	家畜飼養・飼料研究室 家畜育種研究室	26.6.13
県立農業大学校畜産学科 1年 事例視察研修	畜産研究所における牛の研究概要	15	家畜飼養・飼料研究室 家畜育種研究室	26.6.23
岩手大学農学部獣医学課程 4年	家畜衛生学実習:各種家畜の飼養管 理方法や衛生管理などを理解する。	35	家畜飼養・飼料研究室 家畜育種研究室	26.6.30
酪農学園大学循環農学類土壌研 究室ゼミ	畜産研究所における研究概要	9	家畜飼養・飼料研究室 家畜育種研究室	26.7.8
岩手大学農学部・東京農工大学農 学部共同獣医学科 1年	畜産研究所における研究概要と乳牛・ 肉牛管理の見学	76	家畜飼養・飼料研究室 家畜育種研究室	26.9.25
日本大学生物資源科学部動物資 源科学科 3年	日本短角種飼養形態について 日本短角種検定実施状況について	11	外山畜産研究室 家畜育種研究室	26.10.1
岩手大学農学部動物科学課程 2年	畜産研究所における研究概要と乳牛・ 肉牛管理の見学	34	家畜育種研究室 家畜飼養・飼料研究室	26.10.9
岩手大学農学部共同獣医学科 3年	畜産研究所における研究概要と乳牛・ 肉牛管理の見学	36	家畜育種研究室 家畜飼養・飼料研究室	26.11.5
岩手大学農学部共同獣医学科 5年	黒毛和種種雄牛造成、凍結精液生産 について	32	種山畜産研究室	26.6.11
岩手県立農業大学校畜産学科 1年	黒毛和種種雄牛造成、凍結精液生産 について	15	種山畜産研究室	26.7.24
岩手県立遠野緑峰高校生産技術 科 畜産作物専攻班 2年	黒毛和種種雄牛造成、凍結精液生産 について	5	種山畜産研究室	27.2.16
酪農学園大学農食環境学群	岩手県北地域の農業と県北農業研 究所における農業技術開発	12	県北農業研究所	26.7.7

ウ インターンシップ等に対応したもの

氏名	所属	研修内容	受入研究室等	期日
(新採用職員39名)	岩手県農林水産部	農林水産部新採用職員研修	作物研究室 他	26.6.9
佐藤 拓也	岩手大学農学部 農学生命課程 3年	インターンシップ研修	プロジェクト推進室 他	26.9.1～5
後藤 愛美	鹿児島大学農学部 獣医学科 5年	黒毛和種雄牛造成について	種山畜産研究室	26.8.27
小野寺 詩絵	岩手県立大学	県北・沿岸地域の課題解決に向けた 農業技術の開発や地域に開かれた研 究機関のあり方について	県北農業研究所	26.9.1～5

9 協議会、委員会等委員

協議会、委員会等の名称	役職	職名	担当機関
岩手県研究開発推進連絡会議	委員	所長	商工労働観光部科学・ものづくり振興課
岩手県農業技術開発会議	構成員 構成員 構成員 構成員 構成員 構成員 構成員	所長 副所長 企画管理部長 技術部長 環境部長 病虫害防除部長 畜産研究所長 県北農業研究所長	農業普及技術課
岩手県バイオテクノロジー研究調整会議	委員	所長	農業普及技術課
岩手県農業農村指導士選考委員会	選考委員	所長	農業普及技術課
岩手県農業気象協議会	委員 委員 幹事 幹事 幹事 幹事 幹事 幹事	技術部長 病虫害防除所長 (病虫害防除部長) 果樹研究室長 作物研究室長(技術部) 野菜花き研究室長 生産環境研究室長 家畜飼養・飼料研究室長 作物研究室長(県北研) 病虫害防除所次長 (病虫害防除課長)	農業普及技術課
岩手県農薬管理使用アドバイザー認定委員会	副会長 委員	病虫害防除部長 環境部長	農業普及技術課
放射性物質の農作物等への影響に係る 生産管理指導対策会議	構成員	環境部長 畜産研究所次長	農業普及技術課
特別栽培農産物に係る慣行レベル検討会議	構成員	プロジェクト推進室長 果樹研究室長 作物研究室長 野菜花き研究室長 生産環境研究室長 病理昆虫研究室長 病虫害防除課長 次長兼園芸研究室長(県北研) 作物研究室長(県北研)	農業普及技術課
岩手県農業共済保険審査委員会	委員	技術部長	団体指導課
いわて純情米需要拡大推進協議会	幹事	技術部長	流通課
いわての大豆普及推進協議会	委員	技術部長	流通課
土地改良事業営農推進対策委員会	副委員長 委員 委員 中央幹事 中央幹事 中央幹事 中央幹事 中央幹事	企画管理部長 技術部長 県北農業研究所長 農業経営研究室長 野菜花き研究室長 生産環境研究室長 家畜飼養・飼料研究室長 次長兼園芸研究室長(県北研)	農村計画課

協議会、委員会等の名称	役 職	職 名	担 当 機 関
岩手県農業農村整備事業地区 担い手育成協議会	委員	農業経営研究室経営 チーム長	農村建設課
農作物奨励品種検討会議	構成員	所長	農産園芸課
岩手県特産農産物生産振興共進会	審査委員長 審査委員 審査委員	県北農業研究所長 農業経営研究室長 次長兼園芸研究室長(県 北研)	農産園芸課
岩手県農業機械士認定委員会	委員	技術部長	農産園芸課
岩手県農業機械士技能検定	技能検定員 技能検定員	プロジェクト推進室長 主任技能員、技能員 (プロジェクト推進室、 技術部、環境部)	農産園芸課
岩手県麦・大豆等産地体制確立推進協議会 同 事務局員	委員 事務局員	技術部長 作物研究室長(技術部)	農産園芸課
全国豆類経営改善共励会岩手県審査委員会	審査委員長 審査委員 審査委員	技術部長 作物研究室長(技術部) 作物研究室長(県北研)	農産園芸課
全国麦作共励会岩手県審査委員会	審査委員長 審査委員 審査委員	技術部長 作物研究室長(技術部) 作物研究室長(県北研)	農産園芸課
岩手県特産農作物生産振興共進会審査委員会	審査委員長 審査委員 審査委員	県北農業研究所長 作物研究室長(技術部) 作物研究室長(県北研)	農産園芸課
園芸産地新生プロジェクト支援事業産地マネジメ ント計画審査会	審査委員	農業経営研究室長	農産園芸課
稲作生産コスト低減推進会議	委員 幹事	企画管理部長 農業経営研究室長	農産園芸課
麦・大豆収益性向上対策チーム	構成員 構成員	プロジェクト推進室長 作物研究室長(技術部)	農産園芸課
いわてリーディング経営体育成支援事業等経営発 展計画選定委員会	審査委員	農業経営研究室長	農業振興課
生産技術体系・営農類型策定ワーキングチーム	副チーム長 チーム員	農業経営研究室長 農業経営研究室経営 チーム長	農業振興課
農業担い手対策等課題解決チーム	チーム員	農業経営研究室経営 チーム長	農業振興課
(公財)岩手生物工学研究センター評議会	評議員	所長	(公財)岩手生物工学研究センター
花北地方農業農村振興連絡協議会 (花巻地域希望農業技術サポート会議を兼ねる)	構成員	企画管理部長	県南広域振興局農政部 花巻農林振興センター
大船渡地方農業振興協議会	構成員	南部園芸研究室長	沿岸広域振興局農林部 大船渡農林振興センター
中央環境審議会土壌農薬部会農薬小委員会	専門委員	病虫害防除部長	環境省 水・大気環境局
東北土地利用型作物安定生産推進協議会	構成員	作物研究室長(技術部)	東北農政局
北上市みどりのまちづくり審議会	委員	企画管理部長	北上市
住田町農業振興協議会	構成員	南部園芸研究室長	住田町
陸前高田市大規模園芸施設運営協議会	委員	農業経営研究室長	陸前高田市
日本農業経営学会	理事	農業経営研究室長	(独)中央農業総合研究センター
東北農業試験研究協議会	理事	所長	(独)農研機構・東北農業研究センター
東北農業経済学会	評議員	農業経営研究室長	東北大学農学部
岩手農林研究協議会(AFR)	副会長(委員) 幹事	所長 技術部長	岩手大学農学部
いわて純情米体質強化推進協議会	幹事	技術部長	全国農業協同組合連合会岩手県本部
日本農業賞岩手県代表選考審査委員	委員長	所長	全国農業協同組合連合会岩手県本部

協議会、委員会等の名称	役職	職名	担当機関
岩手県施肥合理化協議会	参与 参与 幹事 幹事 幹事 幹事 幹事 幹事	環境部長 畜産研究所長 プロジェクト推進室長 果樹研究室長 野菜花き研究室長 生産環境研究室長 家畜飼養・飼料研究室長 次長兼園芸研究室長(県北研)	全国農業協同組合連合会岩手県本部
いわて純情りんごコンテスト	審査委員長 審査員 審査員 審査員	技術部長 果樹研究室長 研究室員 (果樹研究室) 病理昆虫研究室長	全国農業協同組合連合会岩手県本部
いわてフラワーコンテスト	審査委員長 審査委員	技術部長 野菜花き研究室長	全国農業協同組合連合会岩手県本部
岩手県麦民間流通地方協議会	構成員	作物研究室長(技術部)	全国農業協同組合連合会岩手県本部
岩手県農業共済組合連合会損害評価会	損害評価委員 (農作物・水稲) 損害評価委員 (農作物・水稲) 損害評価委員 (農作物・水稲) 損害評価委員 (果樹) 損害評価委員 (果樹) 損害評価委員 (農作物・麦) 損害評価委員 (農作物・麦) 損害評価委員 (畑作物・大豆・ホップ) 損害評価委員 (畑作物・麦・大豆・ホップ) 損害評価委員 (園芸施設)	主任(病害虫防除課) 主査専門研究員 (技術部作物研究室) 病理昆虫研究室長 果樹研究室長 主任主査 (病害虫防除課) 主任専門研究員 (技術部作物研究室) 病害虫防除課長 上席専門研究員 (技術部作物研究室) 主任 (病害虫防除課) 野菜花き研究室長	岩手県農業共済組合連合会
岩手県産業用無人ヘリコプター推進協議会	幹事	病害虫防除課長	岩手県農業共済組合連合会
(公財)日本植物調節剤研究協会東北支部	委員	作物研究室長(技術部)	(公財)日本植物調節剤研究協会東北支部
(社)岩手県植物防疫協会	幹事 幹事 幹事 試験委員会委員 試験委員会委員 試験委員会委員 試験委員会委員 試験委員会委員	技術部長 環境部長 病害虫防除所長 (病害虫防除部長) 作物研究室長(技術部) 果樹研究室長 野菜花き研究室長 病理昆虫研究室長 家畜飼養・飼料研究室長 病害虫防除所次長 (病害虫防除課長)	(社)岩手県植物防疫協会
種子価格設定委員会	委員	作物研究室長(技術部)	(公社)岩手県農産物改良種苗センター
種子事故防止委員会兼種子事故調査委員会	委員 委員	作物研究室長(技術部) 病理昆虫研究室長	(公社)岩手県農産物改良種苗センター

協議会、委員会等の名称	役 職	職 名	担 当 機 関
いわて和牛改良増殖対策事業推進協議会	委員 委員	畜産研究所次長兼 種山畜産研究室長 家畜育種研究室長	畜産課
いわて短角和牛改良推進協議会	委員	家畜育種研究室長 外山畜産研究室長	日本短角種集団育種推進協議会 畜産課
全国和牛能力共進会出品対策委員会	委員 委員	畜産研究所次長兼 種山畜産研究室長 家畜育種研究室長	畜産課 全国農業協同組合連合会岩手県本部
畜産環境整備事業農機具導入委員会	委員	家畜飼養・飼料研究室長	畜産課
岩手県飼料増産推進協議会	委員	家畜飼養・飼料研究室長	畜産課
岩手県畜産技術連盟	世話人	畜産研究所長	畜産研究所
盛岡市牧野運営協議会委員	委員	外山畜産研究室長	盛岡市
岩手県農協大型酪農経営連絡協議会	委員	畜産研究所長	全国農業協同組合連合会岩手県本部
岩手県乳質改善協議会	委員	畜産研究所長	全国農業協同組合連合会岩手県本部
ミルクシステム診断事業推進委員会	委員	家畜飼養・飼料研究室長	(社)岩手県畜産協会
岩手県乳用牛群検定推進協議会	幹事	家畜飼養・飼料研究室長	(社)岩手県畜産協会
全国和牛登録協会登録委員産肉能力検定委員会	参与 参与 委員	畜産研究所長 畜産研究所次長兼 種山畜産研究室長 主査専門研究員 (種山畜産研究室)	全国和牛登録協会
和牛改良専門委員会	委員 委員	畜産研究所次長兼 種山畜産研究室長 家畜育種研究室長	全国和牛登録協会岩手県支部
県南和牛育種組合育種推進委員会	育種推進委員	主査専門研究員 (種山畜産研究室)	全国和牛登録協会岩手県支部
中央和牛育種組合育種推進委員会	育種推進委員	主査専門研究員 (種山畜産研究室)	全国和牛登録協会岩手県支部
日本短角種検定委員会	委員	家畜育種研究室長	日本短角種登録協会
日本短角種研究会	評議員	家畜育種研究室長	日本短角種研究会
日本短角種枝肉情報分析委員会	委員	家畜育種研究室長	肉用牛改良情報活用協議会
国産牛肉新需要創出緊急対策事業地方特定品種 牛肉検討部会	委員	家畜育種研究室長	(社)全国肉用牛振興基金協会
全日本ホルスタイン共進会出品対策委員会	委員	家畜飼養・飼料研究室長	(社)岩手県畜産協会
八戸平原地域営農推進協議会	委員	県北農業研究所長	東北農政局 北奥羽調査管理事務所

VI 職員研修

VI 職員研修

1 大学院派遣

職・氏名	所属部所・研究室	研究内容	派遣先	派遣期間
主査専門研究員 野々上慈徳	技術部 作物研究室	イネの多収に関わる遺伝子の解析	岩手大学大学院 連合農学研究科 (連携院:岩手生物 工学研究センター)	24.4～
主任専門研究員 山口 貴之	技術部 野菜花き研究室	休眠特性の解明によるアスパラガス新作型の開発	岩手大学大学院 連合農学研究科 (弘前大学)	24.4～ 27.3
主任専門研究員 羽田 厚	環境部 病理昆虫研究室	リンゴ重点防除害虫の分子生物学的識別と個体群構造の解析	東京農工大学大学 院連合農学研究科	25.10～ 28.9
主査専門研究員 増田 隆晴	畜産研究所 外山畜産研究室	高標高・寒冷地域における粗飼料調製技術に関する研究	岩手大学大学院連 合農学研究科 (岩手大学)	23.4～

2 海外派遣・研修

職・氏名	所属部所・研究室	研修内容等	派遣先	派遣期間
作物研究室長 菅原 浩視	技術部 作物研究室	東北粳稻保伏栽培技術研究項目”中日水稻伏質育種栽培及食味品質評価技術”	中華人民共和国黒 竜江省哈爾濱市(黒 竜江省農業科学院)	26.6.22～27

3 国内研修への派遣

(1) 依頼研究員

職・氏名	所属部所・研究室	研修内容	派遣先	派遣期間
主任専門研究員 佐藤 まり子	畜産研究所 家畜飼養・飼料研究 室	近赤外線による飼料分析手法	独立行政法人・畜産 草地研究所	27.2.2～6

(2) 北東北3県研究職員交流(職員派遣)

職・氏名	所属部所・研究室	研修内容	派遣先	派遣期間
作物研究室長 菅原 浩視 主査専門研究員 永富 巨人	技術部 作物研究室	水稻生育診断に関する研修(3県相互情報交換)	秋田県農業試験場	26.6.24～25
主任専門研究員 山口 貴之	技術部 野菜花き研究室	夏採りネギ栽培について	秋田県農業試験場	26.6.26～27
生産環境研究室長 小林 卓史 専門研究員 高橋 彩子 技師 数藤 慶亮	環境部 生産環境研究室	北東北地域における農耕地土壌の実態と今後の展望	地方独立行政法人 青森県産業技術セ ンター農林総合研 究所	26.6.30

(3) 農林水産関係研究リーダー研修

職・氏名	所属部所・研究室	研修内容	派遣先	派遣期間
(該当なし)				

(4) 独立行政法人農業・食品産業技術総合研究機構 短期集合研修

職・氏名	所属部所・研究室	研修内容	派遣先	派遣期間
(該当なし)				

(5) 農林水産関係研究者研修

職・氏名	所属部所・研究室	研修内容	派遣先	派遣期間
技師 小山田 早希	環境部 病理昆虫研究室	平成26年度病害虫防除所等中央研修	横浜市	26.12.9-12
主任専門研究員 尾張 利行	畜産研究所 家畜飼養・飼料研究室	平成26年度都道府県農業関係研究員等専門研修「耕地雑草の防除対策立案のための調査・研究手法」	中央農業総合研究センター	26.8.20～22
上席専門研究員 中西 商量	県北農業研究所 作物研究室	平成26年度農林水産中堅研究者研修	茨城県つくば市(農林水産技術会議事務局筑波事務所)	26.11.26～28
専門研究員 高草木 雅人	県北農業研究所 作物研究室	平成26年度農林水産中堅研究者研修	茨城県つくば市(農林水産技術会議事務局筑波事務所)	26.11.26～28

(6) その他

職・氏名	所属部所・研究室	研修内容	派遣先	派遣期間
主任専門研究員 寺田 道一	プロジェクト推進室	先端技術展開事業「土地利用型営農技術の実証研究」平成26年度現地検討会	宮城県仙台市、名取市	26.7.2～3
プロジェクト推進室長 八重樫 耕一	プロジェクト推進室	農業食料工学会東北支部大会	山形県山形市	26.8.20～21
上席専門研究員 吉田 宏	プロジェクト推進室	東北農研推進会議 直播研究会	青森県青森市	26.8.29
プロジェクト推進室長 八重樫 耕一	プロジェクト推進室	農研機構シンポジウム「FOEAS・OPIS活用露地野菜安定生産技術」	茨城県つくば市	26.11.5～6
プロジェクト推進室長 八重樫 耕一 上席専門研究員 吉田 宏	プロジェクト推進室	農村研究フォーラム2014「中山間地域の振興のための技術開発」、アグリビジネス創出フェア	東京都	26.11.12～13
主任専門研究員 藤田 智美	プロジェクト推進室	女性の活躍促進セミナー 女性研究者ネットワーク構築支援のための情報・意見交換会	盛岡市	26.11.21
上席専門研究員 吉田 宏 主任専門研究員 寺田 道一	プロジェクト推進室	飼料用イネ・TMRセンターに関する情報交換会	東京都	26.12.1～2
プロジェクト推進室長 八重樫 耕一 上席専門研究員 吉田 宏 主任専門研究員 臼井 智彦 主任技能員 菅野 輝彦	プロジェクト推進室	農業食料工学会シンポジウム 第19回テクノフェスタ	埼玉県さいたま市	26.12.12
主任専門研究員 寺田 道一 主任専門研究員 臼井 智彦	プロジェクト推進室	平成26年度水田除草機及び水稲種子消毒装置に関する現地検討会	埼玉県さいたま市	26.12.17
上席専門研究員 吉田 宏 主任専門研究員 藤田 智美	プロジェクト推進室	第15回ソバ研究会	茨城県つくば市	27.2.14
プロジェクト推進室長 八重樫 耕一 上席専門研究員 吉田 宏 主任専門研究員 寺田 道一 主任専門研究員 臼井 智彦 主任専門研究員 藤田 智美	プロジェクト推進室	平成26年度全国農業システム化研究会 最終成績検討会	東京都	27.2.17～18
主任専門研究員 藤田 智美	プロジェクト推進室	第8回ダイズ研究会	盛岡市	27.3.6～7

職・氏名	所属部所・研究室	研修内容	派遣先	派遣期間
プロジェクト推進室長 八重樫 耕一 上席専門研究員 吉田 宏 主任専門研究員 寺田 道一 主任専門研究員 臼井 智彦 主任専門研究員 藤田 智美 主任技能員 菅野 輝彦	プロジェクト推進室	平成26年度生研センター研究報告会・農業機械開発改良試験研究打合せ会議	埼玉県さいたま市	27.3.12～13
上席専門研究員 吉田 宏	プロジェクト推進室	日本農作業学会平成27年度春季大会	千葉県柏市	27.3.19～20
プロジェクト推進室長 八重樫 耕一 主任専門研究員 寺田 道一	プロジェクト推進室	日本作物学会第239回講演会	神奈川県藤沢市 (日本大学)	27.3.26～28
主任専門研究員 伊勢 智宏	企画管理部 研究企画室	平成26年度第1回広報研修	盛岡市	26.5.20
主任専門研究員 伊勢 智宏	企画管理部 研究企画室	ITサポート研修	花巻市	26.6.4
主任専門研究員 伊勢 智宏	企画管理部 研究企画室	ITマスタ技術研修会	盛岡市	26.6.9
主任専門研究員 伊勢 智宏	企画管理部 研究企画室	実務者向け知的財産権制度説明会2014	盛岡市	26.11.6
企画管理部長 阿部 潤 農業経営研究室長 村上 和史	企画管理部 農業経営研究室	復興促進プログラム特別企画シンポジウム 「未来を創る 東北の力」	宮城県仙台市	26.4.27
主査専門研究員 前山 薫	企画管理部 農業経営研究室	2014年度日本フードシステム学会大会	東京都	26.6.13～15
専門研究員 田中 英輝	企画管理部 農業経営研究室	平成26年度東北ソバフォーラム	秋田県横手市	26.6.25
農業経営研究室長 村上 和史 主任専門研究員 松浦 貞彦 専門研究員 田中 英輝	企画管理部 農業経営研究室	第57回東北農業試験研究発表会	宮城県仙台市	26.7.30
専門研究員 田中 英輝	企画管理部 農業経営研究室	日本農業普及学会第5回EXセミナー 「東日本大震災被災地の現状と農業普及」	福島県相馬市	26.8.2～3
企画管理部長 阿部 潤 農業経営研究室長 村上 和史 主査専門研究員 前山 薫 主任専門研究員 松浦 貞彦 専門研究員 田中 英輝	企画管理部 農業経営研究室	第50回東北農業経済学会岩手大会	盛岡市	26.8.22～23
専門研究員 田中 英輝	企画管理部 農業経営研究室	岩手県立大学公開講座 『農業政策論から見た「農地中間管理機構」・「農林水産業・地域の活力創造プラン」の現状と課題、そして私たちがやるべきこと』	滝沢村	26.9.8
農業経営研究室長 村上 和史	企画管理部 農業経営研究室	食料フォーラム2014 「“小さな農”のあり方」 ～国際家族農業年に考える～	東京都	26.9.18
農業経営研究室長 村上 和史	企画管理部 農業経営研究室	平成26年度日本農業経営学会研究大会	東京都	26.9.19～20

職・氏名	所属部所・研究室	研修内容	派遣先	派遣期間
主査専門研究員 前山 薫	企画管理部 農業経営研究室	第64回地域農林経済学会大会	京都府京都市	26.10.17～19
主査専門研究員 前山 薫	企画管理部 農業経営研究室	農林水産政策研究所研究成果報告会 「人口減少下における集落の小規模化・高齢化と集落機能—農業集落を対象とした動態統計分析と将来予測から—」	東京都	26.10.28
農業経営研究室長 村上 和史	企画管理部 農業経営研究室	日本村落研究学会大会第62回大会	名古屋市	26.11.1～2
農業経営研究室長 村上 和史	企画管理部 農業経営研究室	平成26年度農研機構シンポジウム「FOEAS・OPSISを活用した露地野菜安定生産技術」	茨城県つくば市	26.11.5～6
主査専門研究員 前山 薫 専門研究員 田中 英輝	企画管理部 農業経営研究室	東北農業経済学会50周年記念事業	宮城県仙台市	26.11.15
専門研究員 田中 英輝	企画管理部 農業経営研究室	平成26年度花き研究シンポジウム 「施設内の温度制御による花き生産の効率化」	茨城県つくば市	26.11.19～20
主査専門研究員 前山 薫	企画管理部 農業経営研究室	農林水産政策研究所セミナー 「人口減少時代における都市と農村の再生」	東京都	26.12.11
主査専門研究員 前山 薫	企画管理部 農業経営研究室	地域創生フォーラム ～地方が変わる、日本が変わる～	秋田県秋田市	27.2.8
専門研究員 田中 英輝	企画管理部 農業経営研究室	第15回ソバ研究会 「ダッタンソバはsobaか？」	茨城県つくば市	27.2.14
農業経営研究室長 村上 和史 主査専門研究員 前山 薫 専門研究員 田中 英輝	企画管理部 農業経営研究室	農業経済研究ネットワークいわて交流会	盛岡市	27.2.22
主査専門研究員 前山 薫	企画管理部 農業経営研究室	奥玉地域づくり講演会	一関市	27.3.8
農業経営研究室長 村上 和史 主査専門研究員 前山 薫	企画管理部 農業経営研究室	2015年度農業問題研究学会春季大会	東京都	27.3.27
農業経営研究室長 村上 和史 主査専門研究員 前山 薫 専門研究員 田中 英輝	企画管理部 農業経営研究室	2015年度日本農業経済学会大会	東京都	27.3.28～29
主査専門研究員 永富 巨人	技術部 作物研究室	水稲用除草剤試験方法に関する研修会	茨城県	26.4.24～25
主査専門研究員 仲條 眞介 主任専門研究員 小舘 琢磨	技術部 作物研究室	宮城県酒造技術者交流会	仙台市	26.7.2～3
主査専門研究員 仲條 眞介	技術部 作物研究室	今後の委託プロジェクト研究に係るブロック提案会	仙台市	26.7.14
専門研究員 川代 早奈恵	技術部 作物研究室	女性研究者研究力向上セミナー	盛岡市(岩手大学)	26.7.18
主査専門研究員 尾形 茂	技術部 作物研究室	平成26年度東北六県原種・原々種生産情報交換会	福島県郡山市 (福島県農業総合センター)	26.7.24～25
上席専門研究員 荻内 謙吾 主任専門研究員 小原 公則	技術部 作物研究室	東北農業試験研究発表会	仙台市 (仙台市民会館)	26.7.30
主査専門研究員 尾形 茂	技術部 作物研究室	第16回東北雑草研究会	秋田市(秋田県立大学)	26.9.2～3

職・氏名	所属部所・研究室	研修内容	派遣先	派遣期間
主任専門研究員 小原 公則	技術部 作物研究室	日本作物学会第239回講演会	愛媛県松山市 (愛媛大学)	26.9.10～11
主査専門研究員 仲條 眞介	技術部 作物研究室	日本育種学会第126回講演会	宮崎県都城市 (南九州大学)	26.9.25～27
上席専門研究員 荻内 謙吾	技術部 作物研究室	ダイズ黒根腐病研究会	新潟県長岡市	26.10.1～2
作物研究室長 菅原 浩視	技術部 作物研究室	トウモロコシ刈り取り実演会	花巻市	26.10.23
主査専門研究員 永富 巨人	技術部 作物研究室	生物農薬シンポジウム「生物農薬—この20年の歩みと今後の展望」	東京都	27.1.16
作物研究室長 菅原 浩視	技術部 作物研究室	特許等相談会	花巻市 (花巻商工会議所)	27.1.21
技師 太田 裕貴	技術部 作物研究室	食品総合研究所オープンラボ	茨城県つくば市 (食品総合研究所)	27.2.27
主査専門研究員 仲條 眞介	技術部 作物研究室	日本育種学会第127回講演会	東京都町田市 (玉川大学)	27.3.20～22
主査専門研究員 永富 巨人 技師 太田 裕貴	技術部 作物研究室	日本作物学会第239回講演会	神奈川県藤沢市 (日本大学)	27.3.26～28
主任専門研究員 山口 貴之 藤尾 拓也	技術部 野菜花き研究室	園芸学会秋季大会	佐賀大学(佐賀県)	26.9.26～28
野菜花き研究室長 高橋 守 主査専門研究員 星 伸枝	技術部 野菜花き研究室	日本植物細胞分子生物学会(盛岡)大会・シンポジウム	アイーナ(盛岡市)	26.8.22
主任専門研究員 藤尾 拓也	技術部 野菜花き研究室	日本生物環境工学会2014年大会	明治大学(東京都)	26.9.9～11
主任専門研究員 阿部 弘	技術部 野菜花き研究室	農研機構セミナー 「最近の侵入病害虫リスク管理を巡る研究の現状と課題」	茨城県	26.11.5～6
主任専門研究員 阿部 弘	技術部 野菜花き研究室	平成26年度花き研究シンポジウム 「施設内の温度制御による花き生産の効率化」	茨城県	26.11.19～20
主任専門研究員 山口 貴之 藤尾 拓也 阿部 弘	技術部 野菜花き研究室	園芸学会春季大会	千葉県	27.3.27～29
主査専門研究員 山田 修	技術部 南部園芸研究室	園芸学会秋季大会	佐賀県	26.9.27～29
生産環境研究室長 小林 卓史	環境部 生産環境研究室	農村研究フォーラム2014「中山間地域の振興のための技術開発」	東京都	26.11.12
生産環境研究室長 小林 卓史	環境部 生産環境研究室	第36回施設園芸総合セミナー・機械資材展	東京都	27.2.19～20
上席専門研究員 島 輝夫	環境部 生産環境研究室	日本土壌肥料学会東北支部会	仙台市	26.7.7～8
上席専門研究員 島 輝夫	環境部 生産環境研究室	鳥獣害被害防止対策研修	岩手町	26.8.19
上席専門研究員 島 輝夫	環境部 生産環境研究室	東北直播研究会	青森市	26.8.29
上席専門研究員 島 輝夫	環境部 生産環境研究室	日本土壌肥料学会(東京大会)	東京都	26.9.10～11
上席専門研究員 島 輝夫	環境部 生産環境研究室	土づくり研究会	東京都	26.11.27
上席専門研究員 島 輝夫	環境部 生産環境研究室	転炉スラグ研究成果発表会	盛岡市	26.12.16

職・氏名	所属部所・研究室	研修内容	派遣先	派遣期間
上席専門研究員 島 輝夫	環境部 生産環境研究室	東北地域施肥技術研究会	仙台市	27.3.5
上席専門研究員 島 輝夫	環境部 生産環境研究室	農業環境技術研究所公開セミナー	東京都	27.3.11
主査専門研究員 菊地 淑子	環境部 生産環境研究室	日本食品保蔵科学会 第63回大会	長野市	26.6.27～29
主査専門研究員 菊地 淑子	環境部 生産環境研究室	岩手大学作物学研究室セミナー	盛岡市	26.7.11
主査専門研究員 菊地 淑子	環境部 生産環境研究室	農林交流センターワークショップ	つくば市	26.10.16～17
主査専門研究員 菊地 淑子	環境部 生産環境研究室	東北大豆シンポジウム	仙台市	27.1.21
主査専門研究員 菊地 淑子	環境部 生産環境研究室	地域活性化につながる大規模園芸セミナー	盛岡市	27.2.6
主任専門研究員 菊地 淑子	環境部 生産環境研究室	花き研究所研修	つくば市	27.2.13
主任専門研究員 菊地 淑子	環境部 生産環境研究室	第8回 大豆研究会	盛岡市 岩手大学	27.3.6～7
主任専門研究員 桐山 直盛	環境部 生産環境研究室	東北農業試験研究発表会	仙台市	26.7.30
主任専門研究員 桐山 直盛	環境部 生産環境研究室	第一種放射線取扱主任者講習	東京都	26.11.16～21
主任専門研究員 桐山 直盛	環境部 生産環境研究室	放射性セシウムを含む玄米試料を用いた技能試験説明会	東京都	26.12.11
主任専門研究員 桐山 直盛	環境部 生産環境研究室	農業環境イベントリー研究会および、土、水 研究会	つくば市	27.2.26～27
専門研究員 高橋 彩子	環境部 生産環境研究室	日本土壌肥料学会(東京大会)	東京都	25.9.8～11
専門研究員 高橋 彩子	環境部 生産環境研究室	土づくり研究会	東京都	26.11.27
技 師 数藤 慶亮	環境部 生産環境研究室	土壌調査技術研修会	鳥取市	25.10.8～10
環境部長 多田 勝郎	環境部 病理昆虫研究室	日本植物防疫協会シンポジウム「直播水稲と果樹枝幹害虫の防除を考える」発表	北上市、花巻市	26.8.28～29
環境部長 多田 勝郎	環境部 病理昆虫研究室	第27回伝染病談話会	盛岡市	26.9.24～25
環境部長 多田 勝郎	環境部 病理昆虫研究室	平成26年度植物病理学会東北支部会	盛岡市	26.9.25～26
環境部長 多田 勝郎	環境部	日本植物防疫協会シンポジウム「生物農薬—この20年の歩みと今後の展望」	東京都	27.1.16
環境部長 多田 勝郎	環境部	第68回北日本病害虫研究発表会	山形市	27.2.19～20
環境部長 多田 勝郎	環境部	東北地域における鳥獣害問題対応課題立案に向けた研究会	山形市	27.2.27
環境部長 多田 勝郎	環境部	東北野生動物管理研究会	山形市	27.3.6～7
病理昆虫研究室長 大友 令史	環境部 病理昆虫研究室	日本植物防疫協会シンポジウム「直播水稲と果樹枝幹害虫の防除を考える」発表	北上市、花巻市	26.8.28～29
病理昆虫研究室長 大友 令史	環境部 病理昆虫研究室	第68回北日本病害虫研究発表会	山形市	27.2.19～20
病理昆虫研究室長 大友 令史	環境部 病理昆虫研究室	第59回日本応用動物昆虫学会大会	高知市	27.3.26～28
上席専門研究員 多田 典穂	環境部 病理昆虫研究室	第24回天敵利用研究会	福岡市	26.12.1～2

職・氏名	所属部所・研究室	研修内容	派遣先	派遣期間
上席専門研究員 多田 典穂	環境部 病理昆虫研究室	日本植物防疫協会シンポジウム「生物農薬—この20年の歩みと今後の展望」	東京都	27.1.16
上席専門研究員 多田 典穂	環境部 病理昆虫研究室	九州病害虫研究会第89回研究発表会	熊本市	27.2.4～6
上席専門研究員 多田 典穂	環境部 病理昆虫研究室	第68回北日本病害虫研究発表会	山形市	27.2.19～20
上席専門研究員 多田 典穂	環境部 病理昆虫研究室	第62回関東東山病害虫研究会	水戸市	27.3.18～19
主査専門研究員 富永 朋之	環境部 病理昆虫研究室	平成26年度日本植物病理学会	札幌市	26.6.2～4
主査専門研究員 富永 朋之	環境部 病理昆虫研究室	第24回殺菌剤耐性研究会シンポジウム	札幌市	26.6.5
主査専門研究員 富永 朋之	環境部 病理昆虫研究室	平成26年度植物病理学会東北支部会	盛岡市	26.9.25～26
主査専門研究員 富永 朋之	環境部 病理昆虫研究室	耐性菌研究会	東京都	27.1.15
主査専門研究員 富永 朋之	環境部 病理昆虫研究室	日本植物防疫協会シンポジウム「生物農薬—この20年の歩みと今後の展望」	東京都	27.1.16
主査専門研究員 富永 朋之	環境部 病理昆虫研究室	オリゼメート発売40周年記念講演会	東京都	27.1.16
主査専門研究員 富永 朋之	環境部 病理昆虫研究室	寒冷地果樹研究会	盛岡市	27.2.5～6
主査専門研究員 富永 朋之	環境部 病理昆虫研究室	第68回北日本病害虫研究発表会 発表	山形市	27.2.19～20
主査専門研究員 富永 朋之	環境部 病理昆虫研究室	第62回日本生態学会	鹿児島市	27.3.18～22
主任専門研究員 羽田 厚	環境部 病理昆虫研究室	第14回国際ダニ学会 発表	京都市	26.7.13～19
主任専門研究員 羽田 厚	環境部 病理昆虫研究室	日本植物防疫協会シンポジウム「直播水稲と果樹枝幹害虫の防除を考える」 発表	北上市、花巻市	26.8.28～29
主任専門研究員 羽田 厚	環境部 病理昆虫研究室	平成26年度研究交流科目 合同セミナー	国立市	26.9.25～26
主任専門研究員 羽田 厚	環境部 病理昆虫研究室	日本ダニ学会第23回大会	盛岡市	26.10.18～19
主任専門研究員 羽田 厚	環境部 病理昆虫研究室	寒冷地果樹研究会 発表	盛岡市	27.2.5～6
主任専門研究員 羽田 厚	環境部 病理昆虫研究室	いつでも天敵第2回推進会議 発表	徳島市	27.2.8～11
主任専門研究員 羽田 厚	環境部 病理昆虫研究室	第68回北日本病害虫研究発表会 発表	山形市	27.2.19～20
主任専門研究員 羽田 厚	環境部 病理昆虫研究室	第62回日本生態学会	鹿児島市	27.3.18～22
主任専門研究員 羽田 厚	環境部 病理昆虫研究室	第59回日本応用動物昆虫学会大会 発表	山形市	26.3.26～28
専門研究員 菅 広和	環境部 病理昆虫研究室	日本植物防疫協会シンポジウム「直播水稲と果樹枝幹害虫の防除を考える」	北上市、花巻市	26.8.28～29
専門研究員 菅 広和	環境部 病理昆虫研究室	第27回伝染病談話会	盛岡市	26.9.24～25
専門研究員 菅 広和	環境部 病理昆虫研究室	EBC研究会ワークショップ2014	東京都	26.10.1
専門研究員 菅 広和	環境部 病理昆虫研究室	耐性菌研究会	東京都	27.1.15
専門研究員 菅 広和	環境部 病理昆虫研究室	日本植物防疫協会シンポジウム「生物農薬—この20年の歩みと今後の展望」	東京都	27.1.16

職・氏名	所属部所・研究室	研修内容	派遣先	派遣期間
専門研究員 菅 広和	環境部 病理昆虫研究室	オリゼメート発売40周年記念講演会	東京都	27.1.16
専門研究員 菅 広和	環境部 病理昆虫研究室	第68回北日本病害虫研究発表会 発表	山形市	27.2.19～20
専門研究員 菅 広和	環境部 病理昆虫研究室	ホモシプス根腐病に関する先進事例研修	千葉市	27.2.27
専門研究員 菅 広和	環境部 病理昆虫研究室	農薬の開発等に係る研修	宝塚市	27.3.6
専門研究員 久保田 真衣	環境部 病理昆虫研究室	日本植物防疫協会シンポジウム「直播水稲と果樹枝幹害虫の防除を考える」	北上市、花巻市	26.8.28～29
専門研究員 久保田 真衣	環境部 病理昆虫研究室	斑点米カメムシ類の発生生態の解明と防除技術の開発に係関する研究会	上越市	26.11.13～14
専門研究員 久保田 真衣	環境部 病理昆虫研究室	いつでも天敵第2回推進会議	徳島市	27.2.8～11
専門研究員 久保田 真衣	環境部 病理昆虫研究室	第68回北日本病害虫研究発表会 発表	山形市	27.2.19～20
専門研究員 久保田 真衣	環境部 病理昆虫研究室	有機農業体系研究プロジェクト技術研究会 有機農業における病虫害への対応	つくば市	27.3.10
専門研究員 久保田 真衣	環境部 病理昆虫研究室	第59回日本応用動物昆虫学会大会	高知市	27.3.26～28
技師 小山田 早希	環境部 病理昆虫研究室	日本植物防疫協会シンポジウム「直播水稲と果樹枝幹害虫の防除を考える」	北上市、花巻市	26.8.28～29
技師 小山田 早希	環境部 病理昆虫研究室	第27回伝染病談話会	盛岡市	26.9.25
主査専門研究員 富永 朋之	環境部 病理昆虫研究室	平成26年度植物病理学会東北支部会	盛岡市	26.9.25～26
技師 小山田 早希	環境部 病理昆虫研究室	日本植物防疫協会シンポジウム「生物農薬—この20年の歩みと今後の展望」	東京都	27.1.16
技師 小山田 早希	環境部 病理昆虫研究室	オリゼメート発売40周年記念講演会	東京都	27.1.16
技師 小山田 早希	環境部 病理昆虫研究室	第68回北日本病害虫研究発表会	山形市	27.2.19～20
技師 小山田 早希	環境部 病理昆虫研究室	ホモシプス根腐病に関する先進事例研修	千葉市	27.2.27
主任技能員 佐藤 広昭	環境部	農薬の開発等に係る研修	宝塚市	27.3.6
主任技能員 小黒沢 清人	技術部	農薬の開発等に係る研修	宝塚市	27.3.6
家畜育種研究室長 齋藤 久孝 他2名	畜産研究所 家畜育種研究室	平成26年度岩手県立大学メンタルヘルスセミナー	滝沢市	26.10.29
主査専門研究員 佐々木 睦美	畜産研究所 家畜育種研究室	中央畜産技術研修会・養鶏	福島県西郷村	26.7.22～25
専門研究員 神山 洋	畜産研究所 家畜育種研究室	中央畜産技術研修会・肉用牛生産技術指導者要請B	福島県西郷村	26.10.20～24
外山畜産研究室長 熊谷 光洋	畜産研究所 外山畜産研究室	平成26年度畜産・家畜衛生部会研修会	滝沢市	26.9.18
外山畜産研究室長 熊谷 光洋	畜産研究所 外山畜産研究室	安全運転管理者等講習	盛岡市	26.11.7
主査専門研究員 太田原 健二	畜産研究所 外山畜産研究室	中央畜産技術研修会・放牧	福島県西郷村	26.9.24～26
主査専門研究員 太田原 健二	畜産研究所 外山畜産研究室	牛白血病防疫推進講習会	滝沢市	26.12.17
専門研究員 佐々木 正俊	畜産研究所 外山畜産研究室	ITサポーター研修会	盛岡市	26.6.13

職・氏名	所属部所・研究室	研修内容	派遣先	派遣期間
専門研究員 佐々木 正俊 他8名	畜産研究所 外山畜産研究室	平成26年度岩手県畜産技術連盟研修会	盛岡市	26.8.8
専門研究員 佐々木 正俊	畜産研究所 外山畜産研究室	中央畜産技術研修会・肉用牛	福島県西郷村	26.9.29 ～10.2
主査専門研究員 西田 清	畜産研究所 種山畜産研究室	安全運転管理者講習	大船渡市	26.10.24
専門研究員 山形 広輔	畜産研究所 家畜飼養・飼料研究室	生研センター研究報告会	埼玉県	26.3.10～12
主任専門研究員 尾張 利行 佐藤 まり子	畜産研究所 家畜飼養・飼料研究室	日本草地学会	長野県	27.3.25～27
県北農業研究所長 及川 一也	県北農業研究所	日本作物学会第239回講演会(発表)	東京都(日本大学)	27.3.27～28
主任専門研究員 横田 啓	県北農業研究所 園芸研究室	加工・業務用タマネギ研究会(発表)	神奈川県平塚市 (JA全農)	26.12.9
上席専門研究員 中西 商量	県北農業研究所 作物研究室	水稲用除草剤試験方法に関する研修会	茨城県牛久市	26.4.24～25
上席専門研究員 中西 商量	県北農業研究所 作物研究室	雑草生態及び除草剤試験に関する研修会	茨城県つくば市	26.8.20～22
上席専門研究員 大里 達朗	県北農業研究所 作物研究室	日本作物学会東北支部(発表)	青森県弘前市(弘前大学)	26.8.21～22
専門研究員 高草木 雅人	県北農業研究所 作物研究室	日本育種学会第126回講演会	宮崎県都城市(南九州大学)	26.9.26～27
専門研究員 高草木 雅人	県北農業研究所 作物研究室	日本育種学会第127回講演会	東京都町田市(玉川大学)	27.3.21～22
主任専門研究員 横田 啓	県北農業研究所 園芸研究室	加工・業務用タマネギ研究会(発表)	神奈川県平塚市 (JA全農)	26.12.9
主任専門研究員 横田 啓	県北農業研究所 園芸研究室	北日本病害虫研究発表会(発表)	山形県山形市	27.2.19～20
主任専門研究員 横田 啓	県北農業研究所 園芸研究室	関東東山病害虫研究発表会	茨城県水戸市	27.3.19
主任専門研究員 横田 啓	県北農業研究所 園芸研究室	日本応用動物昆虫学会(発表)	山形県山形市	27.3.26～28
主査専門研究員 長嶺 達也 技師 福田 拓斗	県北農業研究所 園芸研究室	園芸学会平成27年度春季大会(発表)	千葉県千葉市	27.3.28～29

4 所内研修等

(1) 岩手県総務部人事課主催研修

職・氏名	所属部所・研究室	研修内容	派遣先	派遣期間
プロジェクト推進室長 八重樫 耕一	プロジェクト推進室	コンプライアンス推進員研修	人事課主催	26.4.18
プロジェクト推進室長 八重樫 耕一	プロジェクト推進室	新任担当課長等研修	人事課主催	26.6.3～5
主任専門研究員 白井 智彦	プロジェクト推進室	ファシリテーションスキル養成講座	人事課主催	26.8.25
主任専門研究員 寺田 道一	プロジェクト推進室	交渉力向上講座	人事課主催	26.9.1～2
プロジェクト推進室長 八重樫 耕一	プロジェクト推進室	eラーニング 企業会計講座〔基礎編〕	人事課主催	26.10～12
プロジェクト推進室長 八重樫 耕一	プロジェクト推進室	eラーニング マーケティング講座	人事課主催	26.10～12
上席専門研究員 吉田 宏	プロジェクト推進室	eラーニング 企業会計講座〔基礎編〕	人事課主催	26.10～12
主任専門研究員 白井 智彦	プロジェクト推進室	eラーニング プレゼンテーション講座	人事課主催	26.10～12
主任専門研究員 藤田 智美	プロジェクト推進室	eラーニング 論理的思考力向上講座	人事課主催	26.10～12
主任専門研究員 藤田 智美	プロジェクト推進室	eラーニング 問題発見・解決力向上講座	人事課主催	26.10～12
主任 高橋 俊也	企画管理部 総務課	能力開発研修 「行政実務入門講座」	人事課主催	26.9.8～9
農業経営研究室長 村上 和史	企画管理部 農業経営研究室	新任担当課長等研修	人事課主催	26.6.3～5
主査専門研究員 前山 薫	企画管理部 農業経営研究室	能力開発研修 「経済学入門講座」	人事課主催	26.10.20～21
主査専門研究員 前山 薫	企画管理部 農業経営研究室	eラーニング 企業会計講座【実務編】	人事課主催	26.10～12
主査専門研究員 前山 薫	企画管理部 農業経営研究室	eラーニング 問題発見・解決力向上講座	人事課主催	26.10～12
主任専門研究員 松浦 貞彦	企画管理部 農業経営研究室	eラーニング マーケティング講座	人事課主催	26.10～12
主査専門研究員 仲條 眞介	技術部 作物研究室	eラーニング 問題発見・解決力向上講座	人事課主催	26.9.30～ 12.26
主査専門研究員 仲條 眞介	技術部 作物研究室	eラーニング マーケティング講座	人事課主催	26.9.30～ 12.26
主任専門研究員 小館 琢磨	技術部 作物研究室	eラーニング 企業会計講座【基礎編】	人事課主催	26.9.30～ 12.26
技師 太田 裕樹	技術部 作物研究室	eラーニング マーケティング講座	人事課主催	26.9.30～ 12.26
野菜花き研究室長 高橋 守	技術部 野菜花き研究室	コンプライアンス推進員研修	人事課主催	26.4.17
野菜花き研究室長 高橋 守	技術部 野菜花き研究室	新任担当課長等研修	人事課主催	26.6.10～12
主査専門研究員 松浦 拓也	技術部 野菜花き研究室	新任主査研修	人事課主催	26.8.20～22
主査専門研究員 星 伸枝	技術部 野菜花き研究室	eラーニング マーケティング講座	人事課主催	26.9.30～ 12.26
主任専門研究員 山口 貴之	技術部 野菜花き研究室	eラーニング マーケティング講座	人事課主催	26.9.30～ 12.26

職・氏名	所属部所・研究室	研修内容	派遣先	派遣期間
主任専門研究員 阿部 弘	技術部 野菜花き研究室	eラーニング マーケティング講座	人事課主催	26.9.30～ 12.26
専門研究員 太田 祐樹	技術部 南部園芸研究室	eラーニング マーケティング講座	人事課主催	26.9.30～ 12.26
専門研究員 太田 祐樹	技術部 南部園芸研究室	eラーニング プレゼンテーション講座	人事課主催	26.9.30～ 12.26
主任専門研究員 桐山 直盛	環境部 生産環境研究室	新採用職員指導担当者研修	人事課主催	26.4.24 26.6.17
技師 数藤 慶亮	環境部 生産環境研究室	新採用職員研修	人事課主催	26.4.15～18 26.6.17～20 26.10.22～24
病理昆虫研究室長 大友 令史	環境部 病理昆虫研究室	新任担当課長等研修	人事課主催	26.5.26-28
主任専門研究員 羽田 厚	環境部 病理昆虫研究室	能力開発研修 「経済学入門講座」	人事課主催	26.10.20-21
専門研究員 菅 広和	環境部 病理昆虫研究室	eラーニング プレゼンテーション講座	人事課主催	26.12.14
技師 小山田 早希	環境部 病理昆虫研究室	新採用職員研修	人事課主催	26.4.15～18 26.6.17～20 26.9.29～
病害虫防除部長 阿部 武美	病害虫防除部	新任総括課長等研修	人事課主催	26.5.8～9
主任主査 名久井 一樹	病害虫防除部 病害虫防除課	能力開発研修 「経済学入門講座」	人事課主催	26.10.20～21
主任 佐藤 美和子	病害虫防除部 病害虫防除課	eラーニング 企業会計講座【基礎編】	人事課主催	26.9.30～ 12.26
技師 廣田 志紀子	病害虫防除部 病害虫防除課	eラーニング 企業会計講座【基礎編】	人事課主催	26.9.30～ 12.26
技師 田村 恵里佳	病害虫防除部 病害虫防除課	新採用職員研修	人事課主催	26.4.15～18 26.6.17～20 26.10.29～31
専門研究員 佐々木 康仁	畜産研究所 家畜育種研究室	中堅職員研修	人事課主催	26.7.9～11
専門研究員 神山 洋	畜産研究所 家畜育種研究室	中堅職員研修	人事課主催	26.9.3～5
家畜育種研究室長 齋藤 久孝	畜産研究所 家畜育種研究室	eラーニング 企業会計講座【基礎編】	人事課主催	26.9.30～ 27.1.31
主査専門研究員 児玉 英樹	畜産研究所 家畜育種研究室	eラーニング プレゼンテーション講座	人事課主催	26.9.30～ 27.1.31
専門研究員 神山 洋	畜産研究所 家畜育種研究室	eラーニング 論理的思考力向上講座	人事課主催	26.9.30～ 27.1.31
専門研究員 佐々木 康仁	畜産研究所 家畜育種研究室	eラーニング 問題発見・解決力向上講座	人事課主催	26.9.30～ 27.1.31
次長 吉田 力	畜産研究所	新任総括課長等研修(第2期)	人事課主催	26.5.19～20
次長兼種山畜産研 究室長 高橋 学	畜産研究所 種山畜産研究室	新任総括課長等研修(第1期)	人事課主催	26.5.8～9
次長兼種山畜産研 究室長 高橋 学	畜産研究所 種山畜産研究室	管理監督者のためのメンタルヘルスセミナー	人事課主催	26.9.8
上席専門研究員 昆野 勝	畜産研究所 種山畜産研究室	eラーニング 論理的思考能力向上講座	人事課主催	26.10～27.1
専門研究員 澤田 建	畜産研究所 種山畜産研究室	eラーニング プレゼンテーション講座	人事課主催	26.10～27.1

職・氏名	所属部所・研究室	研修内容	派遣先	派遣期間
主査 村上 昭樹	畜産研究所 種山畜産研究室	能力開発研修 「行政法実務入門講座」	人事課主催	26.9.8～9
総務課長 舘ヶ澤 寛	県北農業研究所 総務課	新任担当課長等研修	人事課主催	26.6.3～5
上席専門研究員 大里 達朗 上席専門研究員 中西 商量	県北農業研究所 作物研究室	eラーニング 企業会計講座(応用編)	人事課主催	26.9.9～ 12.27

(2) 岩手県農林水産部主催研修

職・氏名	所属部所・研究室	研修内容	派遣先	派遣期間
技師 数藤 慶亮	環境部 生産環境研究室	平成26年度農林水産部新採用職員研修	農林水産部農林水産企画室主催	26.6.9～10
技師 数藤 慶亮	環境部 生産環境研究室	平成26年度農林水産部新採用職員農林漁家体験研修	農林水産部農林水産企画室主催	26.9.1～8
技師 小山田 早希	環境部 病理昆虫研究室	平成26年度農林水産部新採用職員研修	農林水産部農林水産企画室主催	26.6.9～10
技師 小山田 早希	環境部 病理昆虫研究室	平成26年度農林水産部新採用職員農林漁家体験研修	農林水産部農林水産企画室主催	26.9.17～23
技師 田村 恵里佳	病虫害防除部 病虫害防除課	平成26年度農新水産部新採用職員研修	農林水産部農林水産企画室主催	25.6.9～10
技師 田村 恵里佳	病虫害防除部 病虫害防除課	平成26年度農林水産部新採用職員農林漁家体験研修	農林水産部農林水産企画室主催	26.7.22～8.1

(3) 所内研修

研修会名称	所属部所・研究室	研修内容	主催	開催日
情報セキュリティ研修会	本部	情報の安全・安心10のポイント・情報セキュリティ対策 講師:研究企画室員	研究企画室	26.4.11
会計事務等研修会	本部	会計の基本原則、適正な会計事務処理の方法、経理事務処理方法等 講師:総務課員	総務課	①26.6.27 ②26.12.17
交通安全研修	本部	①啓発ビデオ、交通事故の発生状況ほか 講師:北上警察署 交通課長 ②啓発ビデオ、事故発生時の対応ほか 講師:総務課長	総務課	①26.7.16 ②27.3.12
AED操作研修会	本部	AEDの正しい操作方法について 講師:北上消防署員	総務課	26.9.2
交通安全研修	畜産研究所	交通安全の啓発ビデオ上映、交通安全知識 講師:盛岡西警察署交通課長	総務課	26.9.11
三公所合同交通安全研修会	県北農業研究所	交通安全の啓発ビデオ上映、講話 講師:二戸警察署員	総務課	26.10.2

5 所内セミナー等

名 称	開催期日	内 容	参集人員
【本部】 [プロジェクト推進室] プロジェクト推進室ゼミ	26.4.9	先端技術展開事業現地状況調査・圃場担当農家との意見交換 (農業経営研究室とも連携)	7 名
	26.12.17	会計事務等研修・油漏れ時対応研修 (総務課主催の研修を室内ゼミに位置付け)	6 名
[企画管理部] 所内ゼミ (技術部ゼミ合同開催)	27.3.4	中国山地(島根県)における地域営農システムの先進事例調査 前山 薫(農業経営研究室 主査専門研究員) (中国黒竜江省農業科学院の訪問) 菅原 浩視(作物研究室 室長)	40 名
[技術部] 技術部ゼミ	26.6.4	研究環境の変化とこれからの取り組みについて 佐々木 仁(技術部長)	11 名
	26.7.9	北限のユズの加工利用と推進する一次加工技術の開発と新商品開発について 杉本 圭一郎(長岡香料(株) 技術開発研究所 係長)	23 名
	27.2.12	サトイモ/リンドウ×サトイモ 阿部 弘(野菜花き研究室 主任専門研究員)	15 名
	27.3.4	黒竜江省農業科学院等の訪問 菅原 浩視(作物研究室 室長)	32 名
	27.3.19	農大生と見たカリフォルニア農業 佐々木 仁(技術部長) 川代早奈恵 5年間の軌跡 川代 早奈恵(作物研究室 専門研究員)	20 名
[環境部] 環境部ゼミ	26.7.28	土壌中の交換性カリ含量の改良による大豆の放射性セシウム吸収抑制効果 桐山 直盛 (生産環境研究室 主査専門研究員) ※東北農業研究発表会プレ発表	6 名
	26.8.28	岩手県における水田土壌の施肥管理と化学性の変化 高橋 彩子 (生産環境研究室 専門研究員) ※日本土壌肥料学会プレ発表	6 名
	26.11.19	先端技術展開事業現地圃場視察研修	13 名
	26.2.12	北日本病害虫研究発表会(2015.2.19～20開催・山形市)の講演予行演習	7 名

名 称	開催期日	内 容	参集人員
[病害虫防除部] 病害虫防除部オープンゼミ	26.6.3	ダイズウコンノメイガの発生活長と要防除水準 講師:久保田 真衣(病理昆虫研究室 専門研究員) 水稻「ひとめぼれ」における穂いもち防除の収量・品質に対する影響	42 名
	27.1.23	普及指導における病害情報ネットワークの活用と病原菌(炭疽病菌)の最新分類事情 講師:菅 広和(病理昆虫研究室 主任専門研究員)	30 名
	27.2.17	岩手県における水田内雑草と斑点米被害の実態について 講師:宍戸 貴洋(病害虫防除所 主任) アカスジカスミカメによる斑点米被害の実態について 講師:加進 丈二(宮城県古川農業試験場) 除草剤の使用のポイント 講師:尾形 茂(作物研究室 上席専門研究員)	80 名
[畜産研究所] 第1回所内セミナー(予演会)	26.7.3	新播草地における播種翌年の一番草刈取前のエゾノギシギシに る効果的な除草剤 山形 広輔(家畜飼養・飼料研究室 専門研究員) 岩手県の和牛集団における地方病性牛白血病発症抵抗性に関する 伝子と枝肉形質との関連 熊谷 祐宏(家畜育種研究室 専門研究員) 自然交配後の追い移植による双子生産 太田原 健二(外山畜産研究室 主査専門研究員)	10 名
第2回所内セミナー(予演会)	26.8.20	黒毛和種去勢肥育牛における給与飼料のNFC/DIPと尿石症発症 の関連性 児玉 英樹(家畜育種研究室 主査専門研究員)	8 名
第3回所内セミナー(予演会)	26.9.25	豚肉の官能評価事例について 佐々木 康仁(家畜育種研究室 専門研究員)	8 名
第4回所内セミナー(予演会)	26.11.20	パークシャー種肥育後期豚に飼料用米55%配合飼料を給与した の発育・肉質への影響と官能評価結果について 佐々木 康仁(家畜育種研究室 専門研究員)	10 名
第5回セミナー(予演会)	26.3.19	牧草放射性セシウム濃度に与える影響 佐藤 まり子(家畜飼養・飼料研究室 主任専門研究員)	8 名
[県北農業研究所] 第1回所内ゼミ	26.6.12	商品説明会(園芸研究室)	20 名
第2回所内ゼミ	26.6.27	商品説明会(作物研究室)	20 名
第3回所内ゼミ	26.7.30	統計入門 及川 一也(所長) 大里 達朗(作物研究室 上席専門研究員) 中西 商量(作物研究室 上席専門研究員)	12 名
第4回所内ゼミ	27.3.18	学会等発表報告会 及川 一也(所長) 横田 啓(園芸研究室 主査専門研究員) 福田 拓斗(園芸研究室 技師)	10 名

VII 試験研究以外の業務概要

VII 試験研究以外の業務概要

1 作物の原々種の採種

(1) 主要農作物種子法に基づく原々種種子の生産

種 類	品 種	面 積 (a)	採種量 (kg)	備考 (採種場所等)
水稻(うるち)	どんびしゃり	3	56	農業研究センター
酒造好適米	ぎんおとめ	2	30	〃
	吟ぎんが	2	11	〃
水稻(もち)	ヒメノモチ	3	37	〃
	もち美人	2	19	〃
小麦	銀河のちから	20	180	〃
大豆	シュウリュウ	11	47	〃

(2) その他原々種種子の生産

種 類	品 種	面 積(a)	採種量(単位)	備考(採種場所等)
小豆	ベニダイナゴン	3	47(kg)	農業研究センター
りんどう	NonHb	—	4(ml)	〃
	Vir	—	9(ml)	〃
	Ha	—	38(ml)	〃
	YRy	—	28(ml)	〃
	YRy II	—	24(ml)	〃
	Ha II	—	43(ml)	〃
	Ba	—	19(ml)	〃

2 作物の原種の採種

(1) 主要農作物種子法に基づく原種種子の生産

種 類	品 種	面 積 (a)	採 種 量 (kg)	備 考 (採種場所等)
水稻うるち	ひとめぼれ	402	13,730	農業研究センター
	あきたこまち	96	2,760	〃
	どんびしゃり	29	640	〃
酒造好適米	吟ぎんが	7	158	農業研究センター
	結の香	4	78	〃
水稻非主食用米	つぶみのり	27	863	農業研究センター
	つぶゆたか	25	1,022	〃
水稻もち	ヒメノモチ	50	1,420	紫波町
	もち美人	13	243	農業研究センター
小麦	ナンブコムギ	225	4,180	農業研究センター
	ゆきちから	150	2,820	〃
	銀河のちから	20	150	〃
大豆	ナンブシロメ	64	1,760	〃
	リュウホウ	78	1,440	〃
	シュウリュウ	59	900	〃

(2) その他原種種子の生産

種 類	品 種	面 積(単位)	採種量(kg)	備考(採種場所等)
小豆	-	-	-	-
そば	-	-	-	-
ヒエ	ねばりっこ3号	-	4	県北農業研究所
キビ	キビ岩手糯1号	-	20	〃
アワ	ゆいこがね	-	20	〃

3 種苗等の配布

(1) 主要農作物種子法に基づく種苗の配布

種 類	品 種	数 量(kg)	配 布 先
水稻うるち (平成27年採種圃播種用)	ひとめぼれ	11,520	(社) 岩手県農産物改良種苗センター
	あきたこまち	2,760	〃
	いわてっこ	1,380	〃
	どんびしゃり	460	〃
	かけはし	260	〃
	ササニシキ	180	〃
酒造好適米 (平成27年採種圃播種用)	ぎんおとめ	20	(社) 岩手県農産物改良種苗センター
	吟ぎんが	70	〃
水稻非主食用米 (平成27年採種圃播種用)	つぶゆたか	580	(社) 岩手県農産物改良種苗センター
	つぶみのり	470	〃
水稻もち (平成27年採種圃播種用)	ヒメノモチ	1,100	(社) 岩手県農産物改良種苗センター
	もち美人	128	〃
小麦原種 (26年採種圃播種用)	ナンブコムギ	4,180	(社) 岩手県農産物改良種苗センター
	ゆきちから	2,820	〃
	ネバリゴシ	175	〃
	銀河のちから	150	〃
大豆原種 (26年採種圃播種用)	ナンブシロメ	620	(社) 岩手県農産物改良種苗センター
	リュウホウ	1,170	〃
	シュウリュウ	35	〃
	青丸くん	12	〃
	すずほのか	3	〃
	コスズ	6	〃

注) 旧年産の種子も供給していること。

(2) その他種苗の配布

種 類	品種・系統	数量(単位)	配 布 先
水稻新形質米等 (平成26年一般播種 用)	きらほ	280(kg)	(社) 岩手県農産物改良種苗センター (前年未掲載分)
水稻新形質米等 (平成27年一般播種 用)	きらほ	550(kg)	(社) 岩手県農産物改良種苗センター
	ゆきおとめ	15(kg)	〃
小豆原種	岩手大納言	8(kg)	(社) 岩手県農産物改良種苗センター
ヒエ原種			配布実績無し
キビ原種	キビ岩手糯1号	0.08(kg)	(社) 岩手県農産物改良種苗センター
アワ原種	大槌10	0.2(kg)	〃
	ゆいこがね	0.25(kg)	〃
そば原種	岩手早生		配付実績無し
えだまめ原種			配付実績無し
りんどう	採種用母株(組織培養苗)		
	AZH20	30(本)	(社) 岩手県農産物改良種苗センター
	AZP2	82(本)	〃
	YRy	217(本)	〃
	採種用母株(実生苗)		
	ETC	360(本)	(社) 岩手県農産物改良種苗センター
	ENg	160(本)	〃
	ITc	224(本)	〃
	Fst	112(本)	〃
	AZA	160(本)	〃
	HO	800(本)	〃
	Gku	200(本)	〃
	AZP2	300(本)	〃
	Ha	1,214(本)	〃
	YRy II	280(本)	〃
Ha II	270(本)	〃	
Ba	112(本)	〃	
リンゴ	苗木生産用穂木		
	岩手7号(紅いわて)	11(kg)	(社) 岩手県農産物改良種苗センター
	大夢	3(kg)	〃

4 県有種雄牛の精液の供給

(畜産研究所種山畜産研究室:平成27年3月31日現在)

(1) 黒毛和種

(単位:本)

種雄牛の名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
菊福秀	591	535	599	573	451	460	428	485	445	359	380	409	5,715
花安勝	499	274	286	313	241	328	223	288	297	215	250	190	3,404
緑乃大地	291	190	175	103	185	75	78	115	100	133	115	150	1,710
古都乃花	125	60	234	100	33	0	48	18	35	10	100	5	768
月山桜	30	50	86	60	60	105	55	35	18	5	73	122	699
来待招福	35	45	130	51	93	15	45	34	15	23	20	47	553
百合茂勝	10	30	50	21	35	80	19	65	115	35	27	64	551
山根雲	19	10	110	20	20	0	70	44	67	20	5	94	479
雪乃花	5	68	51	30	40	45	60	0	67	35	15	50	466
絹美継	10	60	5	25	15	15	0	18	95	50	45	55	393
菊安舞鶴	30	115	41	25	13	20	0	0	65	13	20	10	352
八重実福	0	0	0	0	0	0	60	55	50	5	30	35	235
秀福安	15	0	62	5	20	25	5	15	0	23	5	40	215
花金幸	10	0	30	45	0	0	30	5	30	5	0	25	180
奥安美継	30	0	30	30	0	20	0	0	0	30	0	0	140
優成	30	20	10	10	10	0	5	15	10	10	10	0	130
晴奈	25	20	30	20	30	0	0	0	0	0	0	0	125
北昭国	0	0	0	0	0	0	0	0	120	0	0	0	120
菊茂勝	0	0	0	0	0	0	0	0	0	100	0	0	100
平花丸	0	0	5	0	3	0	25	0	30	10	0	5	78
その他	15	40	25	37	10	56	5	5	50	30	28	5	306
計	1,770	1,517	1,959	1,468	1,259	1,244	1,156	1,197	1,609	1,111	1,123	1,306	16,719

(2) 日本短角種

(単位:本)

種雄牛の名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
若鯨	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
高福	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	10
辰錦	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	10
木川12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	5
民姫	25	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	25
松福	15	0	0	0	0	5	3	0	0	0	0	0	23
計	43	0	0	0	0	5	3	0	0	0	0	25	76

5 種豚、種鶏等の配布

(畜産研究所家畜育種研究室:平成27年3月31日現在)

(1) 種豚の配布

品 種	種 類			配 布 先
	雌(頭)	雄(頭)	計(頭)	
L	0	0	0	県内養豚農場
B	3	0	3	県内養豚農場
LW	0	0	0	
計	3	0	3	

(2) 種鶏等の配布

品 種	種 類			配 布 先
	雌(羽)	雄(羽)	計(羽)	
南部かしわ雛	3,812	460	4,272	岩手しずくいし南部かしわ生産組合他

6 寄託放牧

(畜産研究所外山畜産研究室:平成26年5～10月)

(1) 牛

品 種	種 類			計(頭)
	成牛雌(頭)	成牛雄(頭)	子牛(頭)	
日本短角種	50	1	44	95

(2) 馬

品 種	種 類			計(頭)
	成馬雌(頭)	成馬雄(頭)	子馬(頭)	
ブル系等	6	5	3	14

VIII 人事、予算、財産

Ⅷ 人事、予算、財産

1 岩手県農業研究センター予算 (H26年度・2月現計)

(単位:千円)

区 分	(内 訳)	予 算 額
【農業費】		
人件費(本部・県北)		765,668
庁舎管理費(本部)		121,840
ほ場管理費(本部)		55,093
ふれあい公園管理運営費		13,776
庁舎管理費(県北)		24,684
ほ場管理費(県北)		8,396
試験研究費(国庫、委託試験等)		271,189
(1)植物防疫研究費	11,993	
(2)土壌対策研究費	3,885	
(3)外部資金等農業試験研究費	255,311	
高生産性農業新技術開発促進研究費(県単研究費)		19,745
主要農作物採種管理費		16,917
令達事業(本部)		
令達事業(県北)		
合 計		1,297,308
【畜産業費】		
人件費(畜産)		413,272
庁舎管理費		59,247
飼育管理費		111,932
管理運営費(種山畜産研究室分)		143,956
試験研究費(国庫、委託試験等)		4,492
農業関係試験研究委託事業	4,492	
高生産性畜産新技術開発促進研究費(県単研究費)		17,156
令達事業		13
合 計		750,068
全 体 計		
		2,047,376

2 建物・用地の面積及び飼養家畜数 (H27.3.31現在)

(1) 建物・用地の面積

	用 地 (ha)							建物(m ²)		
	耕 地					林野等	施設用地	総面積	棟数	延面積
	水田	畑	樹園地	採草放牧地	小計					
本 部	30	28	21		79	16	23	118	73	27,776
北 上	26	18	21		65		18	84	32	19,198
【主な施設面積(内数)】										
管理棟										2,911
実験研究棟										5,057
作物調査研究棟										716
育苗ガラス温室										992
穀物乾燥原種調整調査棟										860
園芸作物調査棟										716
生産環境調査棟										608
ふれあい公園						16	2	17	13	3,431
南部園芸研究室							0.5	0.5	8	1,832
旧銘柄米開発研究室	4	1			5		2	7	25	4,306
その他		8			8		0	8	3	841
畜産研究所		99		1,596	1,695	302	32	2,030	150	37,670
滝沢(本所)		93			93	62	27	182	92	24,047
外山畜産研究室		6		1,484	1,490	132	5	1,627	43	7,171
種山畜産研究室				112	112	108	0.4	221	15	6,452
県北農業研究所	1	11	0		12		8	20	17	8,083
合 計	31	138	21	1,596	1,787	318	63	2,168	240	73,529

(2) 飼養家畜頭数 (H27.2.1現在)

(単位:頭・羽)

種別性別		雄	雌	計	品種別頭羽数
乳用牛	経産牛		33	33	ホルスタイン種 59
	育成牛(子牛含む)		26	26	
肉用牛	(滝沢)	77	27	104	黒毛和種 40、日本短角種 57、交雑種 6
	(外山)	(雄32, 去勢45)	129	129	
	(種山)	73	42	115	黒毛和種 134、交雑種 15
		(雄42, 去勢31)			
牛 計		150	257	407	
豚	種豚	15	29	44	【種豚の内訳】 パークシャー種 25、ランドレース種(イワテハヤチネL2) 6、大ヨークシャー種 1、デュロック種 1、雑種 3
	その他	53	48	101	
	計	68	77	145	
鶏	種鶏	398	1,399	1,797	岩手地鶏 265、岩手大型ロード 409、基礎鶏 354、ホワイトロックロード 662、軍鶏 292、ホワイトロック 49

3 種苗登録、特許等

(1) 種苗登録

種 類	登録(出願)品種の名称	登 録 番 号	登 録 年 月 日	備 考
りんどう	いわて	第 311号	S52. 9. 7	育成者権消滅
りんどう	いわて乙女	第 544号	S59. 3.19	〃
りんどう	ジョバンニ	第 1,101号	S61. 8. 8	〃
りんどう	イーハトーヴォ	第 1,100号	S61. 8. 8	〃
大豆	緑良	第 2,517号	H 2.12. 5	〃
大豆	緑翠	第 2,516号	H 2.12. 5	〃
りんどう	アルビレオ	第 2,553号	H 2.12. 5	〃
りんどう	マシリイ	第 3,073号	H 4. 2.29	〃
りんどう	ホモイ	第 3,074号	H 4. 2.29	〃
ぶどう	エーデルアアーリー	第 3,404号	H 5. 3.10	〃
りんご	きおう	第 3,947号	H 6. 3.14	〃
りんどう	アルタ	第 4,085号	H 6. 8.22	〃
稲	かけはし	第 4,410号	H 7. 3.23	〃
稲	ゆめさんさ	第 4,411号	H 7. 3.23	育成者権放棄
りんどう	ポラーノ ホワイト	第 4,999号	H 8. 3.18	育成者権消滅
りんどう	あおこりん	第 7,713号	H12. 2.22	品種登録取消
りんどう	ももこりん	第 7,714号	H12. 2.22	
りんどう	ポラーノ ブルー	第 7,715号	H12. 2.22	
大豆	星めぐり	第 7,756号	H12. 2.22	
稲	吟ぎんが	第10,471号	H14. 9. 4	
スターチス	アイスター モーブ	第10,673号	H14. 9.30	育成者権放棄
スターチス	アイスター ラベンダー	第10,674号	H14. 9.30	〃
スターチス	アイスター ライラックブルー	第10,675号	H14. 9.30	〃
スターチス	アイスター ロージーピンク	第10,676号	H14. 9.30	〃
スターチス	アイスター ライラック	第10,677号	H14. 9.30	〃
稲	ぎんおとめ	第10,963号	H15. 2.20	品種登録取消
大豆	ちゃげ丸	第11,099号	H15.3.17	
大豆	ぷっくらこ	第11,100号	H15.3.17	
稲	いわてっこ	第12,177号	H16. 8.18	
きく	アイمامアアーリーイエロー	第13,034号	H17. 3.23	
きく	アイمامホワイト	第13,035号	H17. 3.23	
きく	アイمامピンク	第13,036号	H17. 3.23	
きく	アイمامイエロー	第13,037号	H17. 3.23	
きく	アイمامホワイトピーチ	第13,038号	H17. 3.23	
稲	もち美人	第13,295号	H17. 9.13	

種 類	登録(出願)品種の名称	登 録 番 号	登 録 年 月 日	備 考
りんご	黄香	第13,771号	H18. 2.27	
きく	アイمامレモンイエロー	第13,800号	H18. 2.27	
きく	アイمامオータムホワイト	第13,801号	H18. 2.27	
きく	アイمامパープルレッド	第13,802号	H18. 2.27	
きく	アイمامアーリーホワイト	第13,803号	H18. 2.27	
きく	アイمامオレンジ	第15,952号	H19.12.18	
きく	アイمامレッド	第15,953号	H19.12.18	
稲	どんびしゃり	第16,604号	H20. 3.17	
りんどう	マジエル	第16,725号	H20. 3.17	
りんどう	キュースト	第16,726号	H20. 3.17	
スターチス	アイスター ソフトピンク	出願番号第18,507号	出願(H17. 7. 8)	登録申請取り下げ
きく	アイمامオータムイエロー	第17,727号	H21. 3. 6	
きく	アイمامオータムレッド	第17,728号	H21. 3. 6	
きく	アイمامピュアホワイト	第17,968号	H21. 3.19	
りんご	岩手7号(商標:紅いわて)	第18,415号	H21. 9.10	
りんどう	いわて夢あおい	第18,762号	H22. 1.14	
りんどう	ももずきんちゃん	第20,210号	H23. 1.25	
りんどう	いわてDPB1号	第20,345号	H23. 2.15	
稲	かぐやの舞	第20,350号	H23. 2.15	
稲	つづみ星	第20,351号	H23. 2.15	
稲	つづみのり	第20,535号	H23. 3. 9	
稲	あけのむらさき	第20,710号	H23. 3.18	
稲	吟さやか	第20,711号	H23. 3.18	
稲	ゆきおとめ	第20,712号	H23. 3.18	
稲	つづゆたか	第20,716号	H23. 3.18	
ひえ	ねばりっこ1号	第21,577号	H24. 3. 9	
ひえ	ねばりっこ2号	第21,578号	H24. 3. 9	
ひえ	ねばりっこ3号	第21,579号	H24. 3. 9	
りんご	大夢	第22,369号	H25. 3. 6	
ぶどう	エーデルロツソ	第22,547号	H25. 3.25	
りんどう	いわて夢みのり	第22,946号	H26. 1.23	
稲	結の香	第23,454号	H26. 6.30	
りんどう	いわて夢みつき	出願番号第27,278号	出願(H24. 8. 6)	
稲	きらほ	出願番号第27,998号	出願(H25. 3.15)	
あわ	ゆいこがね	出願番号第28,551号	出願(H26. 2. 5)	
きび	ひめこがね	出願番号第29,612号	出願(H26.10. 3)	
りんどう	いわてLB-3号	出願番号第29,679号	出願(H26.10.29)	
りんどう	いわてLB-4号	出願番号第29,680号	出願(H26.10.29)	

(2) 特許、実用新案

名 称	出願・公開番号(年月日)	登録番号(年月日)
米を原料とした飲料の製造方法	特開平03-272671 (H 3.12. 4)	1990534(H 7.11. 8) ※H22. 3.19存続期間満了
牧草種子の播種方法及び牧草種子の散布用の複合肥料ペレット	特開平10-276514 (H10.10.20)	(公開・拒絶査定)
マクロシードペレットの散布装置	特開平10-276516 (H10.10.20)	(公開・拒絶査定)
遺伝子導入りんご及びその作出法	特開2000-270700 (H12.10. 3)	(公開・拒絶査定)
果樹の育成状態評価方法	特開2004-147539 (H16. 5.27)	4026684(H19.10.19)
土壌用有機成分の推定装置	特開2005-017115 (H17. 1.20)	3902160(H19. 1.12)
ハトムギ食品の製造方法	特開2005-040104 (H17. 2.17)	3842253(H18. 8.18)
家畜用胚移植器	特開2006-181078 (H18. 7.13)	4111523(H20. 4.18)
降霜予測装置	特開2006-189403 (H18. 7.20)	4053544(H19.12.14)
有機肥料の製造方法及び有機肥料	特開2006-265027 (H18.10. 5)	4240492(H21. 1. 9)
物質の成分推定方法及び物質の成分推定装置	特開2007-187486 (H19. 7.26)	4258780(H21. 2.20)
水田作業機の排水溝形成装置	特開2010-124775(H22. 6.10)	4854045(H23.11. 4)
りんどうの鮮度保持用包装袋及びりんどうの保存方法	特開2010-163197(H22. 7.29)	(公開・拒絶査定)
高設栽培装置及びこれを用いた高設栽培方法	特開2010-227008(H22.10.14)	4900735(H24. 1. 13)
樹皮繊維培土の製造方法及び樹皮繊維培土	特開2012-024006(H24. 2. 9)	5013558(H24. 6.15)
切断装置	特願2013-084786(H25. 4.15)	(出願中)
植物の栽培方法および植物の栽培装置	特願2014-051011(H26. 3.14)	(出願・審査請求中)

(3) 一般に公開しているプログラム等

名 称	公 開 (年月日)	バージョン	担当研究室(開発者)
「生産技術体系」及び「営農計画作成支援シート」	平成18年 2月22日	ver.1.2	農業経営研究室 (主任専門研究員 前山 薫)
集落営農組織化効果試算シート	平成18年 6月 9日	ver.0.1	農業経営研究室 (主任専門研究員 前山 薫)
作業可能日数率算出支援シート	平成19年 3月30日	ver.1.0	生産工学研究室 (主任専門研究員 大里 達朗)
水稻施肥設計支援シート	平成21年 7月 6日	ver.3.0	生産環境研究室 (主任専門研究員 大友 英嗣)
園芸畑作施肥設計支援シート	平成24年 2月 7日	ver.1.0	生産環境研究室 (主任専門研究員 大友 英嗣)

4 表彰

表彰名称(表彰団体)	表彰の対象者(組織)				表彰の対象となった事績内容	表彰年月日
植物調節剤功労者表彰 (公益財団法人日本植物調節剤研究会)	企画管理部 技術部 環境部 県北農業研究所		部長 部長 部長 所長	阿部 潤 佐々木 仁 多田 勝郎 及川 一也	植物調節剤に関する検査・検定、研究開発及び普及啓発に貢献	26.12.12
(内部表彰) 事績顕著者表彰 (岩手県知事表彰)	県北農業研究所	総務課	運転技士兼技能員	日山 千代司	多年にわたり技能員としてその業務に精励し、本県農業の振興に尽くした	26.10.29
(内部表彰) 平成26年度第1回 農業研究センター 所長表彰 (通算25回)	(該当者なし)					
(内部表彰) 平成26年度第2回 農業研究センター 所長表彰 (通算26回)	プロジェクト推進室	プロジェクト推進室	主任専門研究員	○藤田 智美	ディスク式畑用中耕除草機を活用した大豆の一環栽培体系の確立	27.2.16
	企画管理部 ※グループ	農業経営研究室	主任専門研究員	松浦 貞彦		
	企画管理部 ※個人	農業経営研究室	主査専門研究員	前山 薫	第50回東北農業経済学会岩手大会の開催・運営に貢献	
	企画管理部 ※個人	総務課	主任	高橋 俊也	長年懸案であった産業廃棄物の処分を実現	
	技術部 ※個人	果樹研究室	主査専門研究員	及川 耳呂	りんごボット養成フェザー育苗成方法	
	技術部 ※個人	果樹研究室	主査専門研究員	川守田 真紀	りんご品種「紅ロマン」の本種特性の解明及びびりんご「シナノゴールド」の越年出荷における収穫時期の目安の解明	
	技術部 ※個人	作物研究室	専門研究員	川代 早奈恵	極良食味の晩生水稲系統「岩手118号」の育成	
	技術部 ※個人	野菜花き研究室	主査専門研究員	星 伸枝	エゾリンドウ難培養系統における増殖法の確立	
	技術部 ※個人	南部園芸研究室	主査専門研究員	山田 修	南部園芸研究室の再建と開所初年目の運営貢献	
	環境部 ※個人	病理昆虫研究室	主任専門研究員	菅 広和	水稲品種「ひとめぼれ」における穂いもち防除を省略した場合のリスク評価	
	環境部 ※個人	生産環境研究室	専門研究員	高橋 彩子	水稲用軽量育苗倍殿特性の解明及び本県水田土壌30年間の変化を取りまとめ二本土壌肥料学会で発表	
	環境部 ※個人	病理昆虫研究室	主任専門研究員	羽田 厚	リンドウホソハマキの防除体系の構築及び各種研究会等における研究成果の情報発信	
	環境部 ※個人	病理昆虫研究室	専門研究員	久保田 真衣	大豆のママシクイガに対する効率的な防除対策の確立	
	病害虫防除部 ※個人		主任	佐藤 美和子	岩手県におけるリンドウ黒班病の診断のポイント整理	
病害虫防除部 ※個人		主任	吉田 雅紀	岩手県におけるコナガのジアミド剤抵抗性発現の確認		

表彰名称(表彰団体)	表彰の対象者(組織)				表彰の対象となった事績内容	表彰年月日
(内部表彰) 平成26年度第回 農業研究センター 畜産研究所長表彰 (通算11回)	畜産研究所 ※グループ	総務課	主任主査 畜産専門員	○近藤 光宏 吉田 正弘	不明確となっていた畜産研究所の用地の境界や土地・建物の数量などを確定したほか敷地内の危険木伐採や廃タイヤ・鉄くずの廃棄物処理を確実にするなど適正な財産管理の運営に尽力	27.3.20
	畜産研究所 ※グループ	家畜育種研究室	技能力員 主任技能力員 主任技能力員 技能力員 畜産専門員 臨時職員 臨時職員	○葉木沢 一也 工藤 明彦 菅原 薫 唐芳 聖 岩崎 春美 荻間澤 藤夫 石山 秋男	牛の運動場の新設や飼料溢しを防止する飼槽ネットの設置など創意工夫による取組みを通じ適正な飼養環境の確保に努め家畜の健康管理促進や研究精度の向上に貢献	
	畜産研究所 ※グループ	家畜育種研究室	主任技能力員 主任技能力員 技能力員 臨時職員 畜産専門員 専門研究員	○米沢 健治 永洞 俊司 西野 聖 山沢 博幸 金崎 修一 佐々木 康仁	パークシャー種肥育後期豚における現地試験において職場一体となり飼料用玄米による国内最大給与割合の給与体系を実践した結果慣行配合飼料と遜色のない生産性と美味しい豚肉の形成を実証し養豚技術の向上に大きく貢献	
	畜産研究所 ※グループ	家畜育種研究室	主任技能力員 主任技能力員 主任技能力員 主任技能力員 主査専門研究員 日々雇用職員	○右京 隆二 鷲見 義信 細野 貴樹 佐々木 睦美 中村 真弓	育雛器の温源部分から雛が移動しないよう仕切り板を設置し夜間の死亡事故の減少につなげたほか老朽化している鶏舎設備を自ら修繕するなど適切な飼養環境の確保に努め雛の育成率の改善に貢献	
	畜産研究所 ※グループ	家畜飼養・飼料研究室	畜産専門員 日々雇用職員 日々雇用職員 日々雇用職員 専門研究員	○関村 武志 高橋 ミヨス 佐々木ミネ子 佐々木 清子 山形 広輔	機械による作業が困難な畑での手作業による石礫等の除去や牧草地でのスポット除草などきめ細かな作業を通じ未耕作畑の再生を図った結果飼料の増収が可能となり場内における飼料生産の一元化の実現に大きく貢献	
	畜産研究所 ※グループ	外山畜産研究室	主任技能力員 主任技能力員 主任技能力員 畜産専門員 畜産専門員	○荒木田 俊一 竹田 政則 鳴海 茂揮 藤原 時夫 室坂 光栄	黒毛和種の妊娠中後期における冬期屋外飼養技術の確立に向け屋外飼養施設の製作や改良及び管理手法等の開発を行い普及に努めた結果県内の繁殖農家においてその活用が進むなど本県の黒毛和種飼養管理技術の発展に大いに貢献	
	畜産研究所 ※グループ	種山畜産研究所	専門研究員 上席専門研究員	○澤田 建 昆野 勝	県有種雄牛の脂肪壊死症対策として平成26年10月に「種雄牛脂肪壊死症対策指針」を策定し定期検査体制を確立するなど種雄牛飼養管理技術の向上に貢献	
	畜産研究所 ※グループ	種山畜産研究所	主査 主査専門研究員	○村上 昭樹 西田 清	備品の現物調査を通じその所在場所や故障・破損等による使用可否の確認など行い所管換えや台帳削除などの事務処理を確実に実施するとともに写真での記録保存や修理履歴の表記など適正な備品管理運営に尽力	
畜産研究所 ※個人	総務課	主任技能力員	米沢 健治	長年にわたり技能力員として牛の飼養管理や飼料生産に加えパークシャー種豚の改良・飼料用米を活用した養豚技術などの幅広い試験研究分野において優れた技能と責任感で取り組みまれ円滑な研究の推進に貢献するとともに施設の点検整備を定着化する等職場環境の改善にも尽力		

表彰名称(表彰団体)	表彰の対象者(組織)				表彰の対象となった事績内容	表彰年月日
(内部表彰) 平成26年度第1回 農業研究センター 県北農業研究所長 表彰 (通算9回)	県北農業研究所 ※個人	園芸研究室	主任専門研究員	横田 啓	新たな特産作物タマネギの春まき作型の開発に貢献	26.10.31
	県北農業研究所 ※個人	作物研究室	専門研究員	高草木 雅人	雑穀新品種の開発と機能性研究及び成果の普及に貢献	
	県北農業研究所 ※グループ	総務課	運転技士兼技能員 主任技能員 技能員	○日山 千代司 清水 賢一 藤根 寛道	試験作物管理の工夫により業務の効率化を図るとともに度重なる気象災害の未然防止に貢献	
(内部表彰) 平成26年度第2回 農業研究センター 県北農業研究所長 表彰 (通算10回)	県北農業研究所 ※個人	作物研究室	上席専門研究員	大里 達朗	中山間地域において営農組織のモデル経営体の低コスト化を図るため、技術開発を行い、作業時間を一般的な栽培に比べて86%削減することを実証するなど、モデル経営体の可能性や経営改善に向け重要な成果を上げた。また、温暖化など気象変化が水稻栽培に及ぼす影響を明らかにし、成果は学会誌などで広く公表され、地域農業の振興に貢献した。	27.2.28
	県北農業研究所 ※個人	作物研究室	上席専門研究員	中西 商量	本県特産の6種類の雑穀の省力化に取り組み、地域農家が多く所有するポット田植機を汎用利用できるよう工夫改良を施し、ごく少ない経費で農家が導入できる雑穀移植機を開発した。この研究成果は普及センター等や学会誌や専門誌などを通じて広く公表され、地域農家が導入に向け強い関心を示している。	
	県北農業研究所 ※個人	総務課	主任主査	竹澤 秀典	長年の農業試験研究及び農政事務経験を活かして、農業試験研究の効率的な事務運営に継続的に取り組むとともに、エコオフィスの推進に積極的に取り組み、電気料と灯油料を前年に比べて27%削減するなど高い実績を上げた。	
	県北農業研究所 ※個人	園芸研究室	主査専門研究員	鹿糠 美雪	地域で新たに振興を図っている露地無側枝性ギクについて、産地に適する品種の特性を明らかにするとともに栽培技術を確立した。また、試験圃場を用いた指導会を開催するなど、生産者や指導機関に積極的に情報を提供し、産地の技術改善に利用されている。	

5 職員名簿

(平成27年3月31日現在)

職 名	氏 名	職 名	氏 名
所長	木 内 豊	[作物栽培・種子チーム]	
副所長	(欠 員)	上席専門研究員(総括)	荻 内 謙 吾
プロジェクト推進室長 〔水田農業チーム〕	八 重 樫 耕 一	主査専門研究員	尾 形 茂 茂
上席専門研究員(総括)	吉 田 宏	主査専門研究員	永 富 巨 人
主任専門研究員	寺 田 道 一	主任専門研究員	小 原 公 則
主任専門研究員	臼 井 智 彦	野菜花き研究室長	高 橋 守
主任専門研究員	藤 田 智 美	[野菜チーム]	
主任技能員	菅 野 輝 彦	主査専門研究員(総括)	松 浦 拓 也
企画管理部長	阿 部 潤	主任専門研究員	山 口 貴 之
研究企画室長 〔企画チーム〕	及 川 光 史	主任専門研究員	藤 尾 拓 也
上席専門研究員(総括)	熊 谷 拓 哉	[花きチーム]	
上席専門研究員	平 淵 英 利	上席専門研究員(総括)	内 藤 善 美
主任専門研究員	伊 勢 智 宏	主査専門研究員	星 伸 枝
主任専門研究員	土 澤 一 博	主任専門研究員	阿 部 弘
主任専門研究員	大 野 浩	主任専門研究員	中 里 崇
農業経営研究室長 〔経営チーム〕	村 上 和 史	南部園芸研究室長	川 村 浩 美
主査専門研究員(総括)	前 山 薫	主査専門研究員	山 田 修
主任専門研究員	松 浦 貞 彦	専門研究員	太 田 祐 樹
専門研究員	田 中 英 輝	専門研究員	清 宮 靖 之
総務課長 〔総務チーム〕	高 橋 啓 三	環境部長	多 田 勝 郎
主任主査(総括)	上 山 敦 稔	生産環境研究室長	小 林 卓 史
主任	織 田 恭 定	[環境チーム]	
主任	畠 山 聡 子	上席専門研究員(総括)	島 輝 夫
[管理チーム]	茨 島 あ ゆ み	主査専門研究員	菊 地 淑 子
主査(総括)	高 橋 俊 也	主任専門研究員	桐 田 直 盛
主任		専門研究員	高 橋 彩 子
技術部長	佐 々 木 仁	技師	数 藤 慶 亮
果樹研究室長 〔果樹チーム〕	小 原 繁	主任技能員	佐 藤 広 昭
上席専門研究員(総括)	佐 々 木 真 人	技能員	猪 澤 哲 哉
主査専門研究員	及 川 耳 呂	病理昆虫研究室長	大 友 令 史
主査専門研究員	川 守 田 真 紀	[病理チーム]	
主任専門研究員	浅 川 知 則	上席専門研究員(総括)	富 永 朋 之
主任技能員	菊 地 徳 章	主任専門研究員	菅 広 和
技能員	西 野 哲 仁	技師	小 山 田 早 希
技能員	小 黒 澤 清 人	[昆虫チーム]	
技能員	中 軽 米 徳 典	上席専門研究員(総括)	多 田 典 穂
作物研究室長 〔水稻育種子チーム〕	菅 原 浩 視	主任専門研究員	羽 田 厚
主査専門研究員(総括)	仲 條 眞 介	技師	久 保 田 真 衣
主任専門研究員	小 舘 琢 磨	主任	
専門研究員	川 代 早 奈 恵	主任	
技師	太 田 裕 貴	技師	
		[農薬指導チーム]	
		主任主査(総括)	名 久 井 一 樹
		主任	佐 藤 美 和 子
		技師	山 本 明 日 香
		技師	廣 田 志 紀 子

職名	氏名	職名	氏名
畜産研究所長	渡 辺 亨		
次長	小 野 寺 文 也	外山畜産研究室長	熊 谷 光 洋
次長	吉 田 力	上席専門研究員	増 田 隆 晴
次長	高 橋 学	主査専門研究員	太 田 原 健 二
総務課長	谷 地 誠	専門研究員	佐 々 木 正 俊
主任主査	近 藤 光 宏	主任技能員	荒 木 田 俊 一
主任	鷺 田 昭 雄	主任技能員	竹 田 政 則
主任技能員	小 林 雄 二	主任技能員	鳴 海 茂 揮
主任技能員	米 澤 健 治	種山畜産研究室長 (次長兼務)	高 橋 学
主任技能員	右 京 隆 二	上席専門研究員	昆 野 勝
主任技能員	工 藤 明 彦	主査	村 上 昭 樹
主任技能員	上 野 由 克	主査専門研究員	西 田 清
主任技能員	中 村 健	専門研究員	澤 田 建
主任技能員	菅 原 薫	主任技能員	斎 藤 和 一
主任技能員	永 洞 俊 司	主任技能員	佐 藤 洋 貴
主任技能員	細 野 貴 樹	主任技能員	松 本 徹
主任技能員	鷺 見 義 信	技能員	後 藤 克 明
主任技能員	水 澤 博 征		
技能員	畠 山 博 文	県北農業研究所長	及 川 一 也
技能員	上 澤 賢 輝	次長	鈴 木 良 則
技能員	谷 地 館 透	総務課長	館 ヶ 沢 寛
技能員	葉 木 澤 一 也	主任主査	竹 澤 秀 典
技能員	荒 屋 康 之	主任技能員	清 水 賢 一
技能員	西 野 聖	運転技士兼技能員	日 山 千 代 司
技能員	武 田 溪 介	技能員	藤 根 寛 道
技能員	唐 芳 聖		
家畜育種研究室長	齋 藤 久 孝	園芸研究室長 (次長兼務)	鈴 木 良 則
主査専門研究員	佐 々 木 睦 美	主査専門研究員(総括)	長 嶺 達 也
主査専門研究員	児 玉 英 樹	主査専門研究員	鹿 糠 美 雪
専門研究員	佐 々 木 康 仁	主任専門研究員	横 田 啓
専門研究員	神 山 洋	技師	福 田 拓 人
専門研究員	熊 谷 祐 宏	作物研究室長	高 橋 好 範
		上席専門研究員(総括)	大 里 達 朗
家畜飼養・飼料研究室長	藤 原 哲 雄	上席専門研究員	中 西 商 量
主任専門研究員	越 川 志 津	専門研究員	高 草 木 雅 人
主任専門研究員	佐 藤 ま り 子		
主任専門研究員	伊 藤 孝 浩		
主任専門研究員	尾 張 利 行		
専門研究員	山 形 広 輔		

IX 東日本大震災津波への対応

Ⅹ 東日本大震災への対応

1 農業研究センター復興加速プロジェクトチームの活動

(1) チーム会議の開催

会議の名称	開催回数	延べ対応者数
復興加速プロジェクトチーム会議	1	11

(2) 研修会、セミナーの開催

研修会・セミナー	開催日	延べ参加者数
リンゴ産地の早期再生をはかる早期成園化・品質向上セミナー	26.6.24	80
JA岩手中央 リンゴ部会女性部研修会	26.8.1	74
米崎わい化りんご生産組合「紅ロマン」試食会	26.8.26	12
参観デー 技術セミナー	26.9.5	25
紅いわて研修会	26.9.29	23
ユズ苗木植栽講習会	26.4.28	18
ユズ植栽園地巡回指導会	26.7.24	11
獣害対策研修会	26.5.22	20
ユズ冬季栽培講習会	26.12.19	10
ユズ加工品打ち合わせ	26.7.10	24
ワイン専用品種の特性にあった醸造方法の検討及び研修	26.9.25～26	2
加工専用品種のワイン酒室の検討	26.11.28	2
試験醸造ワインの検討	27.1.20	25
試験醸造ワインの検討会	27.3.4	20
食料生産地域再生のための先端技術展開事業研究成果発表会	26.12.18	130

(3) 復興支援業務の実施

業務内容	実施日数	延べ対応者数
復旧水田での地力改善による水稻安定生産実証	100	200

2 放射性物質に係る農業技術対策検討チームの活動

業務内容	開催回数	延べ対応者数
畜産研究所		
岩手県牧草地除染プロジェクトチーム検討会	4	17

3 農畜産物の放射性物質に測定に係る活動

業務内容	実施日数	延べ対応者数
本部		
県産農林水産物の放射性物質濃度の検査計画に基づく検査等	200	600
農地土壌の放射性物質モニタリング調査	100	60
畜産研究所		
牧草等放射線検査・調査 26年4月1日～27年3月31日	120	180
廃用牛の生体推定検査(岩手畜産流通センター)26年4月1日～27年3月31日	51	53

X 沿革

X 沿革

- 明治31年 種馬厩を盛岡市に設置。
- 明治34年 農事試験場(3部制:庶務・種芸・分析)を本宮村向中野(現盛岡市)に設置。
種馬厩を種畜場と改称。
- 明治35年 種畜場を盛岡市から滝沢村に移転。
- 明治36年 農事試験場に園芸部(4部制)を新設。
- 大正 2年 原蚕種製造所を胆沢郡水沢町(現奥州市水沢区)に設置。
- 大正 8年 農事試験場胆江分場を江刺郡愛宕村(現奥州市江刺区)に設置。
- 大正11年 原蚕種製造所を蚕業試験場(4係制:庶務・蚕種・試験・桑園)と改称。
- 大正12年 農事試験場に病虫害部(5部制)を新設。
外山御料牧場を種畜場に移管し、種畜場本場を玉山村(現盛岡市玉山区)に移転(滝沢は支場となる)。
- 昭和 2年 種鶏場を岩手郡巻掘村(現盛岡市玉山区)に設置。
- 昭和 5年 農事試験場軽米農場を九戸郡軽米町に設置。
蚕業試験場一戸桑園を二戸郡一戸町に設置。
- 昭和10年 農事試験場遠野試験地上閉伊郡松崎村(現遠野市)に設置。
- 昭和12年 種畜場本場を滝沢村に移転、玉山は外山支場となる。
蚕業試験場六原桑樹試験地を金ヶ崎町に設置。
- 昭和13年 蚕業試験場一戸桑園を一戸支場と改称。
- 昭和15年 農事試験場軽米農場を九戸分場と改称。
- 昭和21年 農事試験場高冷地試験地を二戸郡小鳥谷村(現一戸町)に設置。
- 昭和22年 農事試験場遠野試験地が国営に移管。
- 昭和23年 種鶏場を紫波郡日詰町(現紫波町)に移転。
- 昭和25年 農事試験場を農業試験場(4部制:総務・営農・農産・畜産)と改称。
農業試験場畜産部を種畜場と併設。
農業試験場葡萄試験地を稗貫郡大迫町(現花巻市大迫町)に設置。
農業試験場沿岸作物試験地を九戸郡長内村(現久慈市)、下閉伊郡豊間根村(現山田町)及び気仙郡小友村(現陸前高田市)に委託設置。
- 昭和26年 農業試験場南部試験地を気仙郡米崎村(現陸前高田市)に設置。
農業試験場に遠野試験地が国から移管。
農業試験場に農業経営研究部門設置。
工芸作物原種農場を雫石町に設置。
- 昭和28年 蚕業試験場を水沢市(現奥州市水沢区)龍ヶ馬場に移転。
- 昭和30年 農業試験場本場機構改革(8部制:庶務・種芸・化学・園芸・病虫害・経営・農機具・畜産)。
蚕業試験場機構改革(4部制:庶務・栽桑・養蚕・病理化学)。
- 昭和32年 蚕業試験場一戸支場を一戸分場と改称。
- 昭和36年 蚕業試験場一戸分場を二戸郡一戸町上野に新築移転。
- 昭和37年 農業試験場の園芸部、南部試験地及びぶどう試験地を分離して園芸試験場(3部制:庶務・果樹・蔬菜花卉)を北上市に設置。南部試験地及びぶどう試験地をそれぞれ、南部分場、大迫圃場と改称。
農業試験場胆江分場及び九戸分場をそれぞれ、県南分場、県北分場と改称。
種畜場に種鶏場及び農業試験場畜産部を併合して畜産試験場を滝沢村に設置。
農業試験場遠野試験地及び沿岸作物試験地を廃止。
工芸作物原種農場を農業試験場に統合し、原種部を設置。
- 昭和38年 農業試験場本場を盛岡市から滝沢村へ移転。
- 昭和39年 畜産試験場外山支場を外山試験地と改称。
- 昭和41年 農業試験場本場機構改革(4部制:庶務2係・技術・環境・経営)。
- 昭和44年 園芸試験場蔬菜花卉部を野菜花き部に改称。
- 昭和46年 農業試験場本場機構改革(科制導入。技術部:水田作科・畑作科・作業技術科、環境部:施肥改善科・土壌改良科・病虫害科、経営部:経営科・流通経済科)。
農業試験場県南分場及び県北分場に分場次長を設置。
農業試験場高冷地試験地を園芸試験場へ移管し、高冷地分場となる。
園芸試験場に環境部を設置。
園芸試験場大迫圃場を大迫試験地と改称。
畜産試験場外山試験地を外山分場と改称。
- 昭和47年 園芸試験場南部分場を陸前高田市米崎町から同市高田町へ移転。
- 昭和48年 蚕業試験場六原桑樹試験地を六原試験地と改称。
- 昭和51年 農業試験場作業技術科を農業機械科に改称。
- 昭和53年 蚕業試験場六原試験地を廃止。
蚕業試験場養蚕部、病理化学部をそれぞれ養蚕経営部、環境部に改称。
- 昭和56年 園芸試験場高冷地分場を高冷地開発センターに改称。
- 昭和57年 蚕業試験場整備計画実施(～昭和58年)。

平成 3年	農業試験場に水稻育種科を設置。
平成 8年	畜産試験場種山肉用牛改良センターを住田町に設置。
平成 9年	農業試験場、蚕業試験場、園芸試験場及び畜産試験場を農業研究センターに再編整備。 農業試験場本場、園芸試験場本場、同大迫試験地及び蚕業試験場本場を統合し、北上市にセンター本部を設置。 農業試験場県南分場及び園芸試験場南部分場をそれぞれ銘柄米開発研究室、南部園芸研究室と改称。 農業試験場県北分場、園芸試験場高冷地開発センター及び蚕業試験場一戸分場を統合し、軽米町に県北農業研究所を設置。 畜産試験場を畜産研究所に改組。 畜産試験場外山分場及び種山肉用牛改良センターをそれぞれ外山畜産研究室、種山畜産研究室に改称。 県北農業研究所に専門技術員を配置。
平成10年	園芸畑作物蚕桑技術研究室繭品質評価分室を盛岡市に設置(繭検定所を廃止)。 センター本部に専門技術員を配置。
平成11年	企画経営情報部マーケティング研究室を農業経営研究室に統合。
平成13年	病害虫部を新設し、病害虫防除課及び病理昆虫研究室を設置。 銘柄米開発研究室、蚕桑技術研究室及び同研究室繭品質評価分室を廃止。 南部園芸研究室を陸前高田市高田町から同市米崎町へ移転。
平成16年	総務部管理課を同部総務課に統合。 県北農業研究所にいわて雑穀遺伝資源センターを設置。 企画経営情報部内にいわて農林水産知的財産相談センターを設置。
平成17年	病害虫防除課県北農業研究所駐在を廃止、病害虫防除所(本部)へ統合。 専門技術員(県北農業研究所勤務)を専門技術員室(本部)へ勤務振り替え。
平成18年	専門技術員室を廃止(中央農業改良普及センターへ勤務振り替え)。 いわて農林水産知的財産相談センターを閉鎖(業務は岩手県知的所有権センターで実施)。
平成20年	センター本部が2プロジェクト推進室4部体制、畜産研究所が1課4研究室、県北農業研究所が1課2研究室に再編整備。
平成23年	プロジェクト推進室を1プロジェクト体制、技術部園芸研究室を果樹研究室と野菜花き研究室に再編整備。 技術部南部園芸研究室(陸前高田市)が東日本大震災で被災し、研究員は本部勤務で研究を継続。
平成25年	技術部南部園芸研究室(陸前高田市)を再建し、研究員は平成26年1月から陸前高田市で勤務。

<所 在>

岩手県農業研究センター		
本 部	〒024-0003	岩手県北上市成田20-1 Tel. 0197-68-2331 FAX. 0197-68-2361 ホームページ http://www2.pref.iwate.jp/~hp2088/ E-mail : CE0008@pref.iwate.jp (本部) E-mail : CE0001@pref.iwate.jp (病害虫防除所)
(南部園芸研究室)	〒029-2206	岩手県陸前高田市米崎町字川崎238-4 TEL. 0192-55-3733 FAX. 0192-55-2093
畜産研究所	〒020-0173	岩手県岩手郡滝沢村字砂込737-1 Tel. 019-688-4326 FAX. 019-688-4327 E-mail : CE0010@pref.iwate.jp
(外山畜産研究室)	〒028-2711	岩手県盛岡市玉山区藪川字大の平40 Tel. 019-681-5011 FAX. 019-681-5012
(種山畜産研究室)	〒029-2311	岩手県気仙郡住田町世田米字飼沢30 Tel. 0197-38-2312 FAX. 0197-38-2177 E-mail : CE0034@pref.iwate.jp
県北農業研究所	〒028-6222	岩手県九戸郡軽米町大字山内23-9-1 Tel. 0195-47-1070 FAX. 0195-49-3011 E-mail : CE0009@pref.iwate.jp

平成 26 年度 岩手県農業研究センター年報

平成 27 年 6 月発行

岩手県農業研究センター

〒024-0003 岩手県北上市成田20-1

TEL (0197) 68-2331 FAX (0197) 68-2361

IWATE-AGRICULTURAL RESEARCH CENTER

20-1Narita,Kitakami Iwate 024-0003,Japan

